

## 第4 県内の特定事故の発生状況

### 1 死亡事故

#### (1) 発生件数、死者数

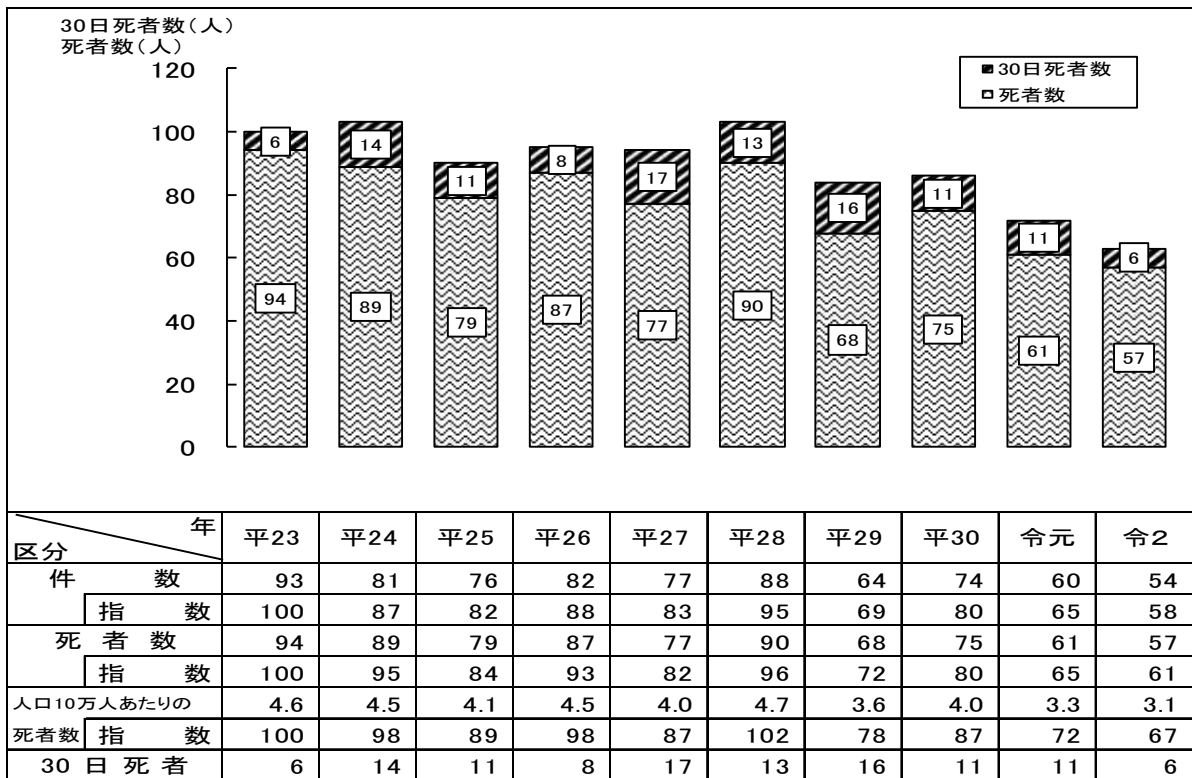
令和2年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 54件（前年比 -6件 10.0%減）

死者数 57人（前年比 -4人 6.6%減）

過去10年間の推移をみると、死者数に増減はあるものの減少傾向にあり、令和2年では平成23年の6割程度に減少している。

（単位：件・人）



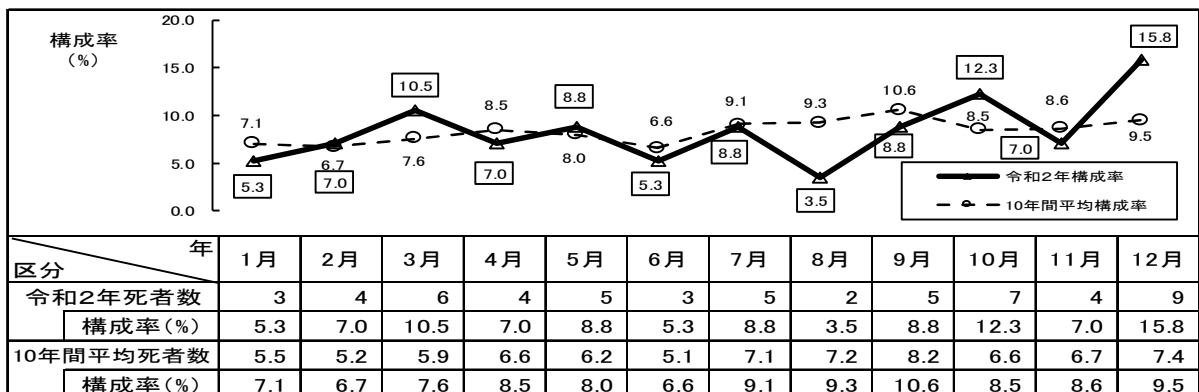
#### (2) 死亡事故の特徴

##### ア 月別

死者は、12月が最多の9人、次いで10月の7人、最少は8月の2人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を下回ったのは、1月、4月、6月、7月、8月、9月、11月であった。

（単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、17時～18時の8人が最も多くなっている。

曜日別では、火曜日が最多の12人、木曜日が最少の4人となっている。

(単位：人)

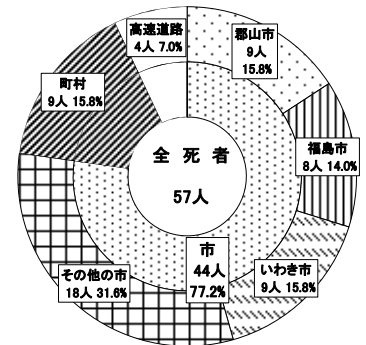
時間 曜日	時間																								合 計
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
日	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	8
火	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	1	1	0	0	12	
水	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0	7	
木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	
金	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	9	
土	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	11	
合計	2	4	2	1	2	1	1	2	0	2	2	3	2	5	2	2	3	8	4	4	3	0	0	57	

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村は郡山市といわき市がそれぞれ9人、次いで福島市が8人の順に多い。

また、市部全体の死者数は44人で、全死者の77.2%を占めている。

市町村別

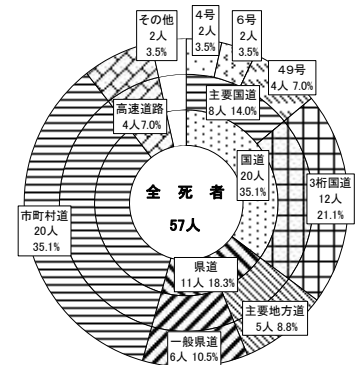


エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

国道、市町村道での死者が20人と多く、それぞれ全死者の35.1%を占めている。次いで県道の11人(18.3%)となっている。

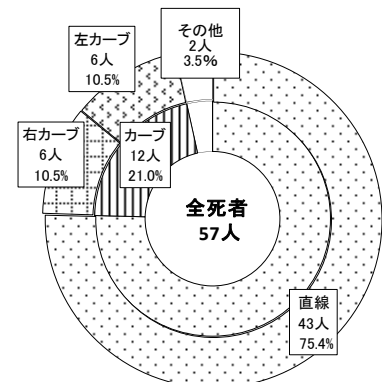
道路別



(イ) 道路線形別

直線道路での死者は43人で全死者の75.4%を占め、カーブでの死者は12人で、うち右カーブ6人、左カーブも6人となっている。

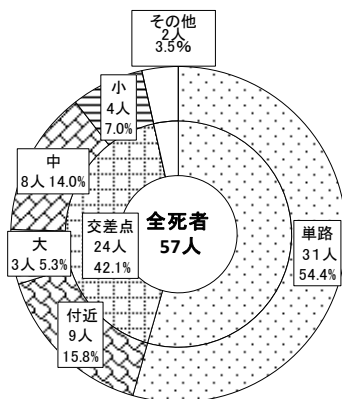
道路線形別



(ウ) 道路形状別

単路での死者は31人で全死者の54.4%を占め、交差点での死者は24人で42.1%を占めている。

道路形状別



(注)  
 大交差点 道路幅員13m以上  
 中交差点 道路幅員5.5m以上13m未満  
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (54件)

(ア) 車種別

軽乗用車の事故が17件で全死亡事故の31.5%を占め最も多く、次いで普通乗用車14件、軽貨物車8件の順となっている。

(イ) 年齢別

高齢者による事故が17件で最も多く、次いで50歳代と40歳代が12件、30歳代が5件、20歳代が3件の順になっている。

(単位：件)

年齢	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
	大型	中型	普通	軽	その他	大型	中型	普通	軽	その他		自動二輪	原付				
16歳未満																	0
16～19歳				1	1												2
20歳代	20～24歳				1			1									2
	25～29歳											1					1
30歳代	30～34歳				2									1			3
	35～39歳				1						1						2
40歳代	40～44歳					2			1								3
	45～49歳				2	4	2			1							9
50歳代	50～54歳				1				1	1	1						4
	55～59歳				2	2	1			1	1		1				8
60歳代	60～64歳				1	1					1						3
	65～69歳					2											2
70歳代	70～74歳				1	2				1	2						6
	75～79歳				1	2					1		1				5
80歳以上					2						1	1					4
その他(当事者不明)																	0
合計		0	0	0	12	19	3	1	2	4	8	1	2	1	1	0	54
内数	子ども																0
	幼児																0
	小学生																0
	中学生																0
	高校生																0
	高齢者				2	8				1	4	1	1	0	0	0	17
男性				11	13	3	1	2	4	7	1	2	1	1		46	
女性				1	6					1						8	
県外居住者				3		3		1				1				8	

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.4に対して10歳代が1.4と高い。

(単位：件・人)

年齢	区分	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	7,873	1	1.3	6,400	1	1.6	14,273	2	1.4
	20～24歳	37,786	2	0.5	32,927	0	0.0	70,713	2	0.3
	計	45,659	3	0.7	39,327	1	0.3	84,986	4	0.5
	25～29歳	40,948	1	0.2	35,697	0	0.0	76,645	1	0.1
	30歳代	97,697	4	0.4	88,667	1	0.1	186,364	5	0.3
	40歳代	122,464	11	0.9	112,667	1	0.1	235,131	12	0.5
	50歳代	116,499	12	1.0	110,918	0	0.0	227,417	12	0.5
	60～64歳	63,793	2	0.3	59,225	1	0.2	123,018	3	0.2
	高齢者	207,632	13	0.6	141,993	4	0.3	349,625	17	0.5
	合計	694,692	46	0.7	588,494	8	0.1	1,283,186	54	0.4

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない

(注2) 免許人口は令和2年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、**自転車**で1件発生した。

**運転免許を要する車両による死亡事故53件中、10年以上経過した者による事故が42件で79.2%を占めている。**

(単位：件)

経過年数	車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
有資格	1年未満				1	1											2
	1～2年																0
	2～3年																0
	3～4年					1						1					2
	4～5年							1									1
	10年未満				2	1			1								4
	10年以上				9	15	3		1	4	8	1			1		42
免許外・無免許					1						1					2	
合計		0	0	0	12	19	3	1	2	4	8	1	2	0	0	1	53

(オ) 違反別

悪質違反による事故が6件となっており、全死亡事故の**11.1%**を占めている。

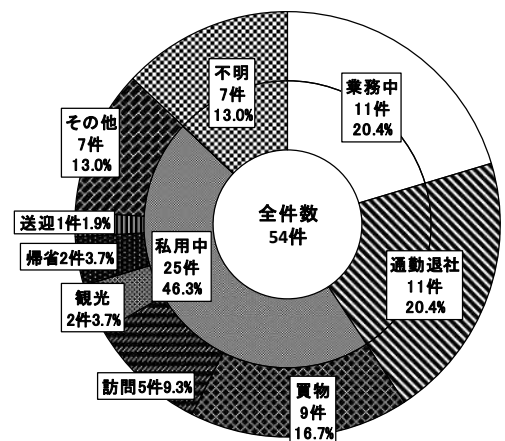
違反別でみると**安全運転義務違反（前方不注意）**が16件と最も多い。

(単位：件)

違反別	件数	違反別	件数	違反別	件数
車両の違反	悪質違反	徐行違反	1	歩行者の違反	信号無視
	信号無視	1	横断歩道外横断		
	最高速度	1	斜め横断		
	通区・追越	2	走行車両直前直断		
	歩行者妨害	2	横断禁止場所		
	一時不停止		計		0
	酒酔い運転		飛び出し		
	計	6	その他		
	横断等禁止		計		0
	車間距離不保持		不明		
進路変更禁止		合計	54		
右折違反		内数（飲酒運転）	5		
左折違反					
優先通行妨害等	3				
交差点安全進行義務	2				
違反計	33	ドア開放等	9		
その他	9	その他	9		
違反計	54	計	54		

(カ) 通行目的別

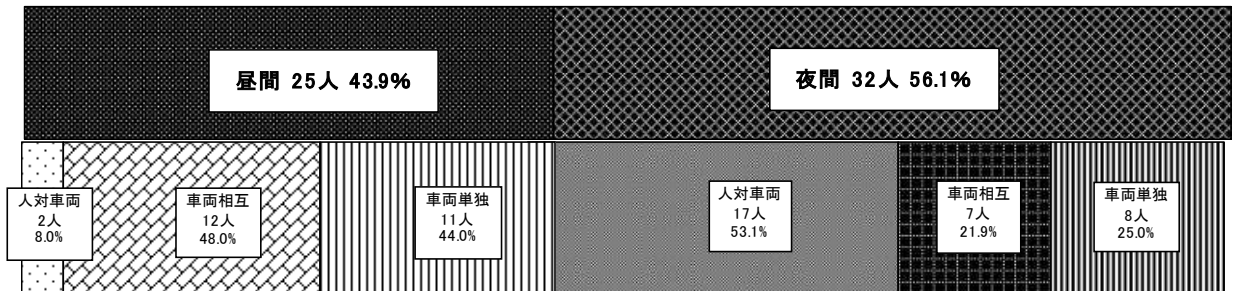
私用中に発生した事故が25件と全事故の**46.3%**を占めており、その中でも**買物の9件**が最も多く、次いで**訪問の5件**となっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	19人	(全死者の 33.3%)
車両相互	19人	(全死者の 33.3%)
車両単独	19人	(全死者の 33.3%)

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

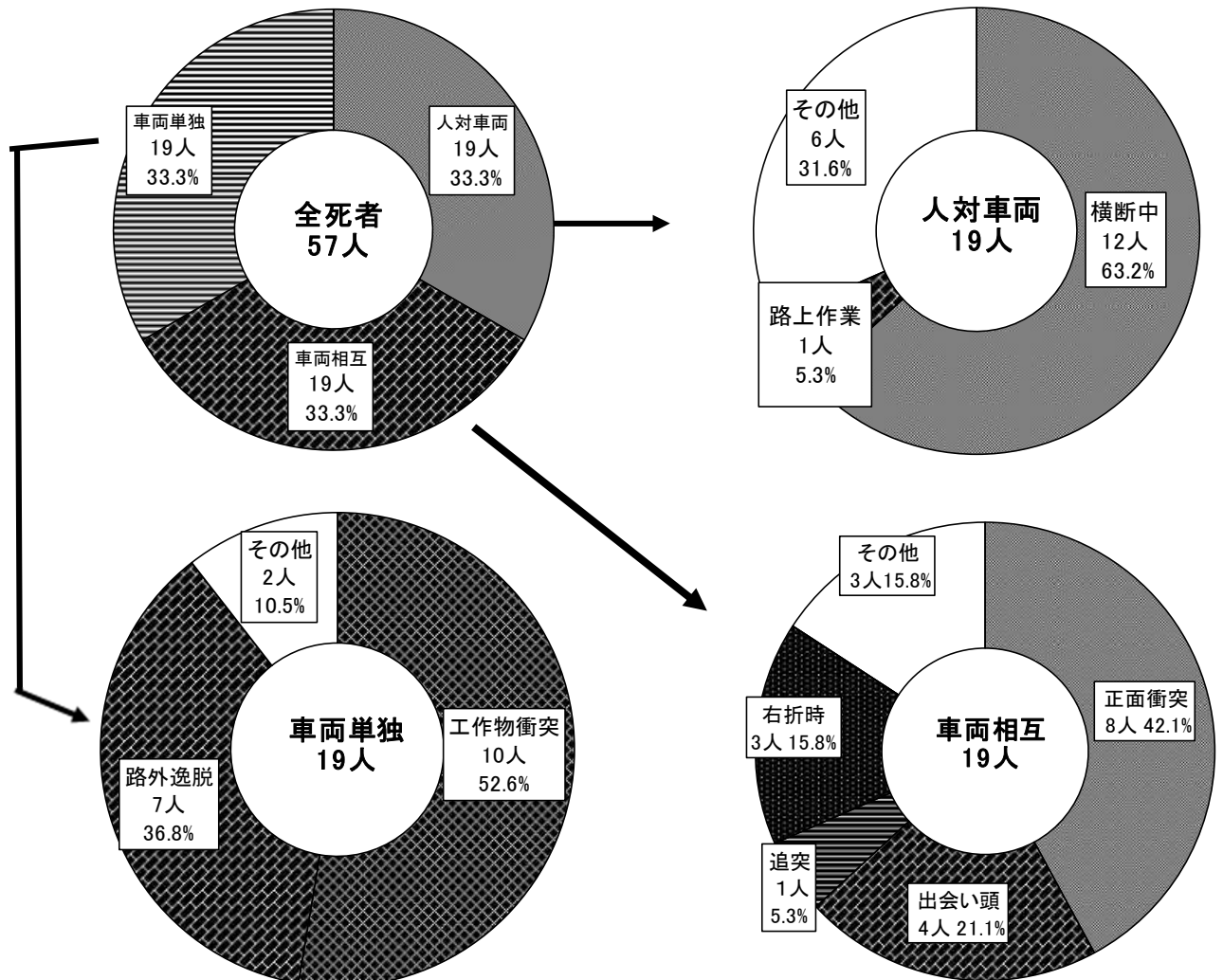


各事故類型でみると

人対車両…横断中が12人と最も多く63.2%を占めている。

車両相互…正面衝突が8人と最も多く42.1%を占めている。

車両単独…工作物衝突が10人と最も多く52.6%を占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者と、自動車運転の死者がそれぞれ20人で全死者の35.1%を占め最も多い。次いで自動二輪運転中の7人(12.3%)が続いている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		19	1	4	2	5		1	1	1	2		20	1	57
	構成率(%)	33.3	1.8	7.0	3.5	8.8	0.0	1.8	1.8	1.8	3.5	0.0	35.1	1.8	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は32人(全死者の56.1%)で、うち歩行者の死者は13人と多く高齢死者の40.6%を占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は20人中13人(65.0%)と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満												0
16～19歳		2										2
20歳代	20～24											0
	25～29						1					1
30歳代	30～34						1		1			3
	35～39						1					1
40歳代	40～44	1						1				2
	45～49	2	1		1	1				1		6
50歳代	50～54	1								2		3
	55～59		1			2		1		1		5
60歳代	60～64									2		2
	65～69	2								1		3
70歳代	70～74	3			2					2		7
	75～79	3	1		1	1			1	4		11
80歳以上		2		1					1	6	1	11
合計		16	3	1	4	7	0	2	3	20	1	57
内数	子ども											0
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生											0
高齢者		10	1	1	3	1		0	2	13	1	32
男性		12	3	1	2	7		2	3	12		42
女性		4			2					8	1	15

ウ 職業別

無職が26人と最も多く全死者の45.6%を占め、次いでサービス業が8人、建設業が6人と多くなっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者						2						2
公務員										1		1
農・林・漁業			1	1						1		3
鉱業								1				1
建設業		2	1		1	1				1		6
製造業		1				1				1		3
卸・小売業						2			1			3
運輸・郵便業		1										1
医療・福祉												0
電気・ガス・水道業												0
サービス業		3	1		1	1				2		8
子供												0
高校生												0
学生												0
主婦												0
無職		8			2			1	2	12	1	26
その他					1					2		3
合計		15	3	1	5	7	0	2	3	20	1	57

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者20人のうち、10人(歩行者死者の50.0%)には何らかの違反があり、横断中の死者が6人と多く、違反のある歩行者死者の約6割を占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号無視	通行区分	横断					計	幼児歩	ひとり歩	はいいか	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
			横断歩道外	斜め横断	駐停車両後	直前直後	走行直後									
1 当								0								0
2当以下		2	2	1		3		6						2	10	20

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者3人全員に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
2当以下						1							1	1		3

(ウ) 原付

原付乗車中の死者2人とも違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	その他	違反なし	合計
2当以下								1								1

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者7人中4人に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
2当以下	1						1								3	5
同乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者20人、同乗中死者4人の合計24人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が10人で最も多く、運転中死者の50.0%を占めている。

事故類型別では、正面衝突による死者が、運転中死者6人、同乗中死者1人の合計7人で、自動車乗車中の死者全体の35.0%を占めている。 (単位：人)

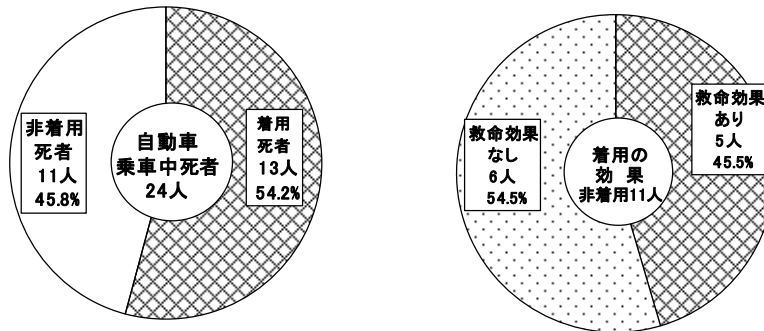
区分	違反	運 転 中														同乗中	合計					
		信号無視	最高速度超過	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務							その他の違反なし				
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度				その他			
当事者	1当		1	2								1	1		2		6	6	19	19		
	2当																		0	0		
	3当以下																		1	1	4	5
事故類型	正面衝突			2								1					1	2	6	1	7	
	追突																		0	0	0	
	出会い頭																		0	0	0	
	追越・追抜																		0	0	0	
	転回時																		0	0	0	
	右折時																		0	0	0	
	その他																1		1	1	1	
計		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	7	1	8	
型	車両単独		1									1			2		4	4	1	13	3	16
列	列車																		0	0	0	
合	計	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	6	6	1	20	4	24	

オ シートベルト・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

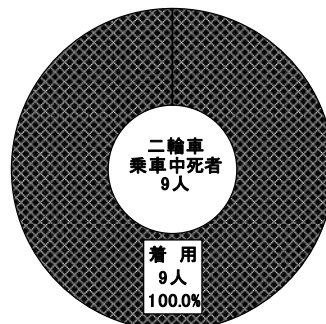
自動車乗車中の死者24人中シートベルトを着用していたのは13人で、着用率は54.2%であった。

また、非着用死者11人中5人（非着用で死亡した者の45.5%）は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は9人であったが、全員ヘルメットを着用していた。





## 2 歩行者の事故

### (1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

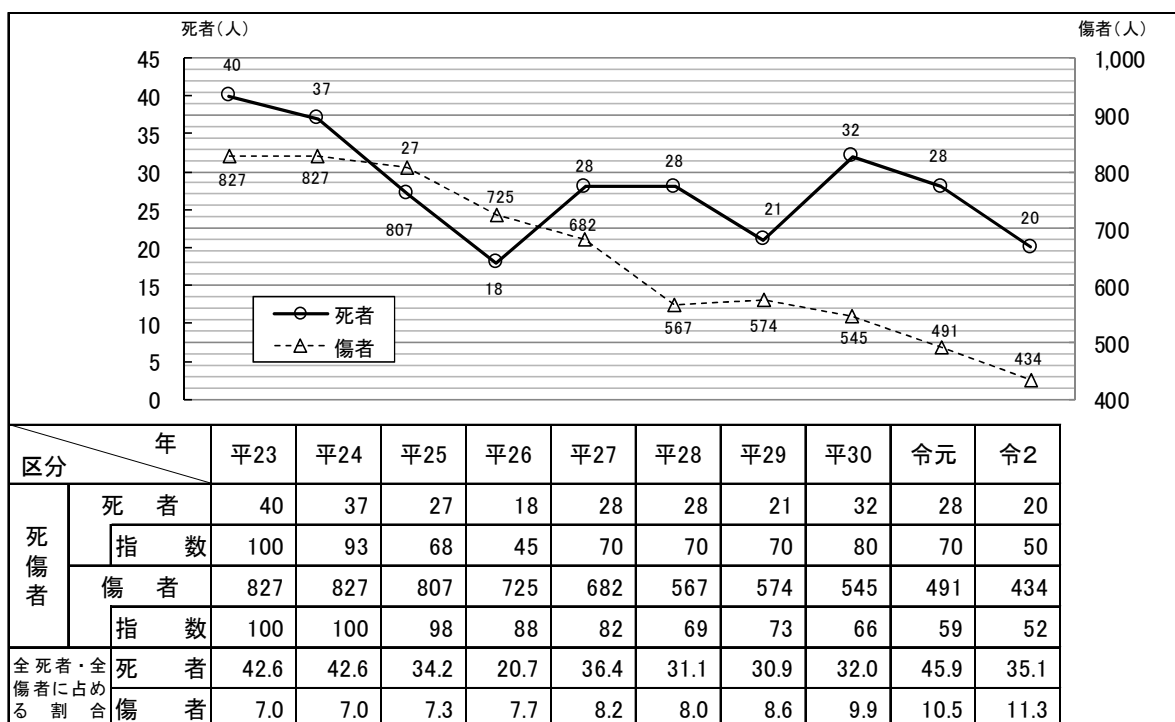
死者数 20人 (前年比 -8人 28.6%減)

傷者数 434人 (前年比 -57人 11.6%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者・全傷者に占める割合は、死者数は35.1%で10.8ポイント減少し、傷者数は11.3%で0.8ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月別

死者は12月が7人で最も多く、全体としては下半期の死者が15人(75.0%)と半数以上となっている。傷者数は1月が69人で最も多く、次いで3月の43人となっている。

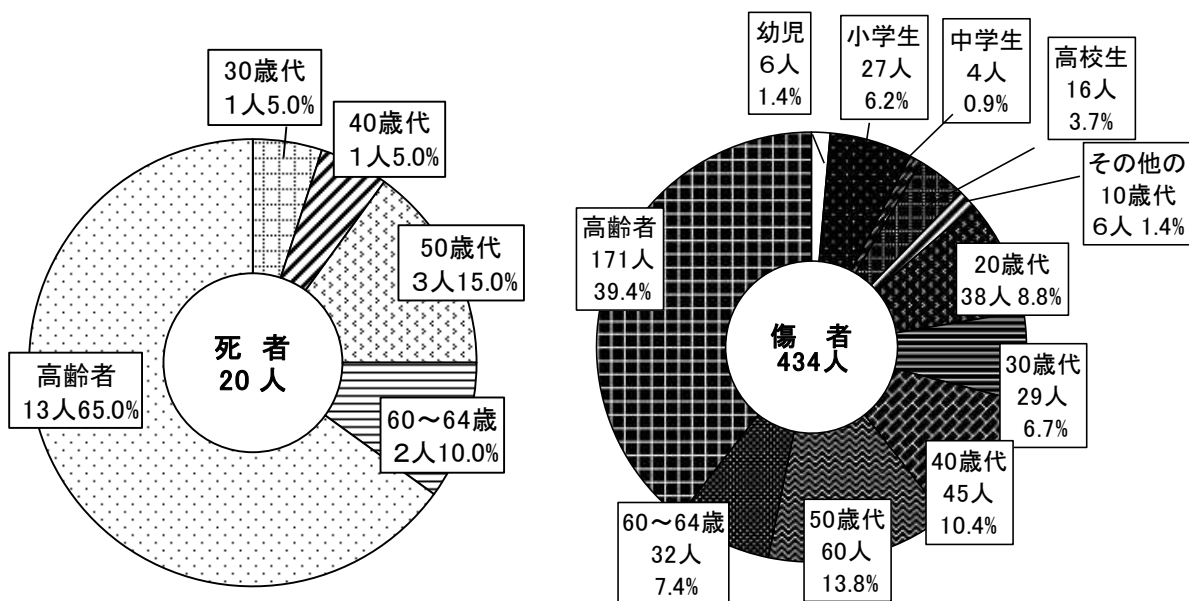
(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者			2	3				1	1	3	1	2	7	20
	傷者		69	42	43	32	31	27	27	21	22	37	41	42	434
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	60.0	14.3	50.0	77.8	35.1
	傷者		18.6	12.4	10.6	9.9	13.7	9.2	9.2	6.7	7.7	11.2	12.6	11.9	11.3

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が13人で最も多く、歩行者死者の65.0%を占めている。

傷者も高齢者が171人と最も多く、歩行者傷者の39.4%を占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は65.0%であり、その他の高齢者死者の51.4%より高い数値となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は39.4%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合15.3%の約2.5倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	0	0.0	38	8.8	
	16～19歳	0	0.0	21	4.8	
	20歳代	0	0.0	38	8.8	
	30歳代	1	5.0	29	6.7	
	40歳代	1	5.0	45	10.4	
	50歳代	3	15.0	60	13.8	
	60歳代	60～64	2	10.0	32	7.4
		65～69	1	5.0	25	5.8
	70歳代	70～74	2	10.0	34	7.8
		75～79	4	20.0	44	10.1
	80歳以上	6	30.0	68	15.7	
合計		20	100.0	434	100.0	
歩行者の傷者	幼児	0	0.0	6	1.4	
	小学生	0	0.0	27	6.2	
	中学生	0	0.0	4	0.9	
	高校生	0	0.0	16	3.7	
	高齢者	13	65.0	171	39.4	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	162	4.7	
	16～19歳	2	5.4	152	4.4	
	20歳代	1	2.7	493	14.4	
	30歳代	3	8.1	654	19.1	
	40歳代	7	18.9	672	19.6	
	50歳代	5	13.5	564	16.5	
	60歳代	60～64	0	0.0	203	5.9
		65～69	2	5.4	187	5.5
	70歳代	70～74	5	13.5	166	4.8
		75～79	7	18.9	94	2.7
	80歳以上	5	13.5	76	2.2	
合計		37	100.0	3,423	100.0	
その他の傷者	幼児	0	0.0	32	0.9	
	小学生	0	0.0	53	1.5	
	中学生	0	0.0	43	1.3	
	高校生	0	0.0	122	3.6	
	高齢者	19	51.4	523	15.3	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は16時～18時と18時～20時までの6人がそれぞれ歩行者死者の30.0%を占め最も多く、次いで0～2時、20時～22時がそれぞれ2人となっている。

傷者については、18～20時の90人が歩行者傷者の20.7%を占め最も多く、次いで16～18時の89人となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者		2	1		1		1	1		6	6	2		20
	構成率(%)	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	30.0	30.0	10.0	0.0	100.0
傷者		2	7	10	21	29	63	32	54	89	90	29	8	434
	構成率(%)	0.5	1.6	2.3	4.8	6.7	14.5	7.4	12.4	20.5	20.7	6.7	1.8	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が17人と多く、歩行者死者の85.0%を占めている。

傷者は昼間が245人と多く、歩行者傷者の56.5%を占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			3		3	8	8	1	17	20
	構成率(%)	0.0	15.0	0.0	15.0	40.0	40.0	5.0	85.0	100.0
傷者		9	198	38	245	66	116	7	189	434
	構成率(%)	2.1	45.6	8.8	56.5	15.2	26.7	1.6	43.5	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が11人と多く、歩行者死者の55.0%を占めている。

傷者は昼間・夜間ともに高齢者・その他が多くなっている。

(単位：人・%)

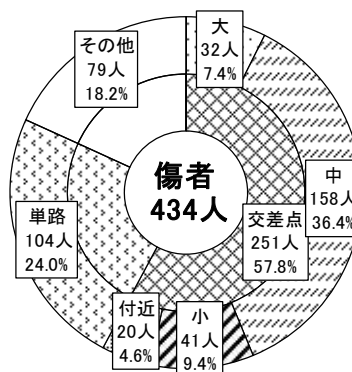
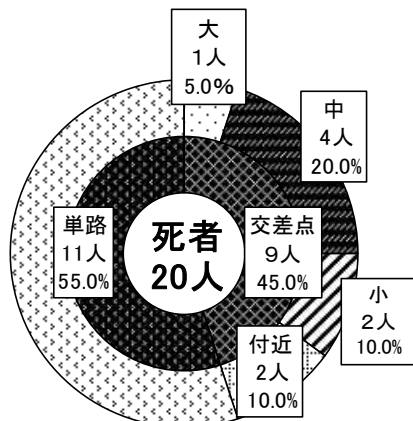
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			2	1	3		11	6	17	20
	構成率(%)	0.0	10.0	5.0	15.0	0.0	55.0	30.0	85.0	100.0
傷者		34	108	103	245	3	63	123	189	434
	構成率(%)	7.8	24.9	23.7	56.5	0.7	14.5	28.3	43.5	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が11人と多く、55.0%を占めている。交差点での死者は9人で、「大交差点」は1人、「中交差点」は4人、「小交差点」は2人、「交差点付近」は2人であった。

傷者は交差点が251人と多く、57.8%を占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は11人で、歩行者死者の55.0%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、16人と歩行者死者の80.0%を占め、傷者についても306人で歩行者傷者の70.5%を占めている。 (単位：人)

道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者	1				1			1
		傷 者	26	108	12	3	149	2		151
信号機	信号機なし	死 者		4	2	2	8	11		19
		傷 者	6	50	29	17	102	102	79	283
合 計		死 者	1	4	2	2	9	11	0	20
		傷 者	32	158	41	20	251	104	79	434

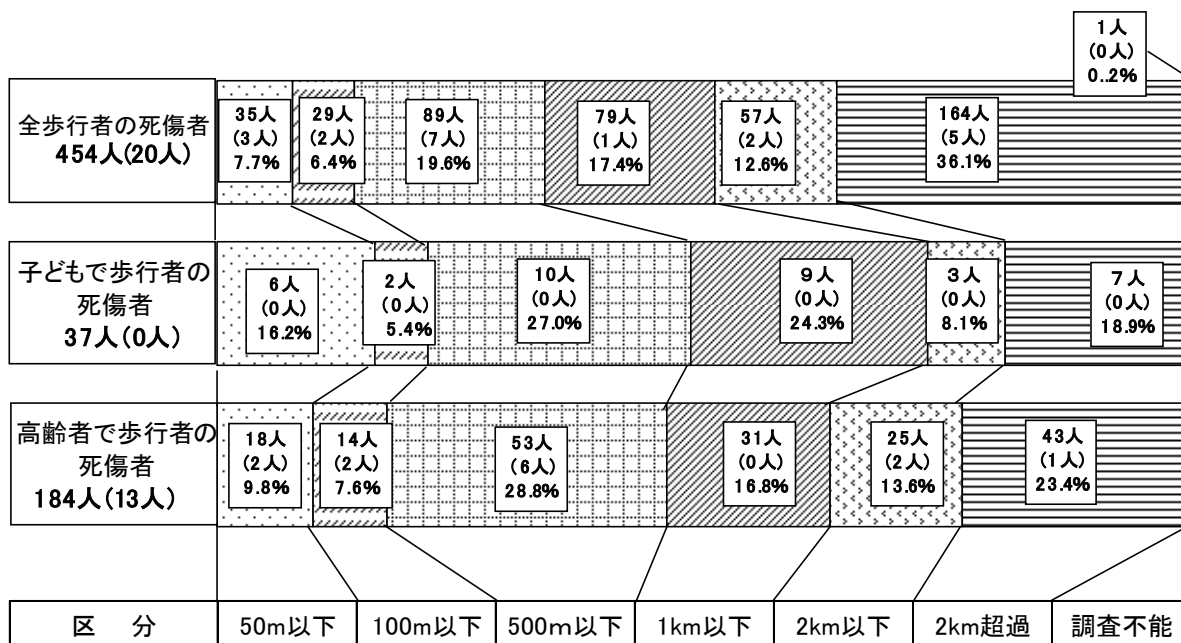
  

歩車道	区分あり	防護柵等	死 者					0			0
			傷 者	3	1	1		5	3		8
		縁石等	死 者	1	3	2		6	9		15
	傷 者		29	137	22	11	199	41	3	243	
	路側帯	死 者					0	1		1	
		傷 者		13	8	5	26	29		55	
区分なし		死 者		1			1	3		4	
		傷 者		7	10	4	21	31	76	128	
合 計		死 者	1	4	2	0	7	13	0	20	
		傷 者	32	158	41	20	251	104	79	434	

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が164人で歩行者死傷者の36.1%を占めている。

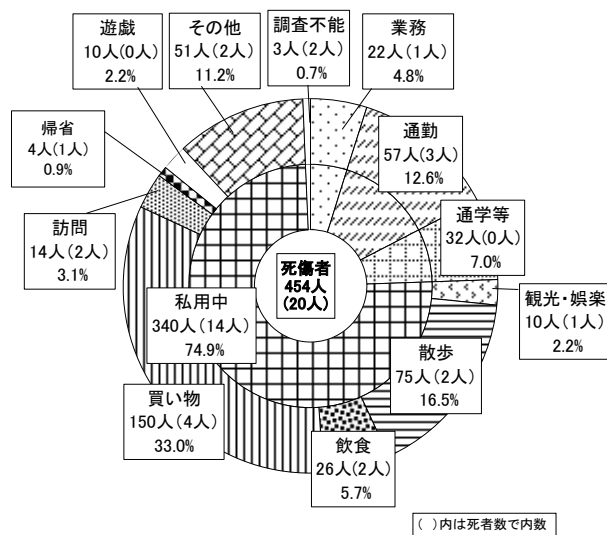
また、死者は5人で歩行者死者の25.0%を占めている。



( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が**340人**で**74.9%**を占めている。  
うち買い物目的が最も多く**150人**で**33.0%**となっている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は**12人**で歩行者死者の**68.0%**、傷者は**258人**で歩行者傷者の**59.4%**を占めている。

(単位：人・%)

区分	状態	人 対 車 両												人対車両以外	合計	
		対面通行中	背面通行中	横断中				計	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	歩道通行中	路側帯通行中			その他
				横断歩道	横断歩道付近	横断歩道橋付近	その他									
死者		2	1	2	1	0	9	12	0	1	1	0	0	2	1	20
構成率(%)		10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	45.0	60.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	10.0	5.0	100.0
傷者		25	41	173	7	1	77	258	2	1	5	16	7	68	11	434
構成率(%)		5.8	9.4	39.9	1.6	0.2	17.7	59.4	0.5	0.2	1.2	3.7	1.6	15.7	2.5	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者**12人**のうち、交差点での死者は**6人**で横断中死者の**50.0%**を占め、交差点内の傷者**223人**のうち、**172人 (77.1%)**が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は**4人**で横断中死者の**66.7%**を占めている。

(単位：人・%)

横断場所	道路形状	交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
		死者	傷者	死者	傷者								
横断中	横断歩道	2	172			2	172		1	2	173	16.7	67.1
	横断歩道付近		5	1	2	1	7			1	7	8.3	2.7
	横断歩道橋付近		1			0	1			0	1	0.0	0.4
	その他	3	32		11	3	43	6	34	9	77	75.0	29.8
合計		5	210	1	13	6	223	6	35	12	258	100	100

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は10人（83.3%）、傷者は234人（90.8%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は5人で、うち4人（80.0%）は子どもの傷者となっている。

（単位：人・%）

横断場所		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
区分								
子ども	死者							
	傷者		3	1	3		1	15
高齢者	死者			1			1	6
	傷者				3		4	105
その他	死者							4
	傷者		1		3		5	114
合計	死者	0	0	1	0	0	1	10
	構成率(%)	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	83.3
合計	傷者	0	4	1	9	0	10	234
	構成率(%)	0.0	1.6	0.4	3.5	0.0	3.9	90.7

(8)違反別

（単位：人・%）

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった

死者は10人で50.0%を占め、傷者は90人で20.8%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が6人と多く、違反あり死者の60%を占め、次いで通行区分の2人（20.0%）が続いている。

横断中では、走行車両の直前・直後横断が3人、横断歩道外横断が2人、斜め横断が1人となっている。

傷者の違反は横断中が34人と多く、違反あり傷者の37.8%を占めている。

違反	死傷者		死者		傷者	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
信号無視		0.0	5	1.2		
通行区分	2	10.0	15	3.5		
横断中	横断歩道外	2	10.0	24	5.5	
	斜め横断	1	5.0	3	0.7	
	駐停車両直前・直後		0.0		0.0	
	走行車両直前・直後	3	15.0	6	1.4	
	横断禁止場所		0.0	1	0.2	
計	6	30.0	34	7.9		
酩酊・徘徊		0.0	7	1.6		
路上遊戯		0.0	1	0.2		
路上作業		0.0		0.0		
飛び出し		0.0	13	3.0		
その他の違反	2	10.0	15	3.5		
違反なし	10	50.0	343	79.2		
合計	20	100.0	433	100.0		

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

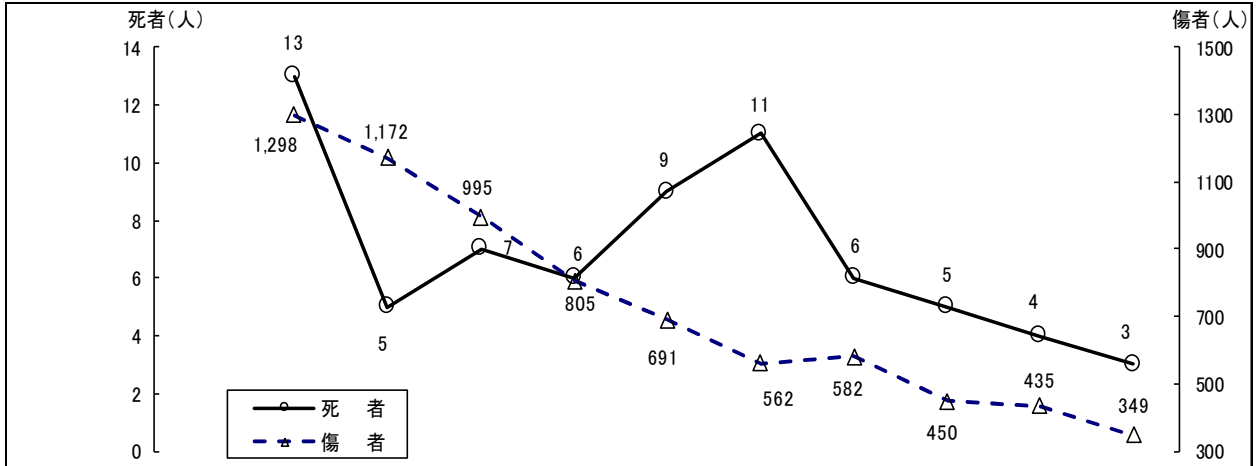
交通事故で死傷した人は

死者数 3人 (前年比 -1人 25.0%減)

傷者数 349人 (前年比 -86人 19.8%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者数に占める割合は 5.3%で1.3ポイントの減少、全傷者数に占める割合は9.0%で0.3ポイント減少した。 (単位：人・%)



区分		年									
		平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
死傷者	死者	13	5	7	6	9	11	6	5	4	3
	指数	100	38	54	46	69	85	46	38	31	23
	傷者	1,298	1,172	995	805	691	562	582	450	435	349
	指数	100	90	77	62	53	43	45	35	34	27
全死者・全傷者に占める割合	死者	13.8	5.6	8.9	6.9	11.7	12.2	8.8	6.7	6.6	5.3
	傷者	10.9	9.6	9.0	8.5	8.3	7.9	8.7	8.2	9.3	9.0

#### (2) 月別

死者数は4月、6月、11月に各1人となっている。

傷者数は、11月が44人と最も多く、次いで12月の38人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

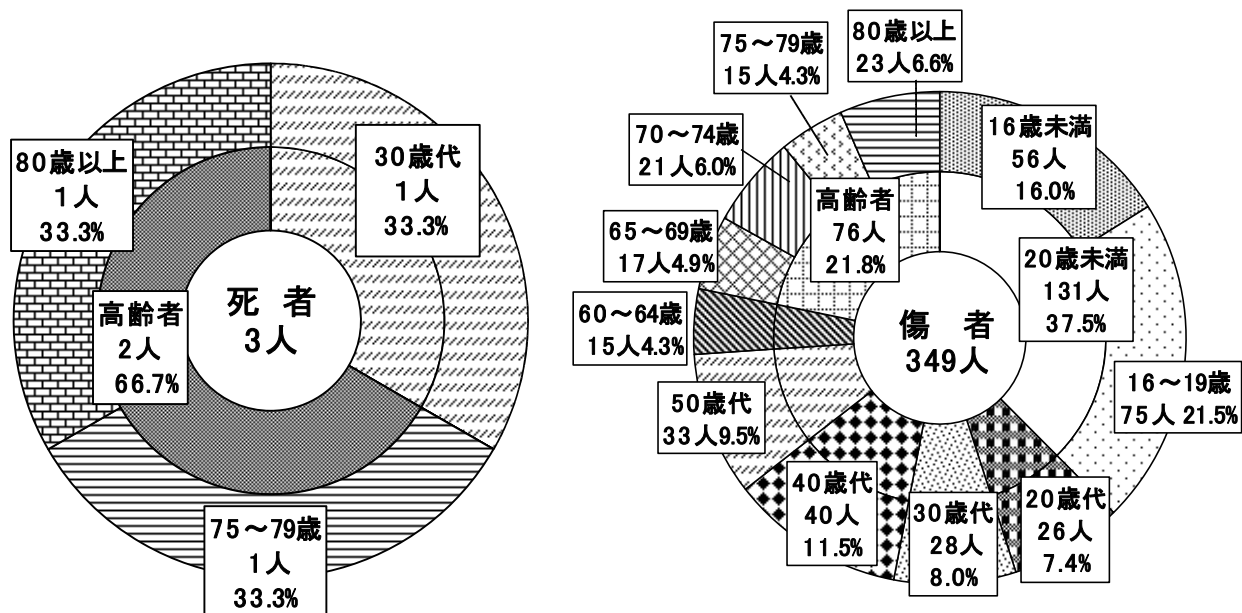
区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
被害	死者				1		1					1		3
	傷者	19	22	24	23	29	26	27	37	28	32	44	38	349
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	5.3
	傷者	5.1	6.5	5.9	7.1	12.8	8.9	9.2	11.9	9.8	9.7	13.5	10.8	9.0

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者3人中2人が高齢者であった。

傷者は20歳未満が131人と多く、自転車傷者の37.5%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者に比べ、死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自転車の死者	16歳未満	0	0.0	56	16.0	
	16～19歳	0	0.0	75	21.5	
	20歳代	0	0.0	26	7.4	
	30歳代	1	33.3	28	8.0	
	40歳代	0	0.0	40	11.5	
	50歳代	0	0.0	33	9.5	
	60歳代	60～64	0	0.0	15	4.3
		65～69	0	0.0	17	4.9
	70歳代	70～74	0	0.0	21	6.0
		75～79	1	33.3	15	4.3
80歳以上	1	33.3	23	6.6		
合計		3	100.0	349	100.0	
自転車傷者	幼児	0	0.0	2	0.6	
	小学生	0	0.0	6	1.7	
	中学生	0	0.0	19	5.4	
	高校生	0	0.0	90	25.8	
	高齢者	2	66.7	76	21.8	

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	144	4.1	
	16～19歳	2	3.7	98	2.8	
	20歳代	1	1.9	505	14.4	
	30歳代	3	5.6	655	18.7	
	40歳代	8	14.8	677	19.3	
	50歳代	8	14.8	591	16.8	
	60歳代	60～64	2	3.7	220	6.3
		65～69	3	5.6	195	5.6
	70歳代	70～74	7	13.0	179	5.1
		75～79	10	18.5	123	3.5
80歳以上	10	18.5	121	3.4		
合計		54	100.0	3,508	100.0	
その他傷者	幼児	1	1.9	36	1.0	
	小学生	0	0.0	74	2.1	
	中学生	0	0.0	28	0.8	
	高校生	0	0.0	48	1.4	
	高齢者	30	55.6	618	17.6	



(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は8～10時と12～14時、20～22時の間に1人となっている。

傷者は8～10時が63人で、自転車傷者の18.1%を占め最も多く、次いで16～18時の62人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者						1		1				1		3
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0
傷者				6	43	63	37	32	38	62	41	23	4	349
	構成率(%)	0.0	0.0	1.7	12.3	18.1	10.6	9.2	10.9	17.8	11.7	6.6	1.1	100.0

イ 昼夜別

死者数、傷者数ともに昼間の方が多くなっている。

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が2人で66.7%、夜間のその他は1人で33.3%を占めている。

傷者は、昼間のその他が170人と多く、自転車傷者の48.7%を占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
		死者		2			2			
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0	
傷者		7	228	21	256	26	61	6	93	349
構成率(%)	2.0	65.3	6.0	73.4	7.4	17.5	1.7	26.6	100.0	

(単位：人・%)

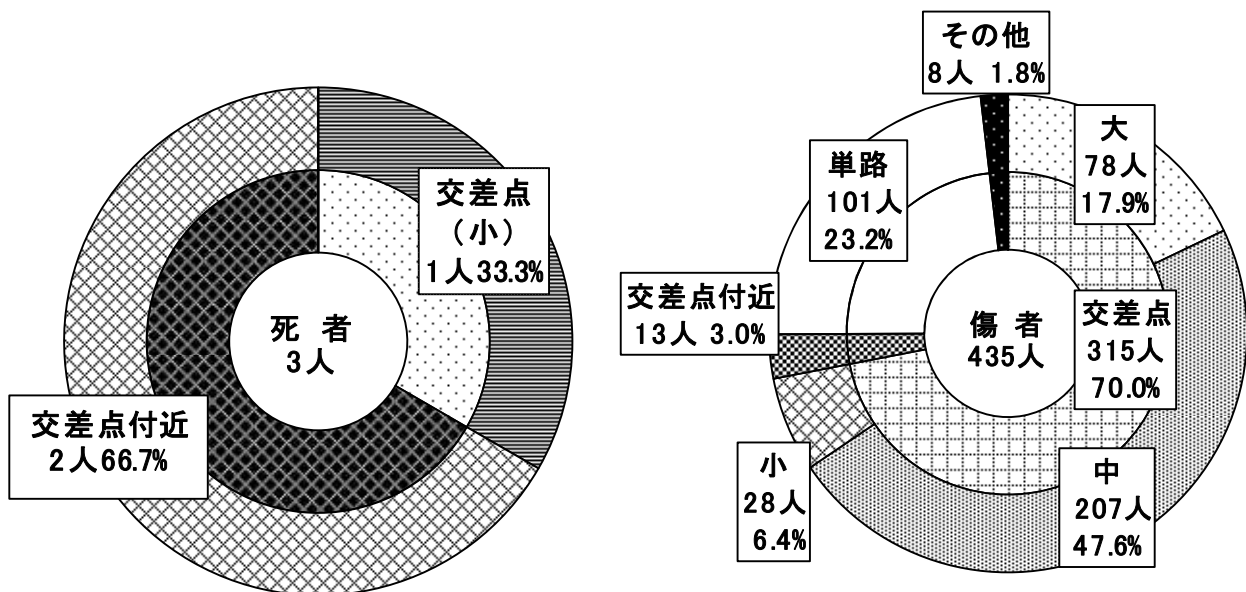
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
		死者		2			2			
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	100.0	
傷者		23	63	170	256	4	13	76	93	349
構成率(%)	6.6	18.1	48.7	73.4	1.1	3.7	21.8	26.6	100.0	

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者3人とともに交差点と交差点付近であり、傷者は交差点と交差点付近合わせて265人で自転車傷者の75.8%を占めている。

交差点の大きさで見ると、死者は「小」、傷者は「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、信号機のない交差点で1人、その付近で2人となっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者					0			0	
		傷 者	51	54	3	2	110			110	
	信号機なし	死 者			1	2	3			3	
		傷 者	6	69	69	11	155	76	8	239	
合 計		死 者	0	0	1	2	3	0	0	3	
		傷 者	57	123	72	13	265	76	8	349	

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点で1人、交差点付近で2人となっており、傷者は交差点とその付近で265人(75.9%)と交差点が多くなっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が1人(33.3%)、傷者が138人(51.3%)と多くなっている。

(単位：人・%)

道路形状		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		事故類型		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
人 対 車 両						0	0		1	0	1	0.0	0.3
車 両 相 互	正 面 衝 突					0	0		1	0	1	0.0	0.3
	追 突		2		2	0	4		5	0	9	0.0	2.6
	出 会 い 頭	1	138		3	1	141		38	1	179	33.3	51.3
	追 越 ・ 追 抜			1	1	1	1		5	1	6	33.3	1.7
	転 回 ・ 後 退 時		2		2	0	4		2	0	6	0.0	1.7
	進 路 変 更 時					0	0			0	0	0.0	0.0
	す れ 違 い 時					0	0		3	0	3	0.0	0.9
	左 折 時		51		2	0	53		14	0	67	0.0	19.2
右 折 時		59		2	0	61		9	0	70	0.0	20.1	
そ の 他				1	0	1		5	0	6	0.0	1.7	
計		1	252	1	13	2	265	0	82	2	347	66.7	99.4
車 両 単 独				1		1	0		1	1	1	33.3	0.3
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		1	252	2	13	3	265	0	84	3	349	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、高齢者の死者は2km超過、2km以内となっており、全体の傷者数は自宅から距離が遠くなるにつれて構成率の上昇が見られる。

(単位：人・%)

距離		50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 ども		2	2	4	7	6	6		27
	構成率(%)	7.4	7.4	14.8	25.9	22.2	22.2	0.0	100.0
高 齢 者		4	4	12	18	① 22	① 16		② 76
	構成率(%)	5.3	5.3	15.8	23.7	28.9	21.1	0.0	100.0
そ の 他		2	5	① 20	46	63	110		① 246
	構成率(%)	0.8	2.0	8.1	18.7	25.6	44.7	0.0	100.0
合 計		8	11	① 36	71	① 91	① 132		③ 349
構成率(%)		2.3	3.2	10.3	20.3	26.1	37.8	0.0	100.0

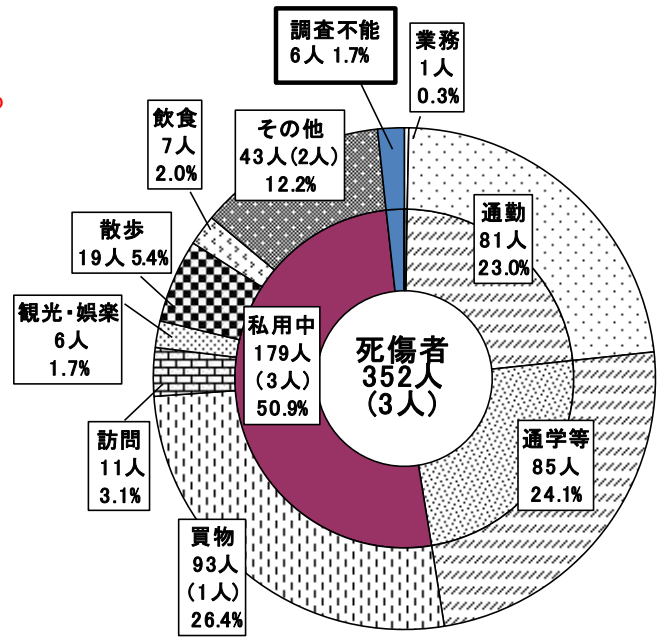
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が179人で、50.9%を占めている。

なかでも買物が93人で、26.4%を占めている。

その他、通勤が81人(23.0%)、通学等が85人(24.1%)と多い。



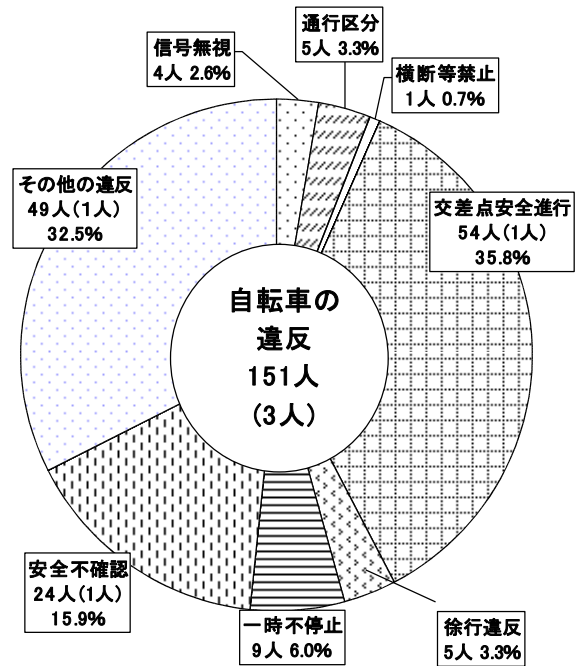
( )内は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは3人(100%)、同じく傷者では148人(42.4%)となっている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		0.0%	4	1.1%
通行区分		0.0%	5	1.4%
横断等禁止		0.0%	1	0.3%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%		0.0%
交差点安全進行	1	33.3%	53	15.2%
徐行違反		0.0%	5	1.4%
一時不停止		0.0%	9	2.6%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	33.3%	23	6.6%
ハンドル操作不適		0.0%		0.0%
その他の違反	1	33.3%	48	13.8%
違反なし		0.0%	201	57.6%
合計	3	100.0%	349	100.0%



( )内は死者数で内数

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合	人数	割合
	1	33.3%	93	26.6%
		0.0%	14	15.1%

※同乗者は含まない

## 4 子供の事故

### (1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

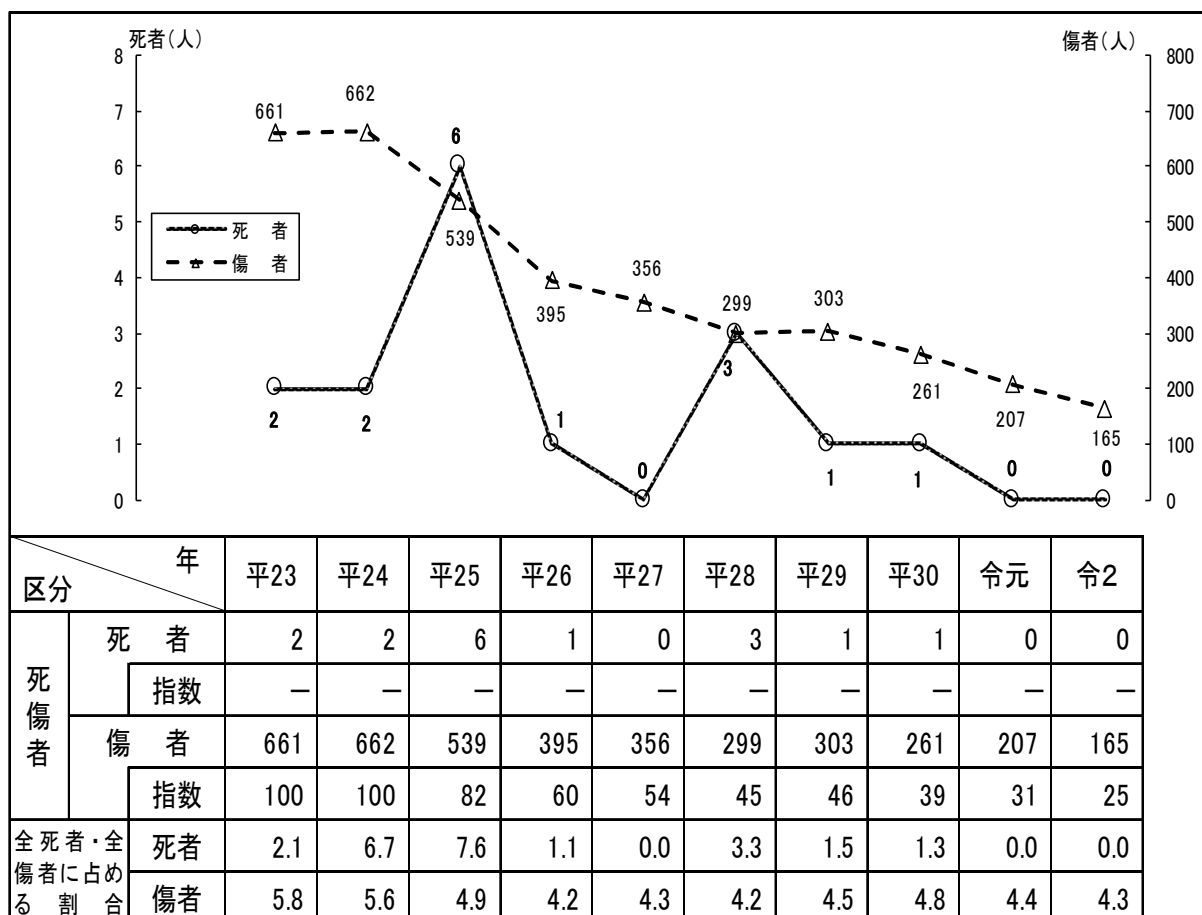
死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 165人（前年比 -42人 20.3%減）

で、死者数は昨年と同数、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は0%で、全傷者に占める割合は4.3%で0.1ポイント減少した。

（単位：人・%）



### (2) 月別

傷者数は12月の21人が最も多く、次いで1月、6月、11月の18人の順となっている。

（単位：人・%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者													0
	傷者	18	12	11	9	5	18	12	11	14	16	18	21	165
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	傷者	4.9	3.5	2.7	2.8	2.2	6.2	4.1	3.5	4.9	4.9	5.5	5.9	4.3

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の101人(61.2%)が最も多く、次いで歩行者の37人(22.4%)の順となっている。(単位:人・%)

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		同乗中		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者												0
	構成率(%)											0.0
傷 者		101						27		37		165
	構成率(%)	61.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.4	0.0	22.4	0.0	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位:人)

傷者は、幼稚園児の24人が最も多く、次いで中学2年生の19人、小学3年生の18人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学3年生の8人が最も多く、次いで小学1年生の7人となっている。

自転車の傷者は、中学生3年生の10人が最も多く、次いで中学2年生の5人の順となっている。

学 齢	状態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 園 児		3		0		11	0	14
	幼 稚 園 児		3		2		19	0	24
	計	0	6	0	2	0	30	0	38
小 学 生	1 年		7		1		9	0	17
	2 年		6		2		7	0	15
	3 年		8		1		9	0	18
	4 年		2		1		6	0	9
	5 年		0		1		7	0	8
	6 年		4		0		9	0	13
	計	0	27	0	6	0	47	0	80
中 学 生	1 年		1		4		8	0	13
	2 年		3		5		11	0	19
	3 年		0		10		5	0	15
	計	0	4	0	19	0	24	0	47
合 計	0	37	0	27	0	101	0	165	

(5) 時間別・昼夜別

(単位:人・%)

傷者は昼間が多く80.0%を占めている。時間別では、下校時間帯及び放課後となる16~18時の43人が最も多く、次いで14~16時の39人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者						0	0
	構成率(%)						0.0
傷 者		132	26	33	13	165	39
	構成率(%)	80.0	15.8	20.0	7.9	100.0	23.6

\* 薄暮時は内数

(単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
		死 者												
	構成率(%)													0.0
傷 者		1			22	10	16	13	39	43	14	7		165
	構成率(%)	0.6	0.0	0.0	13.3	6.1	9.7	7.9	23.6	26.1	8.5	4.2	0.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、**幼児は買物やその他での被害が多く、小学生は買物での被害が多く、中学生は登校時の被害が多い。**

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が**5.3%**、小学生は**28.8%**、中学生は**55.3%**となっている。

(単位：人・%)

学齢		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登校	1	2.6	6	7.5	16	34.0	23	13.9
	学業中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下校	1	2.6	17	21.3	10	21.3	28	17.0
私用	観光・娯楽	2	5.3	1	1.3	1	2.1	4	2.4
	ドライブ	4	10.5	3	3.8		0.0	7	4.2
	散歩	2	5.3	3	3.8		0.0	5	3.0
	飲食		0.0		0.0	1	2.1	1	0.6
	買物	12	31.6	21	26.3	8	17.0	41	24.8
	訪問	1	2.6	3	3.8	4	8.5	8	4.8
	帰省	2	5.3	3	3.8	2	4.3	7	4.2
	遊戯(路上)	1	2.6	4	5.0		0.0	5	3.0
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	12	31.6	19	23.8	5	10.6	36	21.8
調査不能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		38	100.0	80	100.0	47	100.0	165	100.0

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち**61.2%**が、交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

**特に、小学生歩行者の交差点事故が20人と多い。**

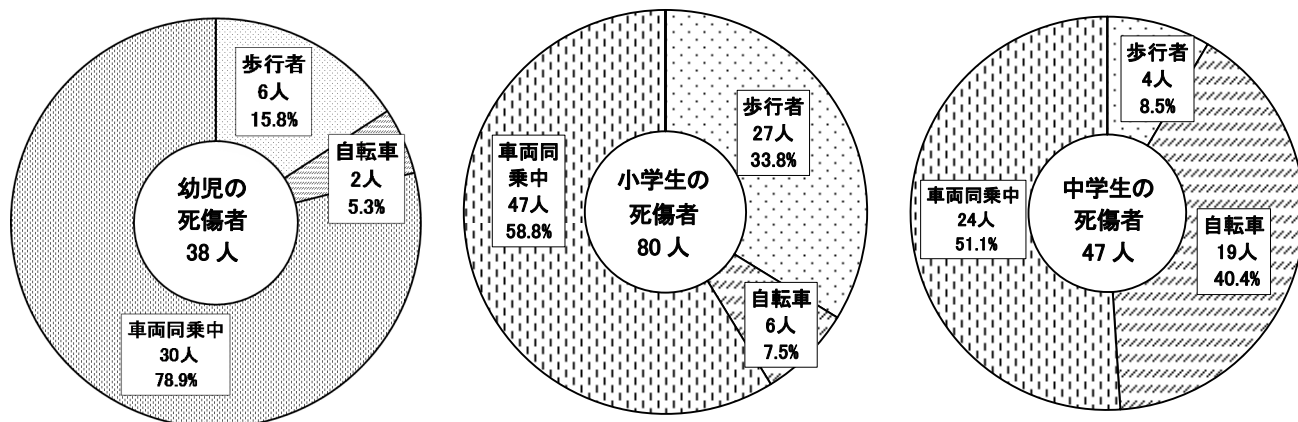
形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点	人数	23	18	60	101
	構成率(%)	22.8	17.8	59.4	
単 路	人数	12	9	38	59
	構成率(%)	20.3	15.3	64.4	
駐 車 場 等	人数	2		3	5
	構成率(%)	40.0	0.0	60.0	
合 計	人数	37	27	101	165
	構成率(%)	22.4	16.4	61.2	

(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	2	1	17	20	3	1	13	17	1			1
小 学 生	20	4	26	50	7	2	19	28			2	2
中 学 生	1	13	17	31	2	6	6	14	1		1	2
合 計	23	18	60	101	12	9	38	59	2	0	3	5

## イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く78.9%を占め、小学生についても58.8%と比率が高くなっている。



## ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が48.7%を占め、自転車乗車中についても自宅から500メートル以内での事故が29.6%を占めている。

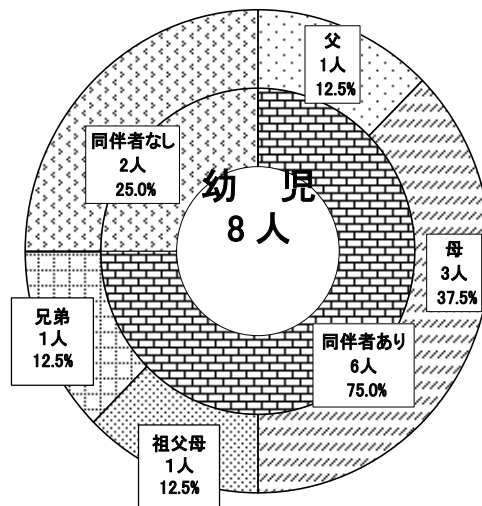
(単位：人・%)

区分	歩行者					自転車					合計							
	幼児		小学生		中学生	幼児		小学生		中学生	小計		合計					
	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)							
50 m 以下	2	33.3	4	14.8	0.0	6	16.2	1	50.0	1	16.7	0.0	2	7.4	8	12.5		
100m 以下		0.0	1	3.7	1	25.0	2	5.4	0.0	1	16.7	1	5.3	2	7.4	4	6.3	
500m 以下	2	33.3	8	29.6	0.0	10	27.0	0.0	2	33.3	2	10.5	4	14.8	14	21.9		
1 km 以下		0.0	8	29.6	1	25.0	9	24.3	1	50.0	1	16.7	5	26.3	7	25.9	16	25.0
2 km 以下	1	16.7	2	7.4	0.0	3	8.1	0.0		0.0	6	31.6	6	22.2	9	14.1		
2 km 超過	1	16.7	4	14.8	2	50.0	7	18.9	0.0	1	16.7	5	26.3	6	22.2	13	20.3	
調査不能		0.0		0.0	0.0	0	0.0	0.0		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0		
合計	6	100.0	27	100.0	4	100.0	37	100.0	2	100.0	6	100.0	19	100.0	27	100.0	64	100.0

## エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者8人のうち、「同伴者あり」は6人で、「同伴者なし」は2人となっている。

同伴者は父親が1人で母親が3人、祖父母が1人、兄弟が1人となっている。

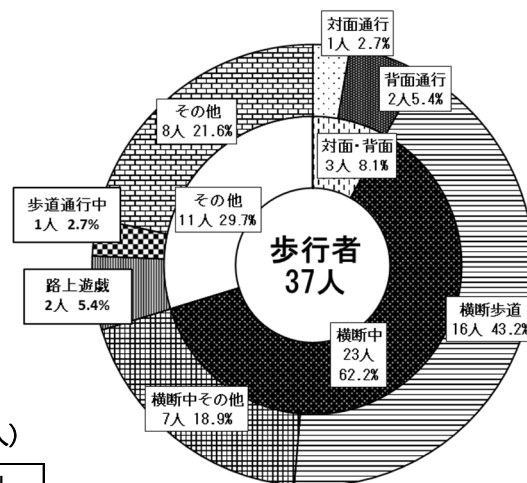


(8) 事故類型

ア 歩行者

事故類型別では横断中が23人と多く歩行者被害の62.2%を占め、中でも横断歩道での傷者が16人と多く、横断中傷者の約7割を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機のある横断歩道で小学生の傷者が目立っている。



(単位：人)

横断場所 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児				2
小学生	10	5		5
中学生	1			

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が15人で、自転車乗用中傷者の55.6%を占め最も多く、次いで左折時の4人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が18人と多く、自転車乗用中傷者の66.7%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状等 事故類型	交差点		計	その他	合計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他		
人対車両			0		0	0.0						
車対車	正面衝突		0		0	0.0						
	追突		0		0	0.0						
	出会い頭	11	1	12	3	15	55.6	1	1	3	8	2
	追越・追抜			0		0	0.0					
	転回・後退時		1	1		1	3.7				1	
	進路変更・すれ違い時			0	2	2	7.4				1	1
	右折時	2		2	1	3	11.1			1		1
互	左折時	3		3	1	4	14.8				3	1
	その他			0	2	2	7.4				1	1
計	16	2	18	9	27	100.0	1	1	4	2	13	6
車両単独			0		0	0.0						
列車			0		0	0.0						
合計	16	2	18	9	27	100.0	1	1	4	2	13	6



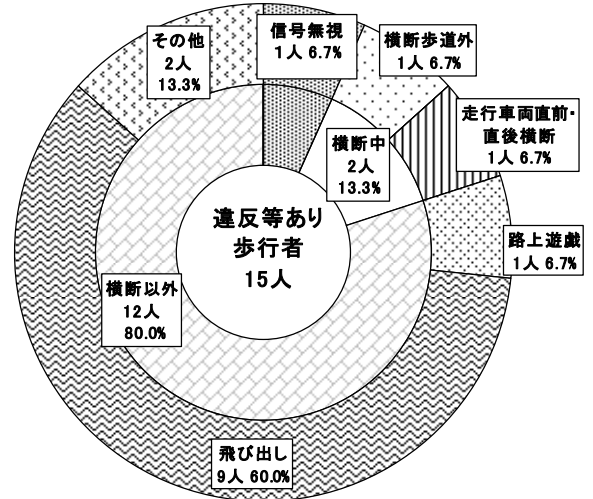
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者37人のうち、何らかの違反が認められた者は15人で、子供の歩行中事故の40.5%を占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが9人と最も多く、違反のあった歩行者の60.0%を占めている。

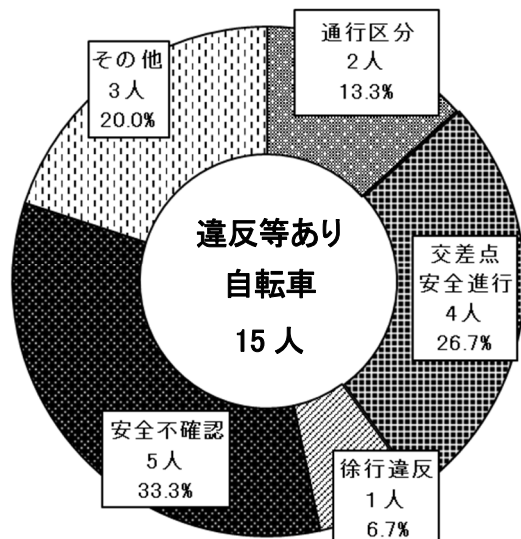
歩 行 者	幼 児	違反あり 違反なし	3人 50.0%	3人 50.0%
	小 学 生		12人 44.4%	15人 55.6%
	中 学 生		4人 100.0%	
	子 ど も 以 外		75人 18.9%	321人 81.1%



イ 自転車

自転車の傷者27人のうち、何らかの違反が認められたのは15人で自転車傷者数の55.6%を占めている。違反の内容をみると安全不確認が5人(33.3%)で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反の4人(26.7%)が続いている。

自 転 車	幼 児	違反あり 違反なし	1人 50.0%	1人 50.0%
	小 学 生		3人 50.0%	3人 50.0%
	中 学 生		11人 57.9%	8人 42.1%
	子 ど も 以 外		133人 41.3%	189人 58.7%



## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 6件 (前年比 -5件 45.5%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

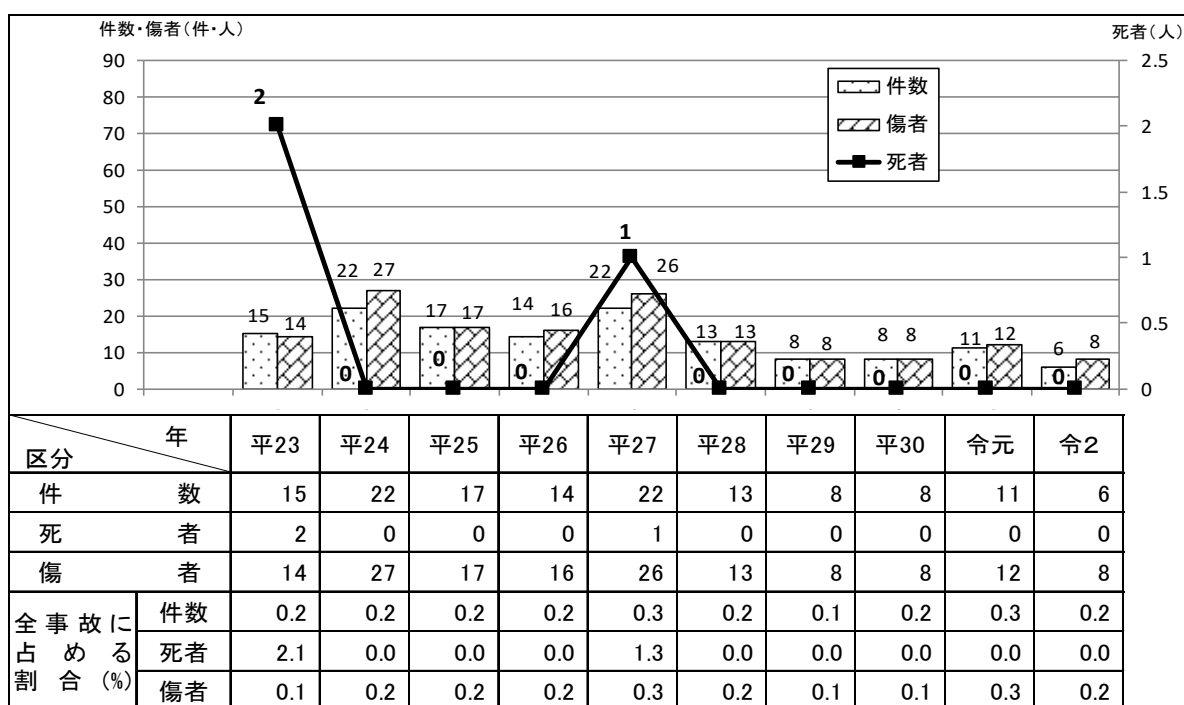
傷者数 8人 (前年比 -4人 33.3%減)

で、発生件数、傷者が減少した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成24年、平成27年の22件で、令和2年の6件は平成24年、平成27年と比べると72.7%減少している。

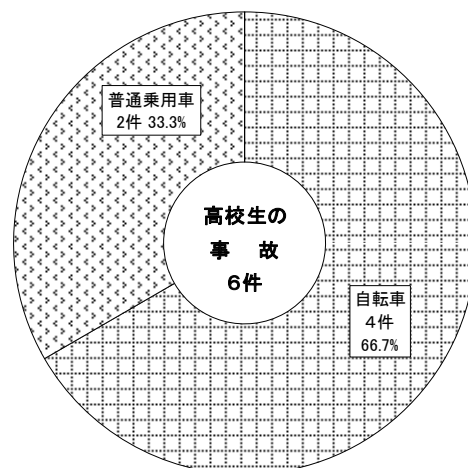
死者は、平成23年の2人が最も多く、平成27年は1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)



#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が4件で66.7%を占め、次いで、普通乗用車の2件(33.3%)となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は2件で33.3%を占め、信号無視、一時不停止がそれぞれ1件となっている。

安全運転義務違反による事故は4件で、ハンドル・ブレーキ操作不適、前方不注意、安全不確認、安全速度がそれぞれ1件となっている。

(単位: 件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	1	16.7	181	5.5	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	19	0.6
	最高速度		0.0	3	0.1		ハンドル・ブレーキ	1	16.7	181	5.5
	通区・追越		0.0	33	1.0		前方不注意	1	16.7	786	24.1
	歩行者妨害等		0.0	215	6.6		動静不注視		0.0	487	14.9
	一時不停止	1	16.7	223	6.8		安全不確認	1	16.7	626	19.2
	酒酔い運転		0.0	2	0.1		安全速度	1	16.7	28	0.9
	計	2	33.3	657	20.1	その他		0.0	38	1.2	
横断禁止等			0.0	26	0.8	計	4	66.7	2,146	65.7	
右・左折違反			0.0	7	0.2	その他		0.0	52	1.6	
優先通行妨害等			0.0	219	6.7	合計	6	100.0	3,266	100.0	
交差点安全進行			0.0	140	4.3	無免許(内数)		0.0	26	0.8	

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が33.3%で約1.7倍となっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	2件 33.3%	4件 66.7%	
全事故	657件 20.1%	2,146件 65.7%	463件 14.2%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自転車による事故が4件発生し、うち交差点において2件発生し、全事故の33.3%を占めている。

(単位: 件)

道路形状	交差点	付近(内数)	その他	合計	カーブ(内数)	
					右	左
当事者						
自動車			2	2		
二輪車	小型二輪			0		
	軽二輪			0		
	原付二種			0		
	原付			0		
計	0	0	0	0	0	0
自転車	2	0	2	4		
歩行者				0		
合計	2	0	4	6	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

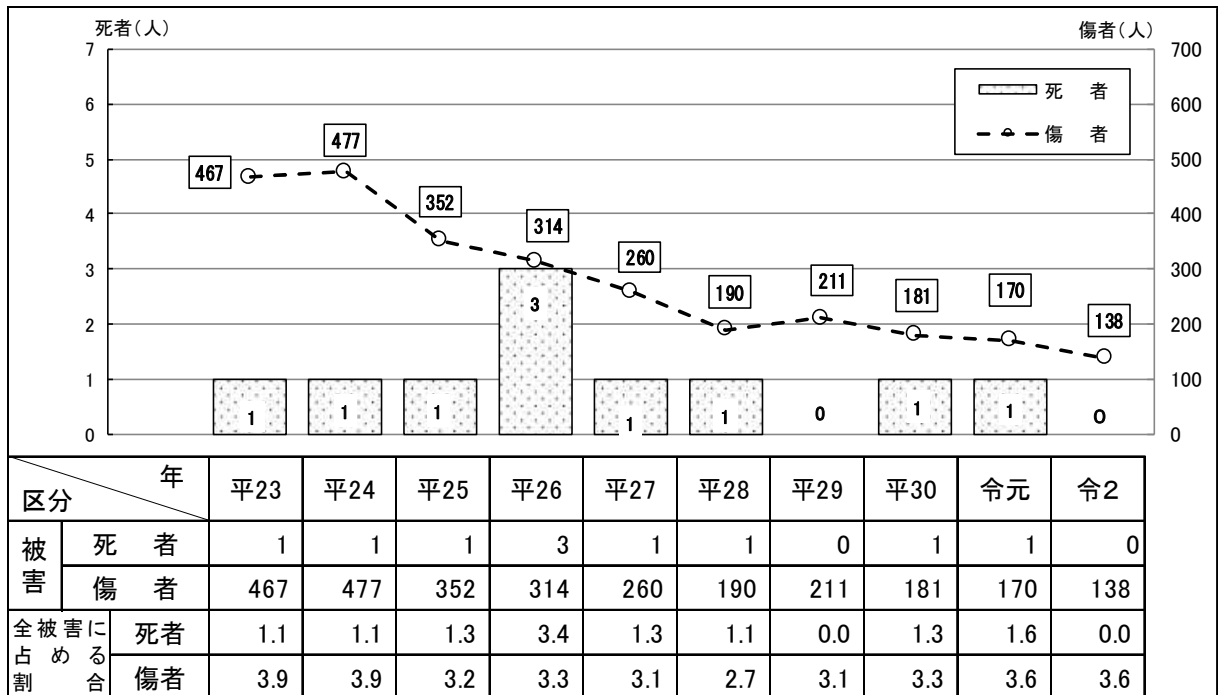
傷者数 138人 (前年比 -32人 18.8%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人で、その他は平成29年、令和2年を除き1人が亡くなっている。

傷者が最も多いのは平成24年の477人で、最も少ないのは令和2年の138人となっている。

(単位：人・%)

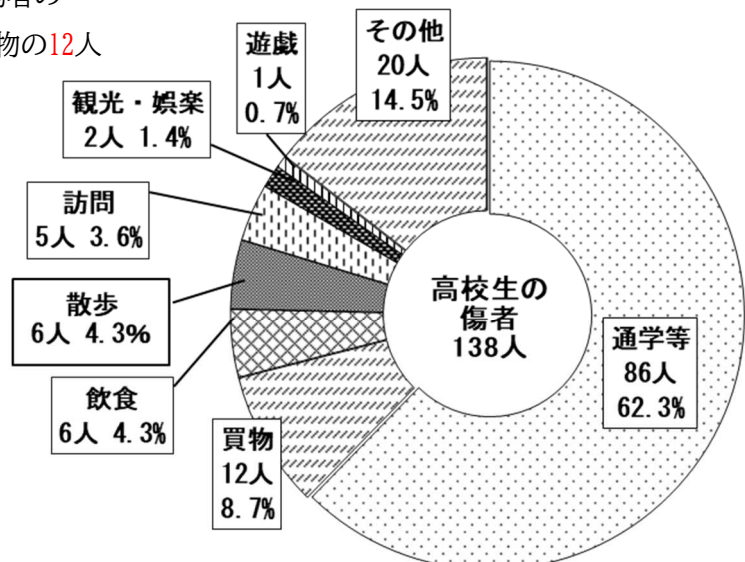


イ 通行目的

通学等の傷者は86人で高校生傷者の

62.3%を占め最も多く、次いで買物の12人

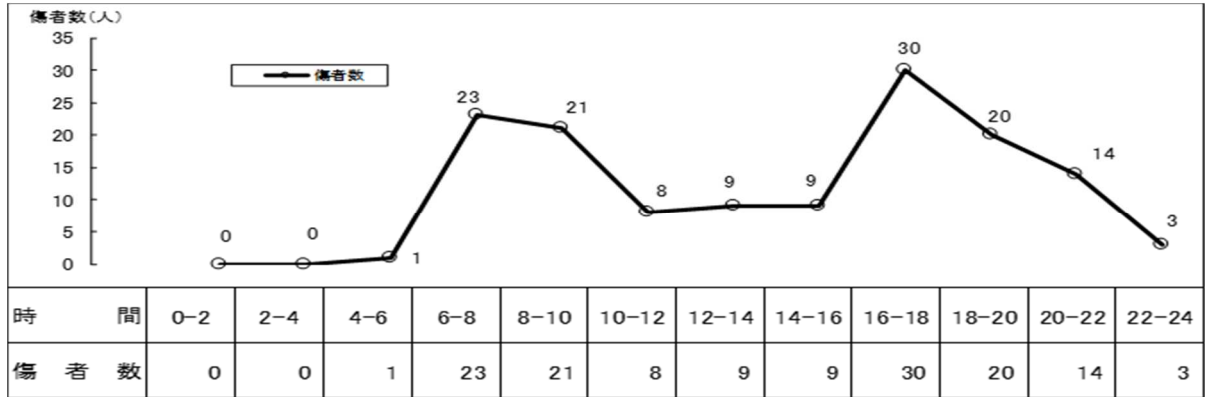
となっている。



ウ 時間別

傷者数は、登・下校時間帯、特に16時～18時が30人、6～8時が23人と多く、この時間帯の傷者は、高校生傷者の38.4%を占めている。

(単位：人)



エ 状態別

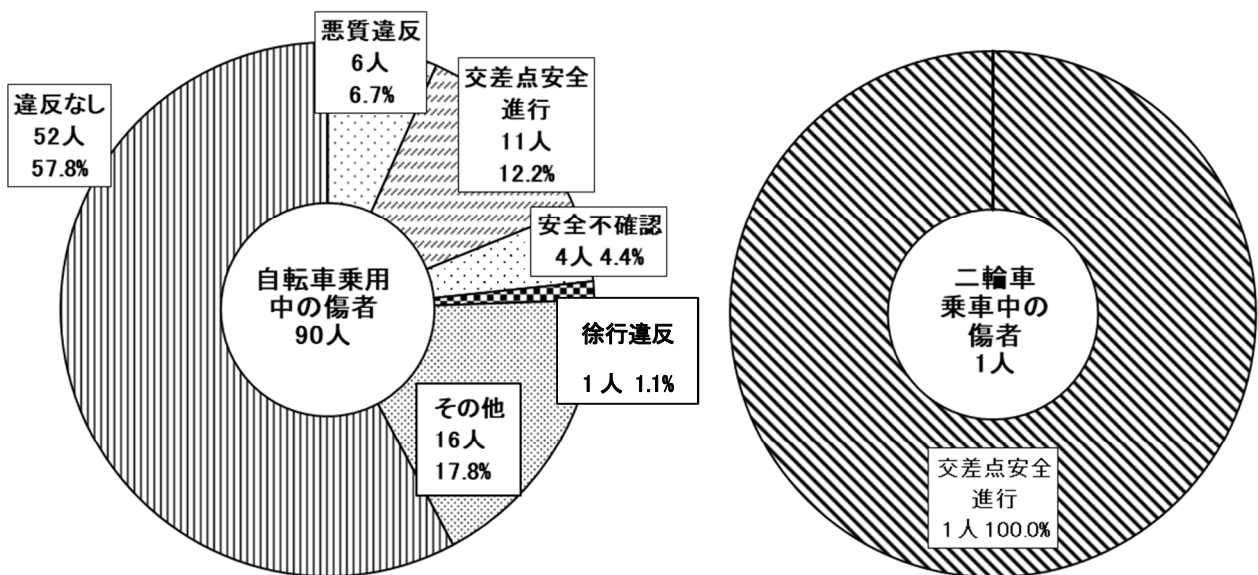
高校生の傷者は自転車乗用中が90人と最も多く高校生傷者の65.2%を占め、次いで自動車同乗中の30人(21.7%)、歩行中の16人(11.6%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	自動車		自動二輪車		原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷者	1	30	1	0	0	90	16	0	138
構成率(%)	0.7	21.7	0.7	0.0	0.0	65.2	11.6	0.0	100.0

自転車の違反状況をみると、42.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、交差点安全進行義務違反が1人である。

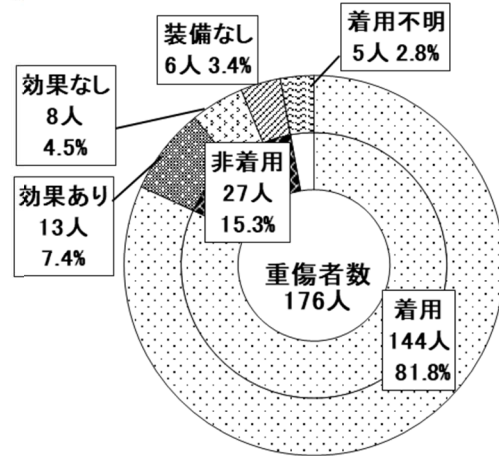
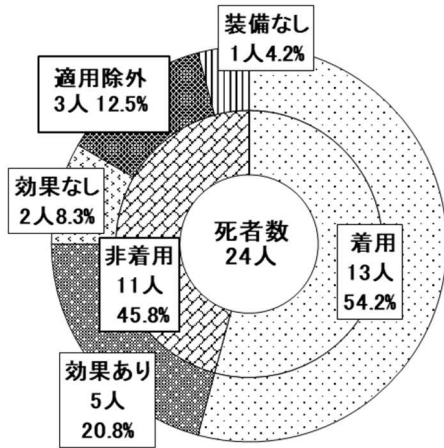


## 6 自動車のシートベルト着用状況

### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者11人中5人(45.5%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

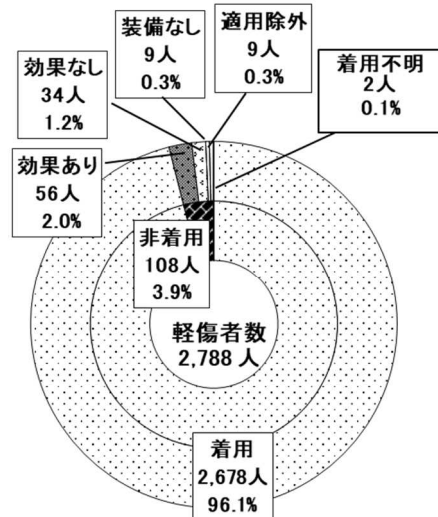


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
 損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの  
 効果なし……シートベルトを着用しているも、損傷部位等から  
 怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.1%、助手席が95.9%、後部席が65.1%である。

死者の着用率は、運転席が50.0%、助手席が66.7%、後部席は100.0%であった。



座席	死者	着用		非着用		着用不明
	人数	人数	割合	人数	割合	
運転席	20人	10人	50.0%	10人	50.0%	2人 0.1%
	傷者 2,382人	2,337人	98.1%	43人	1.8%	
助手席	3人	2人	66.7%	1人	33.3%	1人 0.3%
	傷者 344人	330人	95.9%	13人	3.8%	
後部席	1人	1人	100.0%	0人	0.0%	4人 1.7%
	傷者 238人	155人	65.1%	79人	33.2%	

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、50歳代が0%と最も低く、次いで40歳代が20.0%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が81.6%と最も低く、30歳代が98.0%と最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	28	28	100.0	46	43	93.5	105	75	71.4	179	146	81.6
20～24歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	154	148	96.1	28	27	96.4	15	7	46.7	197	182	92.4
25～29歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	204	199	97.5	34	31	91.2	16	8	50.0	254	238	93.7
30歳代	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	533	527	98.9	57	55	96.5	19	15	78.9	609	597	98.0
40歳代	死 者	4	1	25.0	1	0	0.0			-	5	1	20.0
	傷 者	553	541	97.8	44	43	97.7	13	10	76.9	610	594	97.4
50歳代	死 者	2	0	0.0			-			-	2	0	0.0
	傷 者	438	430	98.2	49	48	98.0	27	16	59.3	514	494	96.1
60～64歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	144	144	100.0	17	16	94.1	12	3	25.0	173	163	94.2
65～69歳	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	137	135	98.5	17	17	100.0	10	4	40.0	164	156	95.1
70歳以上	死 者	10	6	60.0	2	2	100.0	1	1	100.0	13	9	69.2
	傷 者	191	185	96.9	52	50	96.2	21	17	81.0	264	252	95.5
合 計	死 者	20	10	50.0	3	2	66.7	1	1	100.0	24	13	54.2
	傷 者	2,382	2,337	98.1	344	330	95.9	238	155	65.1	2,964	2,822	95.2

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、0～2時、4～6時、18～20時が0%と最も低く、2～4時、6～8時、8～10時、16～18時が100%と最も高い。

傷者は18～20時が97.2%と最も高く、0～2時が84.4%と最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	2	0	0.0	1	0	0.0			-	3	0	0.0
	傷 者	22	20	90.9	6	6	100.0	4	1	25.0	32	27	84.4
2～4	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	10	9	90.0	4	4	100.0			-	14	13	92.9
4～6	死 者	3	0	0.0			-			-	3	0	0.0
	傷 者	42	41	97.6	5	4	80.0	4	2	50.0	51	47	92.2
6～8	死 者	1	1	100.0			-	1	1	100.0	2	2	100.0
	傷 者	314	311	99.0	20	19	95.0	34	19	55.9	368	349	94.8
8～10	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	306	301	98.4	27	26	96.3	23	18	78.3	356	345	96.9
10～12	死 者	3	2	66.7	1	1	-			-	4	3	75.0
	傷 者	318	307	96.5	61	55	90.2	31	23	74.2	410	385	93.9
12～14	死 者	2	1	50.0	1	1	-			-	3	2	66.7
	傷 者	258	251	97.3	61	60	98.4	23	21	91.3	342	332	97.1
14～16	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	322	315	97.8	57	56	98.2	38	18	47.4	417	389	93.3
16～18	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	396	392	99.0	50	50	100.0	41	26	63.4	487	468	96.1
18～20	死 者	1	0	0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	277	276	99.6	26	25	96.2	23	16	69.6	326	317	97.2
20～22	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	84	83	98.8	19	19	100.0	14	10	71.4	117	112	95.7
22～24	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	33	31	93.9	8	6	75.0	3	1	33.3	44	38	86.4
合 計	死 者	20	10	50.0	3	2	66.7	1	1	100.0	24	13	54.2
	傷 者	2,382	2,337	98.1	344	330	95.9	238	155	65.1	2,964	2,822	95.2

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人(前年比 ±0人)

傷者数 28人(前年比 -10人 26.3%減)

で、死者は昨年に続いて0人であり、傷者数は減少した。

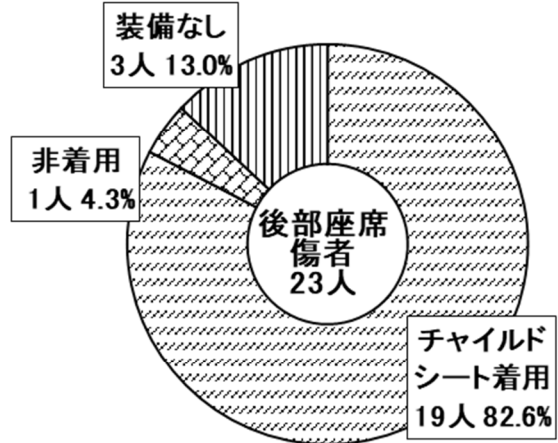
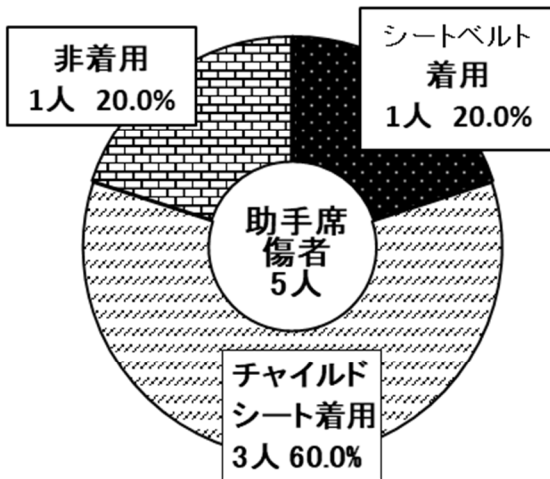
乗車位置別死傷者数は、助手席が5人(うち死亡0人)、後部座席が23人(うち死亡0人)となっている。

【助手席】 (単位：人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	3		
	計	4	0	0
非着用	効果あり	1		
	効果なし			
	計	1	0	0
装備なし等				
合計		5	0	0

【後部座席】 (単位：人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト			
	チャイルドシート	19		1
	計	19	0	1
非着用	効果あり			
	効果なし	1		1
	計	1	0	1
装備なし等		3		2
合計		23	0	4



効果あり	1人
効果なし	0人

効果あり	0人
効果なし	1人

死亡	0人
重傷	0人

死亡	0人
重傷	4人



## 7 青年運転者の事故

### (1) 概況

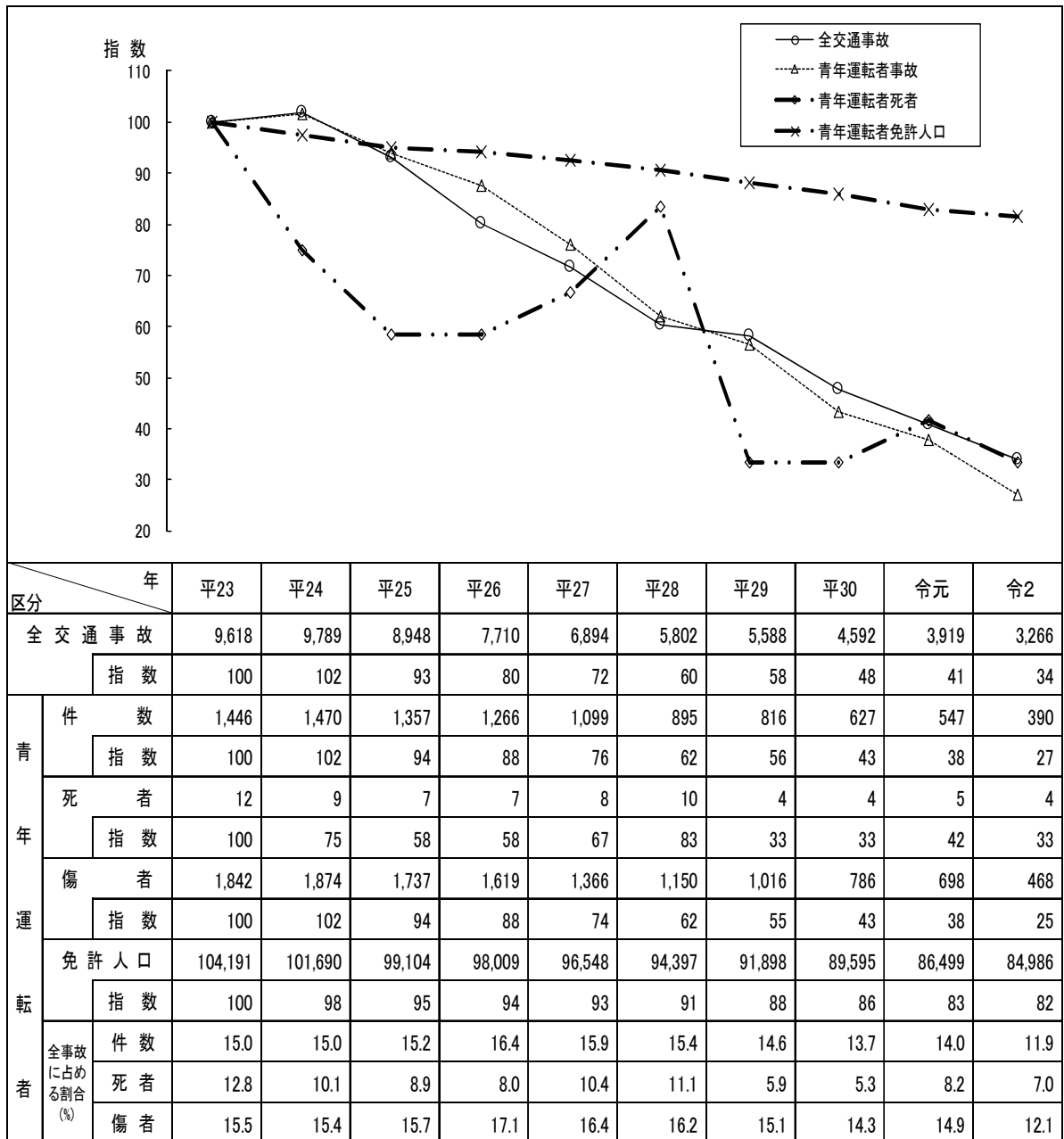
青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	390件	(前年比 -157件)	28.7%減)
死者数	4人	(前年比 -1人)	20.0%減)
傷者数	468人	(前年比 -230人)	33.0%減)

で、発生件数、傷者数、死者数全て減少した。

全事故に占める割合は、件数が11.9%、死者数が7.0%、傷者数が12.1%となっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が193件で最も多く、青年運転者の49.5%を占めている。

違反別では、前方不注意が116件で最も多く29.7%を占めている。

悪質違反による事故は66件で青年運転者の16.9%を占め、うち信号無視が31件と最も多い。

(単位：件)

違反	車種	自動車						二輪車				合計	
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特殊	小二	軽二	原二		原付
悪質違反	信号無視		16	14		1							31
	最高速度												0
	通区・追越		1	2									3
	歩行者妨害等		10	5									15
	一時不停止		8	7			2						17
	酒酔い運転												0
計		0	35	28	0	1	2	0	0	0	0	0	66
横断禁止等			2	1									3
右折違反													0
左折違反													0
優先通行妨害等			16	7		1	2						26
交差点安全進行			10	1	1	1				1			14
徐行違反			1	2									3
過労運転													0
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		11	7									18
	前方不注意		46	58	2	4	4			1		1	116
	動静不注視		37	34	4	3	3						81
	安全不確認		30	20	1	1	1						53
	安全速度		2			1							3
	その他		3	1									4
計		0	129	120	7	9	8	0	0	1	0	1	275
その他				2		1							3
合計		0	193	161	8	13	12	0	0	2	0	1	390

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が74件と最も多く、次いで16～18時の66件、6～8時の63件となっている。

道路別では、市町村道が141件と最も多く、次いで国道が122件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の67.4%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国				7	1	2	4	2	3	7	1	
道	4号				8	2	1				3			14
	6号							2	3	3	2			10
	13号			1	3	3	2		2	4	2	2	3	22
	49号	1		1	9	3	3	6	4	10	11		1	49
	三桁													
計		1	0	2	27	9	8	10	10	20	26	5	4	122
県道		2	1	4	21	11	8	7	8	15	24	6	5	112
市町村道		2	2	3	15	12	9	15	15	28	23	10	7	141
高速道				1										1
その他				2			4	1		3	1	2	1	14
合計		5	3	12	63	32	29	33	33	66	74	23	17	390

(4) 事故類型別

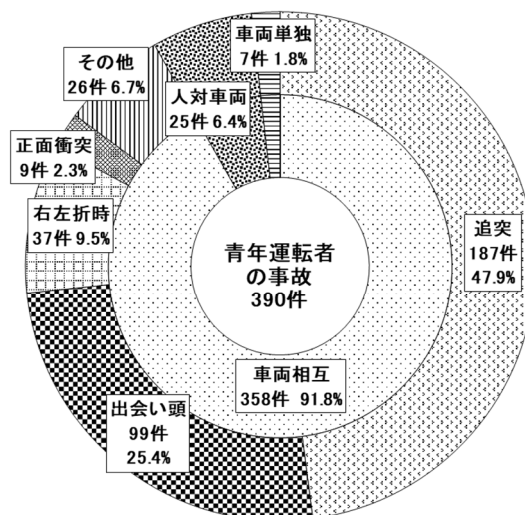
車両相互が**358件**で青年運転者事故の**91.8%**を占めている。

特に、

追 突：**187件 (47.9%)**

出会い頭：**99件 (25.4%)**

が多く、両事故類型を合わせると **286件**で車両相互の**79.9%**を占めている。

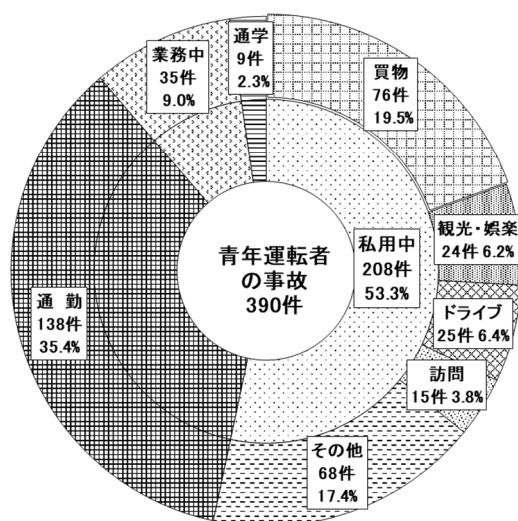


(5) 通行目的別

私用中が **208件**で青年運転者事故の**53.3%**を占めている。

特に、買物が**76件**と多く、私用中事故の**36.5%**を占め、次いでドライブの**25件**の順となっている。

また通勤時の事故も **138件**発生し、青年運転者事故の**35.4%**を占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が **349件**で最も多く、青年運転者事故の**89.5%**を占めている。

車種別で見ると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	自動車											二輪車				合計	
	大乗	中乗	準中型	普通	軽乗	大乗	貨中	貨準	中型	普通	軽貨	特殊	小二	軽二	原二		原付
停止中																	0
50 km/h以下				171	149		1	5	11	10				1		1	349
60 km/h以下				13	8		1	1		2				1			26
70 km/h以下				4	3												7
80 km/h以下				1					1								2
90 km/h以下				1													1
100 km/h以下				1													1
101 km/h以上									1								1
調査不能				2	1												3
合計	0	0	0	193	161	0	2	6	13	12	0	0	2	0	1		390

(7) 人的原因別

発見の遅れが 264件と多く、青年運転者による事故の67.7%を占めている。

このうち安全不確認が 110件と多く、次いで多い脇見等 83件と合わせると、「発見の遅れ」全体の73.1%を占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
合 計	件数	死者	390
	死傷者		4
			468
<b>発見の遅れ 計</b>	件数	死者	264
	死傷者		1
			309
<b>前方不注意 計</b>	件数	死者	154
	死傷者		1
			179
<b>内在的(漫然等) 計</b>	件数	死者	71
	死傷者		1
			87
居眠り運転	件数	死者	2
	死傷者		0
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	死者	1
	死傷者		0
雑談や携帯電話等で話していた	件数	死者	5
	死傷者		0
その他、考え事等の漫然運転	件数	死者	63
	死傷者		1
			79
<b>外在的(脇見等) 計</b>	件数	死者	83
	死傷者		0
			92
物を落とした、物を取ろうとした	件数	死者	11
	死傷者		0
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	死者	7
	死傷者		0
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件数	死者	2
	死傷者		2
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	死者	5
	死傷者		0
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	死者	0
	死傷者		0
道、案内標識等を探して脇見	件数	死者	4
	死傷者		0
風景、地物等に脇見	件数	死者	19
	死傷者		0
他の車、歩行者に脇見	件数	死者	14
	死傷者		0
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	死者	5
	死傷者		0
その他脇見	件数	死者	16
	死傷者		16
<b>安全不確認 計</b>	件数	死者	110
	死傷者		0
			130
安全確認をしなかった	件数	死者	32
	死傷者		0
安全確認が不十分だった	件数	死者	78
	死傷者		0
			94

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
<b>判断の誤り等 計</b>	件数	死者	100
	死傷者		1
			125
<b>動静不注視 計</b>	件数	死者	91
	死傷者		1
			112
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	死者	4
	死傷者		0
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	死者	7
	死傷者		0
			2
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	死者	85
	死傷者		1
			103
<b>予測不適 計</b>	件数	死者	3
	死傷者		0
			3
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件数	死者	2
	死傷者		0
			2
相手がルールを守ると思った	件数	死者	0
	死傷者		0
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	死者	0
	死傷者		0
他の事故(危険)を避けようと思った	件数	死者	0
	死傷者		0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	死者	1
	死傷者		0
			1
<b>交通環境 計</b>	件数	死者	6
	死傷者		0
			10
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	死者	2
	死傷者		0
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件数	死者	0
	死傷者		0
交通規制に対する認識を誤った	件数	死者	4
	死傷者		0
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	死者	0
	死傷者		0
障害物等に対する認識を誤った	件数	死者	0
	死傷者		0
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	死者	0
	死傷者		0
			0
<b>操作上の誤り(操作不適) 計</b>	件数	死者	24
	死傷者		0
			34
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	死者	5
	死傷者		0
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	死者	8
	死傷者		0
急ブレーキをかけた	件数	死者	12
	死傷者		3
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数	死者	0
	死傷者		0
ハンドルの操作不適	件数	死者	0
	死傷者		3
ギヤの入れ違い	件数	死者	0
	死傷者		1
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	死者	0
	死傷者		0
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数	死者	0
	死傷者		0
その他の操作不適	件数	死者	0
	死傷者		4
			4
<b>調査不能</b>	件数	死者	2
	死傷者		0
			2

## 8 高齢者の事故（65歳以上）

### (1) 高齢運転者による事故

#### ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

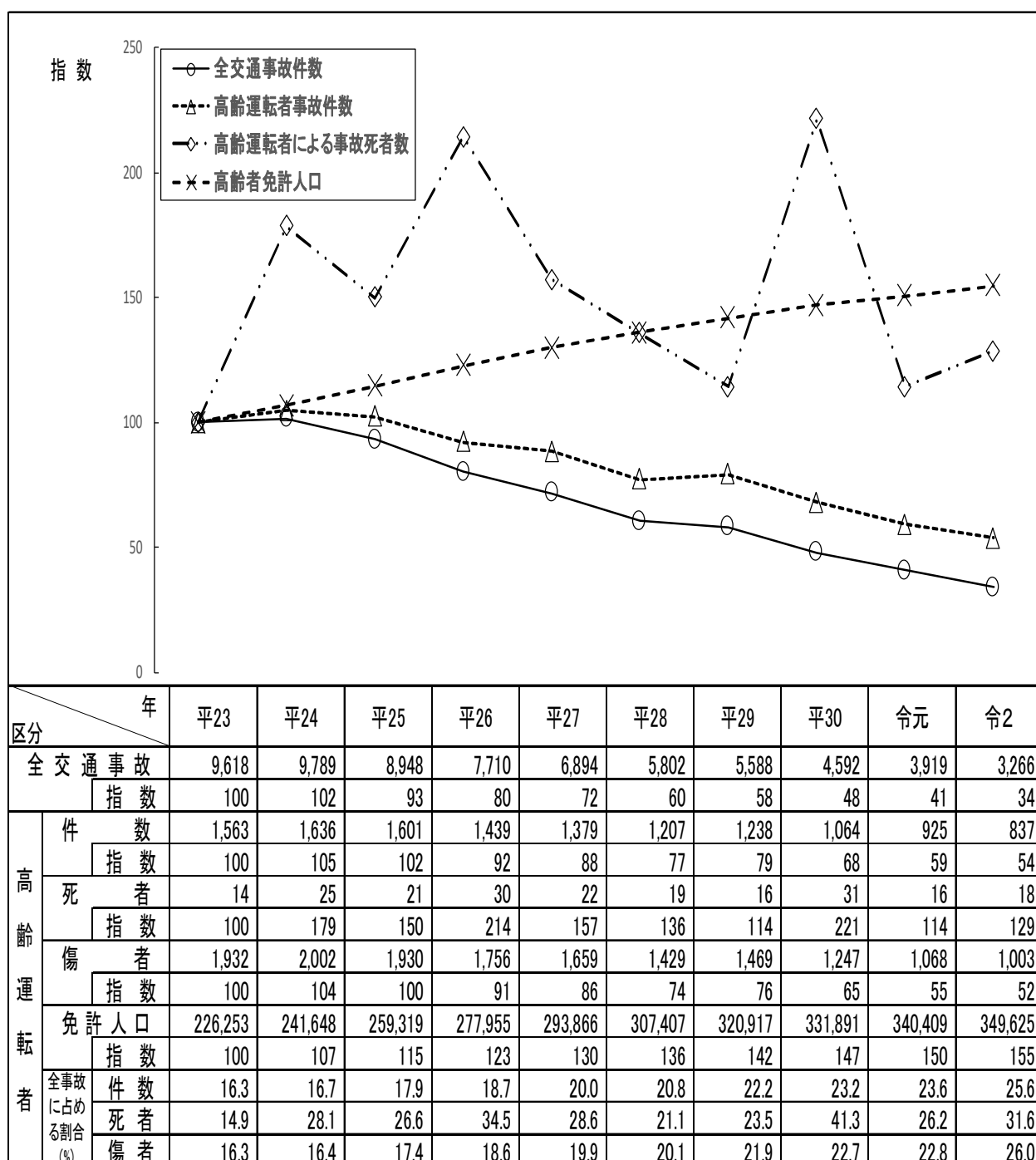
発生件数 837件（前年比 -88件 9.5%減）

死者数 18人（前年比 +2人 12.5%増）

傷者数 1,003人（前年比 -65人 6.1%減）

で、発生件数、傷者数は減少するも、死者数は増加した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が163件と最も多く、次いで14～16時の141件、16～18時の133件の順となっている。

8時～18時までの発生は675件と高齢運転者事故の80.6%を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、555件と高齢運転者事故の66.3%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間											合計	昼間	夜間	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22				22-24
国 道	4号				5	7	9	7	7	6	7	1		49	39	10
	6号				5	2	3	3	6	8	5			32	22	10
	13号				2	2	4			2	1	1		12	10	2
	49号	1	1			6	4		6	4	4	1		27	22	5
	三桁			2	3	11	20	16	17	10	6	3		88	77	11
	計	1	1	2	15	28	40	26	36	30	23	6	0	208	170	38
県 道	計	1		6	18	29	34	25	27	45	18	5	3	211	168	43
	市町村道			5	23	51	63	60	67	47	21	6	1	344	297	47
生活道路	計	1	0	11	41	80	97	85	94	92	39	11	4	555	465	90
高 速 道	計		1				1	1		2				5	4	1
そ の 他	計					9	25	9	11	9	3	3		69	59	10
合 計	計	2	2	13	56	117	163	121	141	133	65	20	4	837	698	139

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が356件で、高齢運転者事故の42.5%を占め、次いで軽乗用車の277件、軽貨物車の133件と続いている。

また、二輪車による事故は4件で高齢運転者事故の0.5%を占めている。

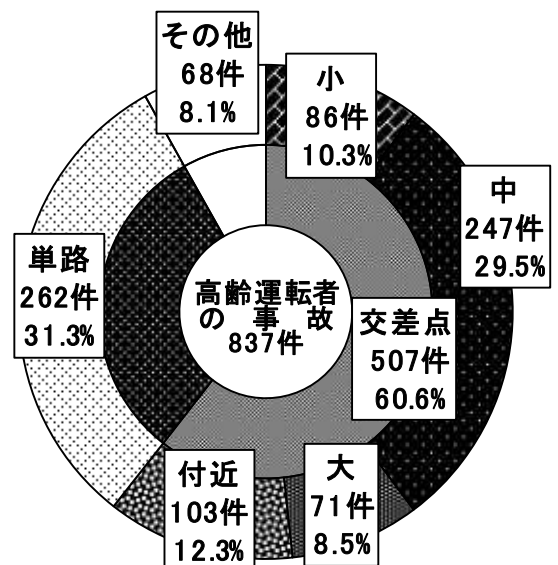
(単位：件)

年齢	車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65 ~ 69 歳		2	105	92	17	18	45				2	281
70 歳 代		2	183	128	9	14	56	2	1		1	396
80 歳 以 上			68	57		2	32	1				160
合 計		4	356	277	26	34	133	3	1	0	3	837

エ 道路形状別

交差点での事故は507件で、高齢運転者事故の60.6パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の29.5%を占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が198件と最も多く、高齢運転者事故の23.7%を占め、次いで前方不注意が159件となっている。

悪質違反は 187件で、一時不停止が64件と最も多く、次いで歩行者妨害等の63件となっている。

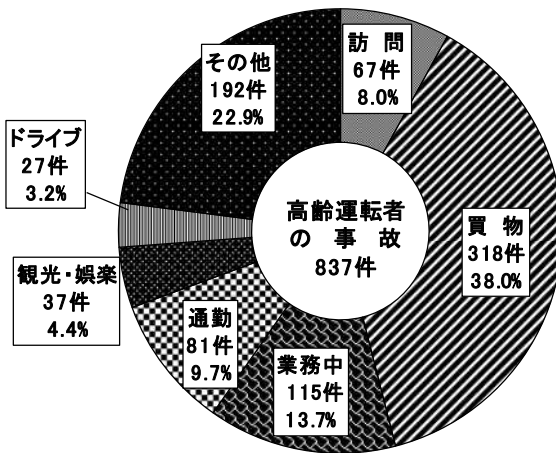
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は22.3%となっており、全交通事故の占める悪質違反の割合20.1%と比較すると2.2ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						計	横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他 計	合 計		
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転								安 全 不 確 認	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 速 度	そ の 他				
件 数	45	1	14	63	64		187	4		3	64	46	4	53	159	88	198	3	17	518	11	837
構成率(%)	5.4	0.1	1.7	7.5	7.6	0.0	22.3	0.5	0.0	0.4	7.6	5.5	0.5	6.3	19.0	10.5	23.7	0.4	2.0	61.9	1.3	100.0

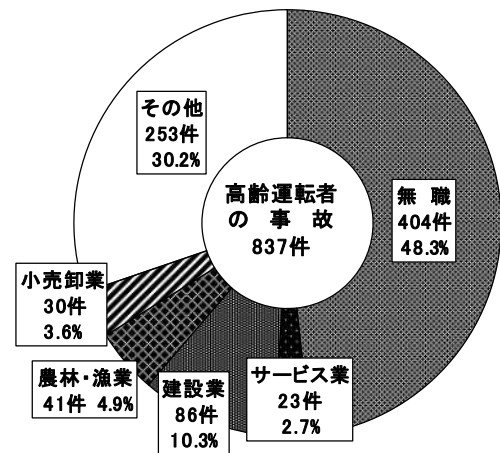
カ 通行目的別

買物が 318件と多く、高齢運転者事故の 38.0%を占めている。



キ 職業別

無職が404件と最も多く、高齢運転者の 48.3%を占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
		免許人口	84,986	848,575	349,625
	構成率(%)	6.6	66.1	27.2	100
件数		390	1,872	837	3,099
	構成率(%)	12.6	60.4	27.0	100
死者		4	11	18	33
	構成率(%)	12.1	33.3	54.5	100
傷者		468	1,595	1,003	3,066
	構成率(%)	15.3	52.0	32.7	100

※ 原付以上の運転者が対象 (不明除く)

(免許人口は令和2年12月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

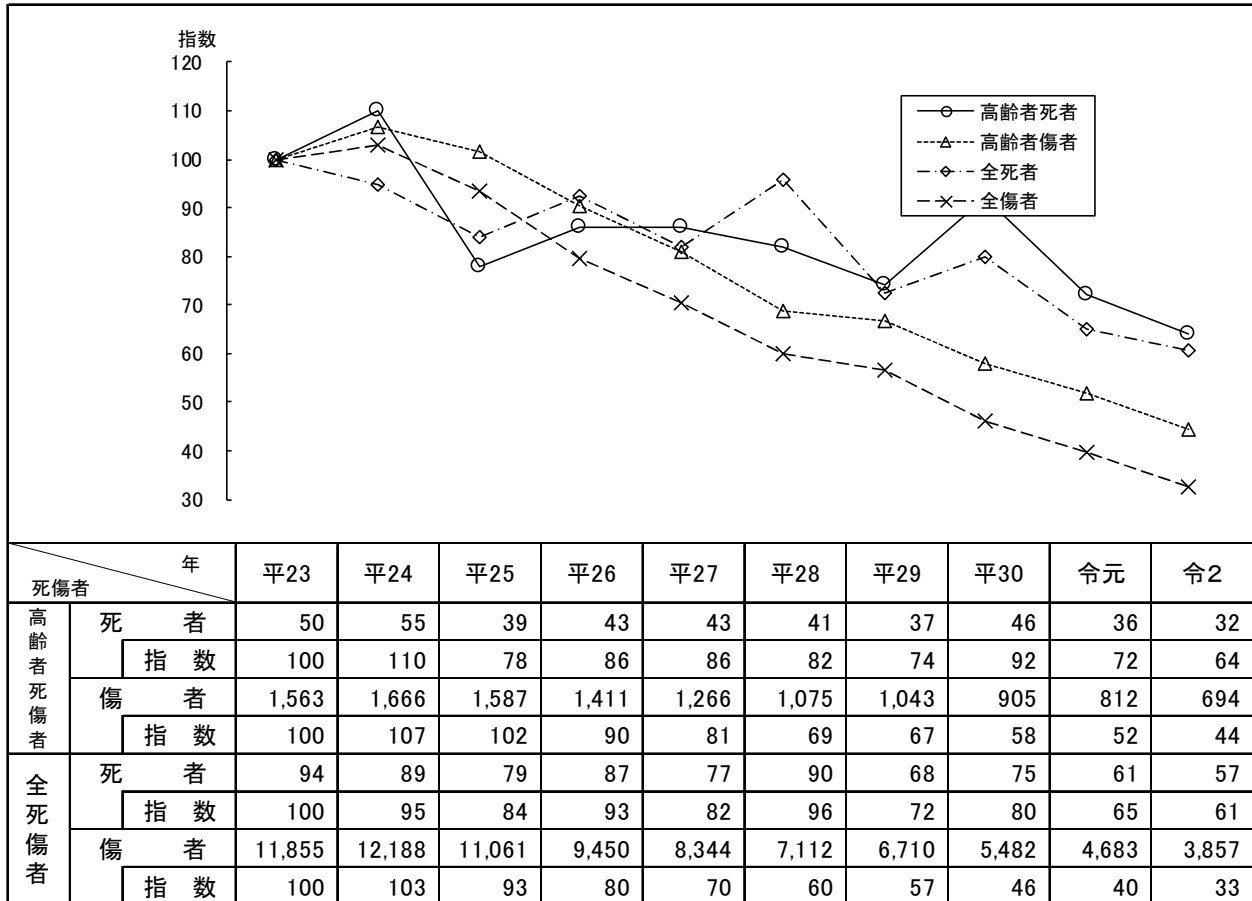
ア 概況

交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 32人（前年比 -4人 11.1%減）  
 傷者数 694人（前年比 -118人 14.5%減）

で、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：人）



イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は19人で高齢者死者の59.4%、傷者は480人で高齢者傷者の69.2%を占めている。

（単位：人・%）

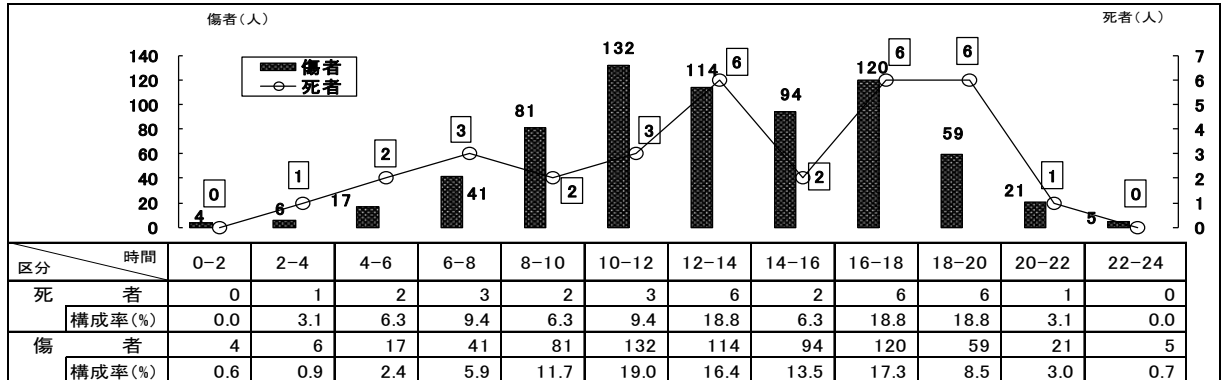
区分	道路	国 道					計	生活道路		計	高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市町村道				
死 者					2	8	10	6	13	19	3		32
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	6.3	25.0	31.3	18.8	40.6	59.4	9.4	0.0	100.0
傷 者		30	28	10	18	71	157	210	270	480	5	52	694
	構成率(%)	4.3	4.0	1.4	2.6	10.2	22.6	30.3	38.9	69.2	0.7	7.5	100.0



ウ 時間別

死者は12～14時、16～18時、18～20時の6人が最も多く、高齢者死者の56.3%を占め、次いで6～8時、10～12時の3人の順となっている。

傷者は10～12時の132人が最も多く、高齢者傷者の19.0%を占め、次いで16～18時の120人の順となっている。  
(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の13人が最も多く、高齢死者の40.6%を占め、次いで四輪運転の12人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。  
(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		1	25	6	78	6	68	13	171
自転車			17	1	36	1	23	2	76
原付			4		10		3	0	17
自二			2	1				1	2
四輪運転		2	137	7	166	3	25	12	328
四輪同乗			27	3	48		25	3	100
その他						1		1	0
合計		3	212	18	338	11	144	32	694

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは7人で53.8%を占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは38人で22.4%を占め、横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	通行区分	横断			断		酔酩・徘徊	その他		
			横歩道断外	斜め横断	駐車停車	走直行前直後	横止断場禁所				
死者		1	1	1		2			2	6	13
傷者	1	6	13	3		4	1	3	7	132	170

(イ) 自転車

死者の違反については、**交差点安全進行違反**、**安全不確認**が各1人となっている。

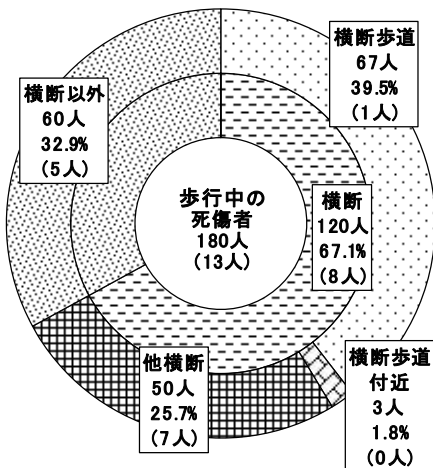
傷者のうち、何らかの違反があったのは**31人**で**40.8%**を占め、うち**交差点安全進行義務違反**が**12人**と最も多い。(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安全進点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者					1			1			2
傷者	1	1	1		12	4		6	6	45	76

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

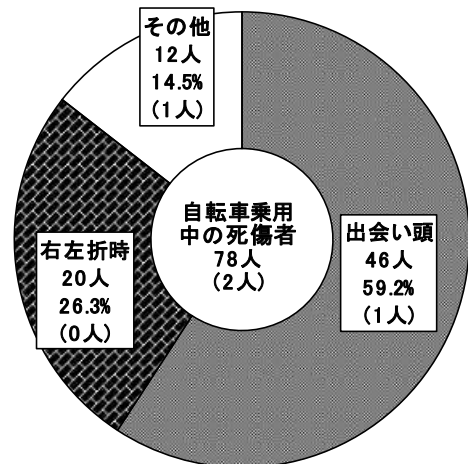
横断が**120人**と多く、歩行中死傷者の**67.1%**を占めている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

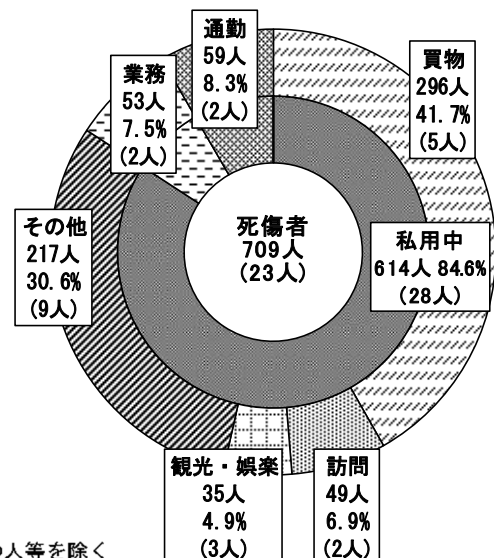
**出会い頭事故**が**46人**と多く、自転車事故死傷者の**59.2%**を占めている。



\* ( )内は死者で内数

キ 通行目的別

**買物**が**296人**と最も多く、高齢者死傷者全体の**41.7%**を占め、**次いで通勤・業務**と続いている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

## 9 初心運転者の事故

### (1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

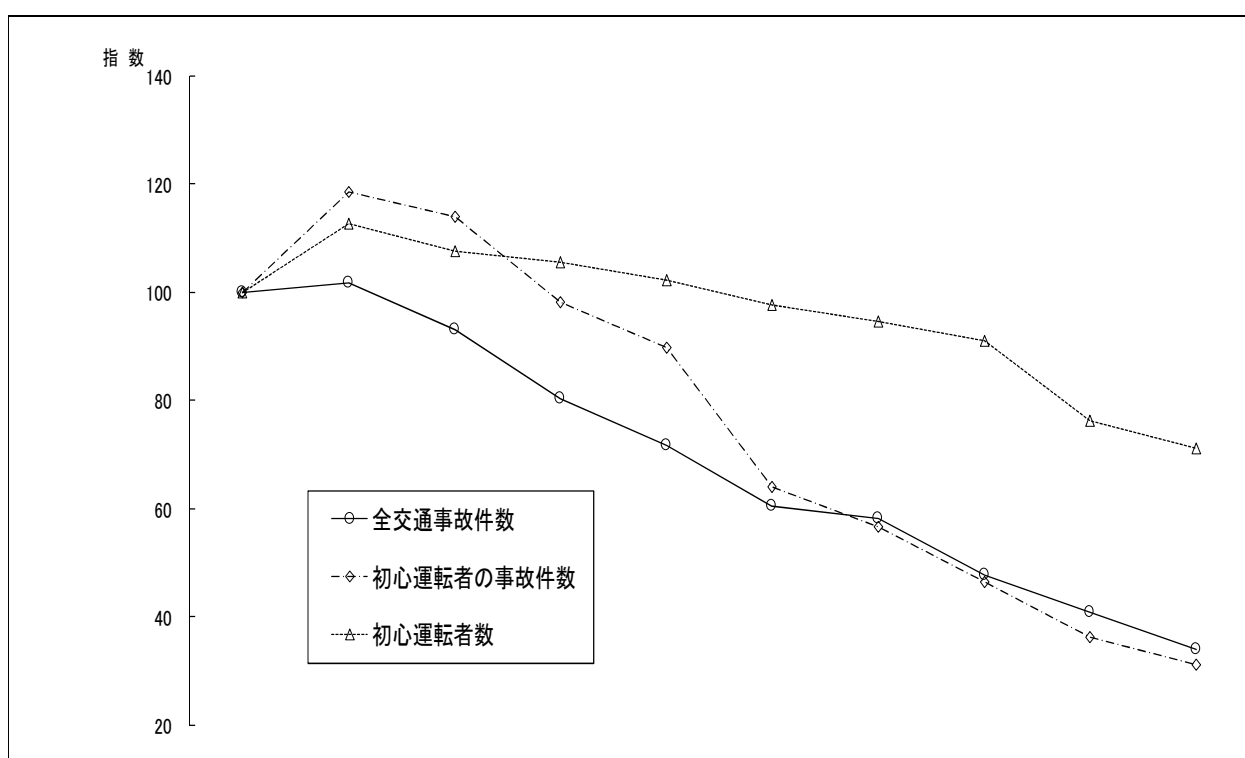
発生件数 110件（前年比 -18件 14.1%減）

死者数 2人（前年比 -1人 33.3%減）

傷者数 139人（前年比 -27人 16.3%減）

で、死者数、発生件数、傷者数はともに減少した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合もおおよそ減少傾向にある。  
（単位：件・人・%）

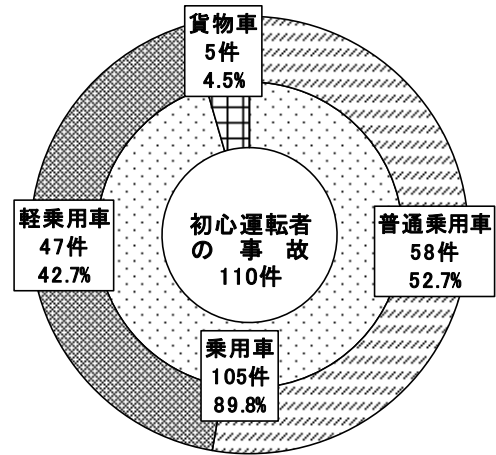


区分	年	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
全交通事故	件数	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919	3,266
	指数	100	102	93	80	72	60	58	48	41	34
初心運転者事故	件数	353	418	402	346	317	226	200	164	128	110
	指数	100	118	114	98	90	64	57	46	36	31
	死者数	6	5	5	4	5	2	2	2	3	2
	指数	100	83	83	67	83	33	33	33	50	33
傷者	件数	460	534	519	450	395	285	248	205	166	139
	指数	100	116	113	98	86	62	54	45	36	30
全免許人口	件数	1,310,410	1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583	1,307,658	1,303,412	1,298,162	1,289,837	1,283,186
	指数	100	100	100	100	100	100	99	99	98	98
初心運転者数	件数	28,352	31,899	30,489	29,928	28,979	27,687	26,788	25,803	21,571	20,192
	指数	100	113	108	106	102	98	94	91	76	71
全事故に占める割合		3.7	4.3	4.5	4.5	4.6	3.9	3.6	3.6	3.3	3.4

(2) 車種別

乗用車が105件で初心運転者事故の89.8%を占め、普通乗用車の占める割合が52.7%と高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、普通乗用車が52.7%と最も高くなっている。



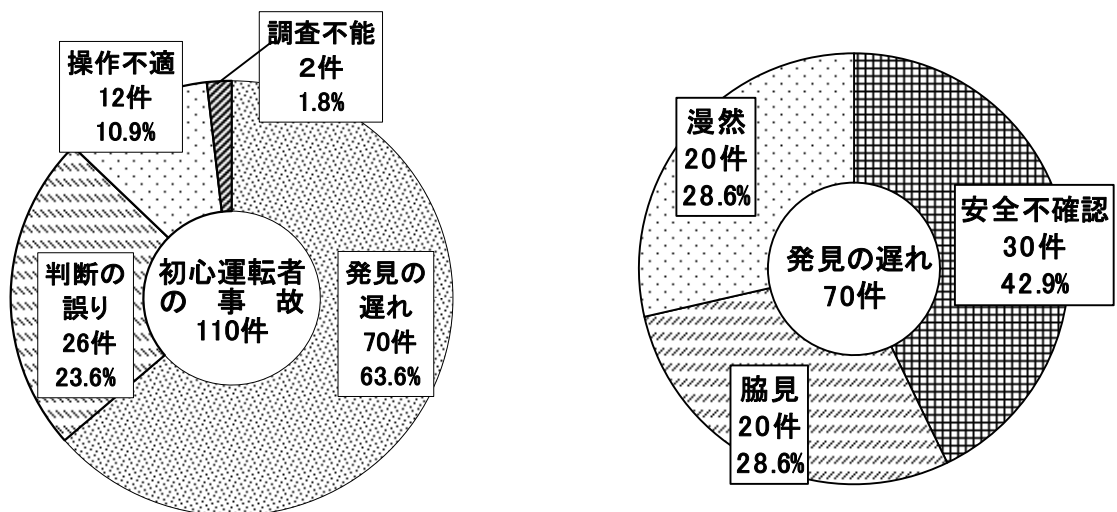
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合 (%)
大型・中型・準中乗用車	0	0.0
普通乗用車	58	3.7
軽乗用車	47	4.5
普通貨物車	2	1.3
軽貨物車	3	1.2
大型・中型・準中貨物車	0	0.0
特殊車	0	0.0
小型二輪車	0	0.0
軽二輪車	0	0.0
二種原付	0	0.0
原付	0	0.0

(3) 人的原因

発見の遅れが70件で最も多く、初心運転者事故の63.6%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が30件と最多で、脇見、漫然が20件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が33件で初心運転者事故の30.0%を占め最も多く、次いで多いのが動静不注視の21件となっている。

悪質違反は12件で同事故の10.9%を占め、うち信号無視が6件で最も多く、次いで一時不停止3件となっている。両違反を合わせると9件となり、悪質違反の75.0%を占めている。

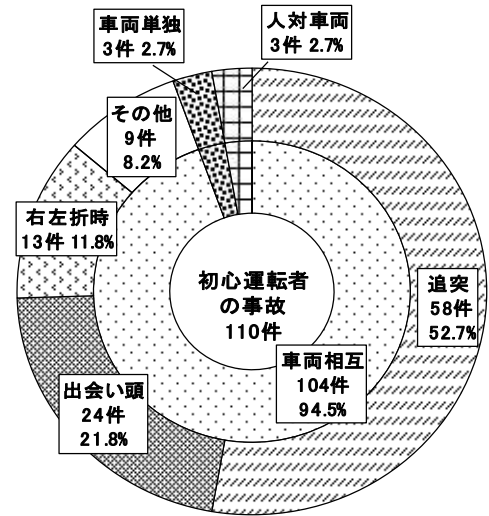
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視		6	5.5	安全運転義務違反	徐行違反		1	0.9	
	最高速度			0.0		過労運転				0.0
	通区・追越		1	0.9		ハンドル操作		2	1.8	
	歩行者妨害等		2	1.8		ブレーキ操作		9	8.2	
	一時不停止		3	2.7		前方不注意		33	30.0	
	酒酔い運転			0.0		動静不注視		21	19.1	
計		12	10.9	安全不確認			18	16.4		
横断禁止等		1	0.9	安全速度				0.0		
車間距離不保持			0.0	予測不適				0.0		
進路変更禁止			0.0	その他			2	1.8		
右・左折違反			0.0	計		85	77.3			
優先通行妨害等		7	6.4	その他		1	0.9			
交差点安全進行		3	2.7	合計		110	100.0			

(5) 事故類型別

車両相互の事故が104件で初心運転者事故の94.5%を占めている。

その中でも追突が58件と多く、次いで出会い頭が24件と続いており、両事故で74.5%を占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く65件で初心運転者事故の59.1%を占め、年齢別では、25歳未満の事故が96件(87.3%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転		1	0.9	青年	16～19歳		83	75.5
	業務目的		8	7.3		20～24歳		13	11.8
通勤等	出勤		21	19.1		計		96	87.3
	退社		13	11.8	25～29歳		6	5.5	
	通学		2	1.8	30歳代		4	3.6	
私用	観光・娯楽		9	8.2	40歳代		3	2.7	
	ドライブ		6	5.5	50歳代			0.0	
	散歩			0.0	60～64歳		1	0.9	
	飲食		6	5.5	計		14	12.7	
	買物		24	21.8	高齢者	65～69歳		0.0	
	訪問		5	4.5	70歳代			0.0	
	帰省		1	0.9	80歳以上			0.0	
その他		14	12.7	計		0	0.0		
調査不能				0.0	合計		110	100.0	
合計			110	100.0	(内数) 高校生		2	1.8	

## 10 飲酒運転の事故

(注)各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

### (1) 概況

第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

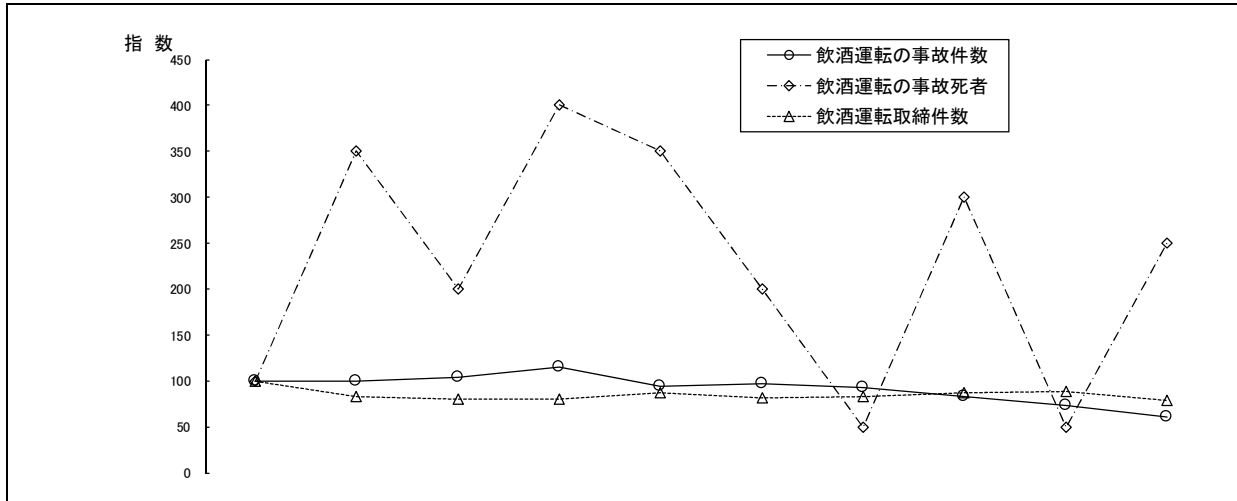
発生件数 55件（前年比 -11件 16.7%減） うち酒酔い 2件 前年比-2件

死者数 5人（前年比 +4人 400.0%増） うち酒酔い 0人 前年比±0人

傷者数 61人（前年比 -36人 37.1%減） うち酒酔い 2人 前年比-5人

で、発生件数、傷者数は減少したが死者数は増加した。

(単位：件・人・%)



区分		年	平23	平25	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
飲酒運転の事故	件数		90	90	94	103	85	87	84	74	66	55
	指数		100	100	104	114	94	97	93	82	73	61
	死者		2	7	4	8	7	4	1	6	1	5
酒酔い運転(内数)	件数		13	9	12	13	9	10	8	7	4	2
	死者		0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	傷者		13	11	21	22	11	12	15	11	7	2
全事故に占める割合(%)	件数		0.9	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7
	死者		2.1	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5	8.0	1.6	8.8
	傷者		1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	1.7	2.1	1.6
取締り件数	酒酔い		56	41	35	47	49	46	36	26	36	31
	酒気帯び		462	390	379	367	405	377	394	423	425	376
	合計		518	431	414	414	454	423	430	449	461	407
	指数		100	83	80	80	88	82	83	87	89	79

### (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは1月で8件となっている。

(単位：件・人)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	全事故に占める割合		2.7	2.4	1.8	1.5	3.5	0.4	0.8	1.5	1.7	2.1	1.1	1.0	1.7
	死者			1							1	2	1		5
傷者		11	6	7	4	9	2	2	2	5	3	6	2	4	61

(3) 曜日・時間別

土曜日が11件と最も多く、次いで日曜日の10件の順となっている。

時間別では、22～24時が9件と多く、次に20～22時が8件と多い。

(単位：件・%)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	合計	
								件数	割合
0～2	1		2			1	2	6	20.0
2～4				1			2	3	13.6
4～6		1	1		1			3	4.6
6～8	1	1		1		2	1	6	1.6
8～10	2		1			1	1	5	1.2
10～12	1							1	0.2
12～14	1				1			2	0.6
14～16		1	1			1	1	4	1.0
16～18		1			3	1		5	0.9
18～20	1	1			1			3	0.7
20～22	2		① 2			1	3	① 8	5.6
22～24	1	3		① 2		2	1	① 9	18.0
合計	10	8	① 7	① 7	3	9	11	② 55	1.7
全事故に占める割合	3.2	1.5	1.4	1.6	0.6	1.6	2.6	1.7	

(4) 発生地別

市部で49件発生し、飲酒運転の89.1%を占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は33件で、市部の67.4%を占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	① 5	1		2	9	1	1	1	3		① 24	1	1	6	② 55
死者						1					3			1	5
傷者	① 5	1		2	12		1	2	4		① 27	1	1	5	② 61

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、県道が27件で飲酒運転の49.1%を占めている。

死者は5人で、市町村道が3人、その他が2人である。

(単位：件・人)

道路 区分	国道					計	県道			市町村道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要 地方道	一般 県道	計			
件数	2	2		3	1	8	① 21	6	27	① 19	1	② 55
死者									0	3	2	5
傷者	2	2		5	1	10	① 24	9	33	① 18		② 61

(6) 事故類型別

(単位：件・人)

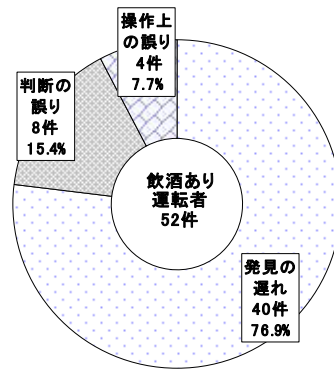
追突が最も多く、27件(49.1%)となっており、次いで出会い頭7件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の約9割と高い割合を占めている。

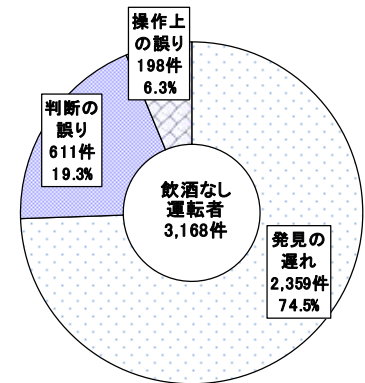
事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
人対車	対面・背面歩行中		0.0			0.0
	横断中	1	1.8		1	0.4
	その他	1	1.8		1	1.0
車対車	計	2	3.6	0	2	0.5
車対車相互	正面衝突	6	10.9		10	6.7
	追突	① 27	49.1		① 32	2.3
	出会い頭	① 7	12.7		① 7	0.8
	転回時		0.0			0.0
	右・左折時	4	7.3		4	1.1
	その他	3	5.5		4	1.1
車対車相互	計	② 47	85.5	0	② 57	1.7
車対車単独	工作物衝突	2	3.6	1	1	6.5
	路外逸脱	3	5.5	4		33.3
	駐車車両衝突		0.0			0.0
列車	転倒		0.0			0.0
	その他	1	1.8		1	11.1
	計	6	10.9	5	2	10.7
合計	② 55	100.0	5	② 61	1.7	

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で2.4%高くなっている。



※ 調査不能3件を除く



※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「深夜なので大丈夫と思った」が17件、次いで「酔いをさました」が8件と多く、両項目で飲酒運転事故の45.4%を占めている。

(単位：件・人)

区分	動機	他に乗り物がた	なにかの困る	翌日の出勤	少しい	飲ま	酔い	さを	車を置いていく	の不安	運転代行	深夜	大丈夫	交通量	その他不明	合計	飲酒運転のうち	
																	酒酔い運転	酒気帯び運転
件数		5			3		8				1	17		2	19	55	2	42
構成率(%)		9.1		0.0	5.5		14.5		0.0		1.8	30.9		3.6	34.5	100.0	3.6	76.4
死者															5	5		5
傷者		5			3		8				2	24		3	16	61	2	48

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く28件で50.9%を占めている。

飲酒場所は「自宅」が24件で43.6%を占めている。

(単位：件・人)

飲酒場所	飲酒理由	忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
自宅	件数								1				22	1	24	43.6	
	死者														0		
知人・友人宅	件数										3		1	1	5	9.1	
	死者													1	1		
取引・勤務先	件数										1				1	1.8	
	死者														0		
料理店・キャバレー・バー・スナック	件数		1					2				9	2		14	25.5	
	死者														0		
その他の料理店	件数										1				1	1.8	
	死者														0		
旅館・ホテル等の宿泊施設	件数												1		1	1.8	
	死者														0		
ドライブイン・酒類販売店等	件数														0	0.0	
	死者														0		
自動販売機付近	件数												1		1	1.8	
	死者														0		
その他(不明)	件数										1		1	6	8	14.5	
	死者													4	4		
合計	件数		1		0	0	0	2	1		15	28	8	55	100.0		
	死者		0		0	0	0	0	0		0	0	5	5			
	傷者		2		0	0	0	2	1		18	34	4	61			

件数の構成率(%)	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6	1.8	27.3	50.9	14.5	100.0
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------



## 11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

### (1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

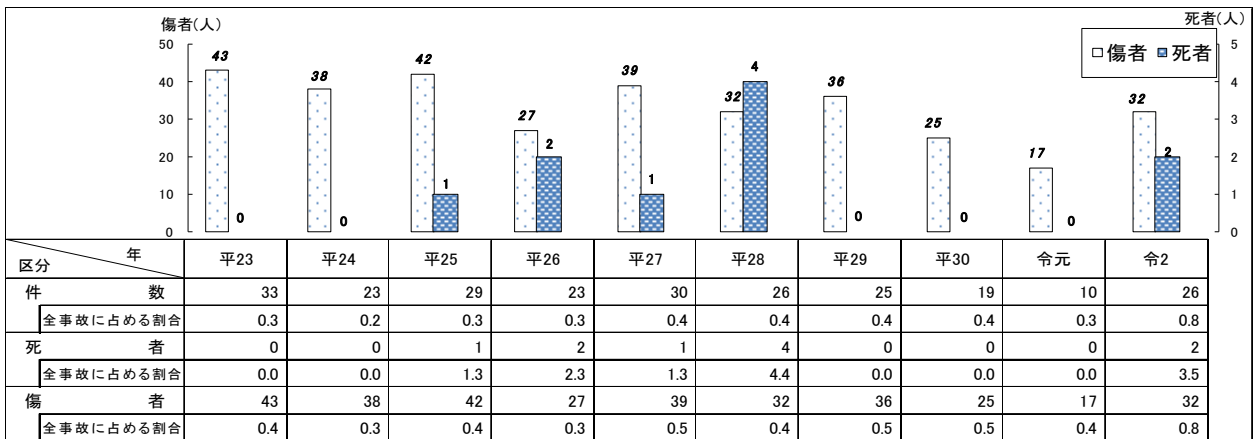
発生件数 26件（前年比 +16件 160.0%増）

死者数 2人（前年比 ±0人 - ）

傷者数 32人（前年比 +15人 88.2%増）

で、死者は2名増加し、発生件数、傷者数もそれぞれ増加した。

（単位：件・人・%）



### (2) 月別

10月に4件、1、3、7、9月に3件となっている。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		3	2	3	2	2	1	3		3	4	1	2	26
死者								1					1	2
傷者		3	2	4	4	3	1	2		4	7	1	1	32

### (3) 発生地別

市部での発生が多く、最も多い郡山市は、無免許運転事故の26.9%を占めている。

（単位：件・人）

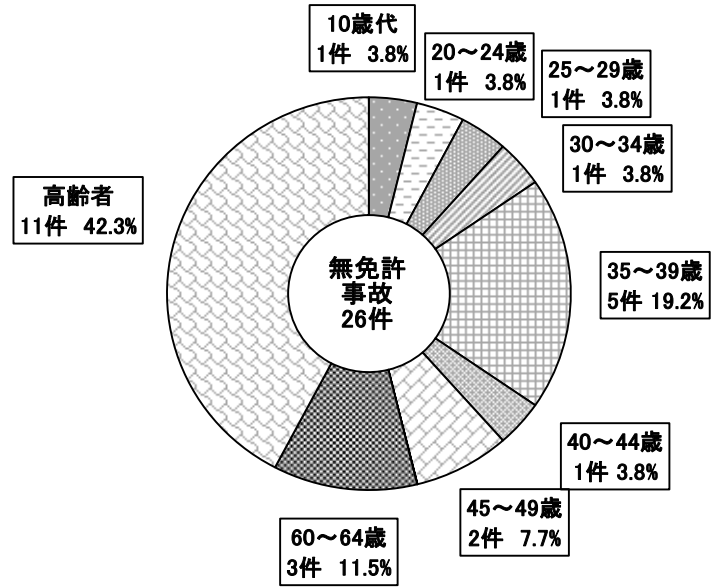
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	3		2	7	1	1			1		6	1	2	2	26
死者				1							1				2
傷者	4		3	10	1	1			2		6	1	2	2	32

(4) 年齢別

高齢者が11件で42.3%を占め、次いで35～39歳が5件と続いている。

(単位：件)

区分		件数	区分		件数
年齢			年齢		
10歳代	16歳未満		35～39歳		5
	16歳		40～44歳		1
	17歳		45～49歳		2
	18歳	1	50～54歳		
	19歳		55～59歳		
計		1	60～64歳		3
20～24歳		1	高齢者		11
25～29歳		1	合計		26
30～34歳		1			

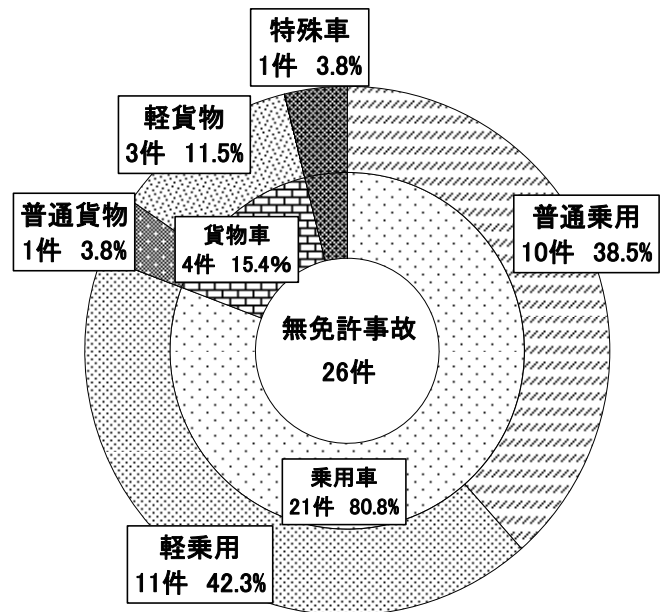


(5) 車種別

車種別では、軽乗用車が11件、普通乗用車が10件となっており、全体の80.8%を占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		件数	構成率 (%)	件数	無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	9	0.0
	普通	10	38.5	1,577	0.6
	軽(ミニカーを含む)	11	42.3	1,036	1.1
計		21	80.8	2,622	0.8
貨物車	大型・中型・準中型	0	0.0	174	0.0
	普通	1	3.8	155	0.6
	軽	3	11.5	251	1.2
計		4	15.4	580	0.7
特殊車(大型・小型)		1	3.8	6	16.7
二輪車	小型二輪	0	0.0	5	0.0
	軽二輪	0	0.0	2	0.0
	二種原付	0	0.0	2	0.0
	原付	0	0.0	12	0.0
計		0	0.0	21	0.0
合計		26	100.0	3,229	0.8



\*全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など37件を除く

(6) 職業別

無職が11件 (42.3%) と多く、次いで建設業が7件となっている。

(単位：件)

職業	職業 運転 手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数			1	7	1			5		11	1	26
構成率(%)	0.0	0.0	3.8	26.9	3.8	0.0	0.0	19.2	0.0	42.3	3.8	100

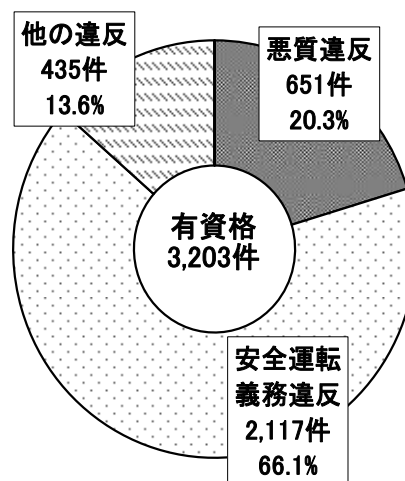
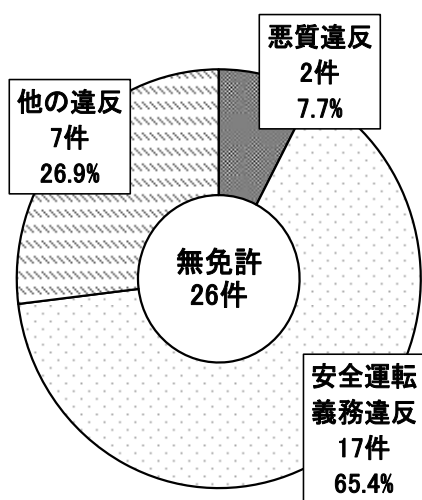
(7) 違反別・原因別

安全運転義務違反は17件で無免許運転全体の65.4%を占めており、うち前方不注意が最も多く6件 (35.3%) となっている。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許65.4%、有資格者66.1%といずれも高い割合となっている。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信号無視	1	3.8	安全 運 転 義 務 違 反	過労運転		0.0
	最高速度		0.0		ハンドル・ブレーキ操作	1	3.8
	通区・追越		0.0		前方不注意	6	23.1
	歩行者妨害等		0.0		動静不注意	4	15.4
	一時不停止	1	3.8		安全不確認	3	11.5
	酒酔い運転		0.0		安全速度		0.0
計		2	7.7	その他	3	11.5	
車間距離不保持			0.0	計	17	65.4	
優先通行妨害等	4	15.4	その他		0.0		
交差点安全進行	3	11.5	合計	26	100.0		
左折違反			0.0	飲酒運転(内数)	2	7.7	



(8) 人的原因別

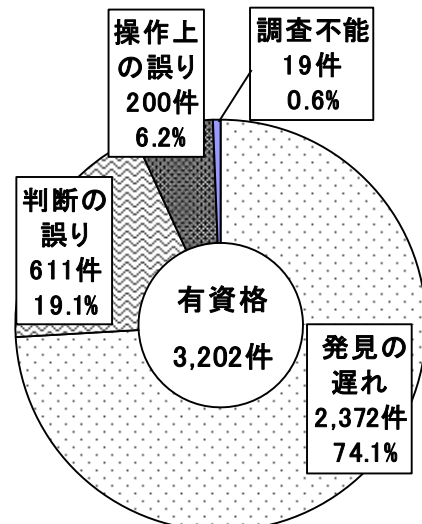
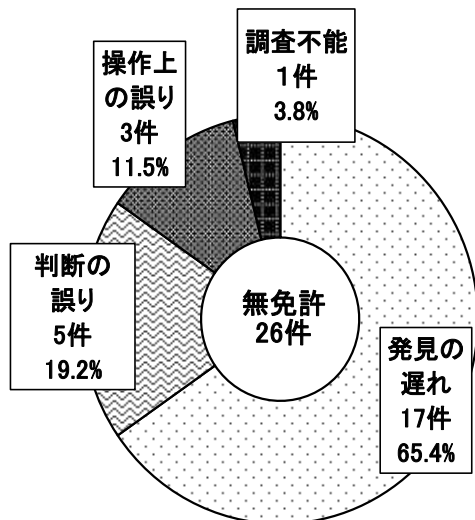
発見の遅れが17件で、無免許運転事故の65.4%を占め最も多い。

うち前方不注意が9件、安全不確認が8件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	26	予測不適	計 1
発見の遅れ	計 17	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	1
前方不注意	計 9	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	計 3	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	計 0
その他、考え事等の漫然運転	3	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(脇見等)	計 6	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	1	交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)	計 3
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	1
風景、地物等に脇見	4	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	1	ハンドルの操作不適	1
安全不確認	計 8	ギヤの入れ違い	1
安全確認をしなかった	3	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	5	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等	計 5	その他の操作不適	
動静不注意	計 4	調査不能	1
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	4		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では操作上の誤りの構成率が5.3%高くなっている。



## 12 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 21件（前年比 -4件 16.0%減）

死者数 3人（前年比 -2人 40.0%減）

傷者数 21人（前年比 -3人 12.5%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

車種別にみると、発生件数、傷者数は原付が多く、二輪車事故のうち発生は57.1%、傷者数は61.9%を占めている。

（単位：件・人）

区分 車種	本		年		増 減 数			増 減 率 (%)				
	件	数	死	者	傷	者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	5	23.8	2	66.7	4	19.0	-4	0	-5	-44.4	0.0	-55.6
軽二輪	2	9.5	0	0.0	2	9.5	2	0	2	-	-	-
二種原付	2	9.5	0	0.0	2	9.5	-2	-2	-1	-50.0	-	-33.3
原付	12	57.1	1	33.3	13	61.9	0	0	1	0.0	0.0	8.3
合計	21	100.0	3	100.0	21	100.0	-4	-2	-3	-16.0	-40.0	-12.5

死亡事故率をみると小型二輪が高くなっている。

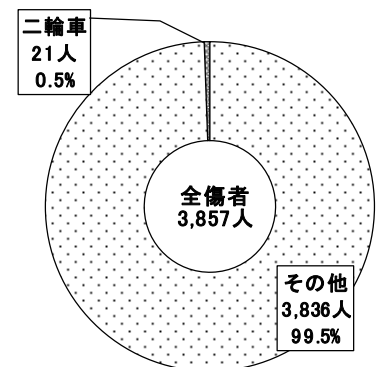
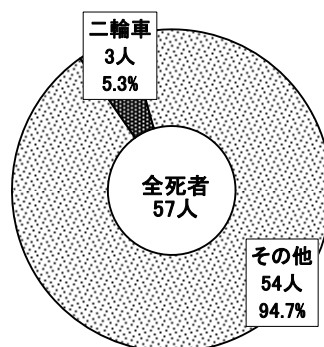
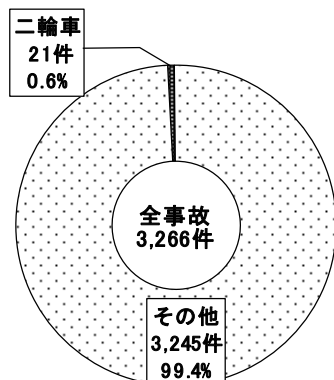
（単位：件・%）

区分 車種	二 輪 車						計	合計				
	普 乗	軽 乗	大 貨 等	普 貨	軽 貨	四 輪 其 他			二 輪 車			
									小 型 輪	軽 二 輪	二 原	種 付
車種別事故件数	1,577	1,036	174	155	251	15	5	2	2	12	21	3,229
死亡事故件数	12	19	6	4	8	1	2			1	3	53
死亡事故率	0.8	1.8	3.4	2.6	3.2	6.7	40.0	0.0	0.0	8.3	14.3	1.6

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は 0.6%であるのに対し、死者の構成率は5.3%と高くなっている。

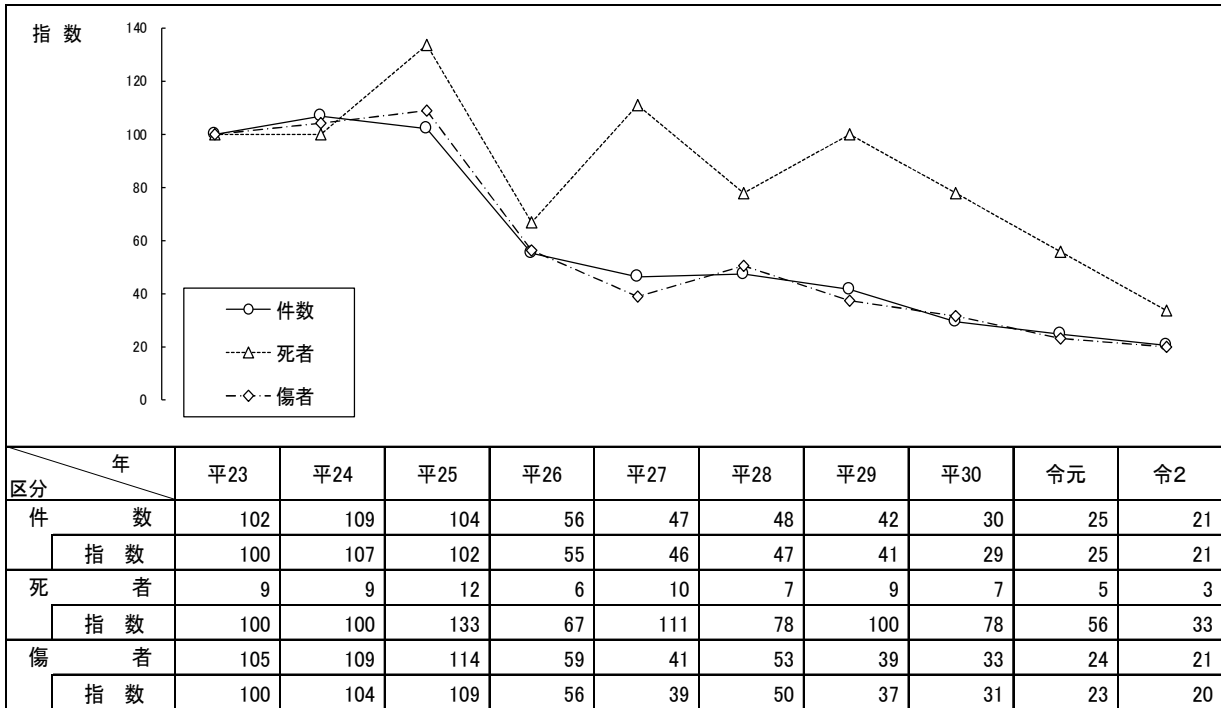


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数、発生件数、傷者数共に減少傾向である。

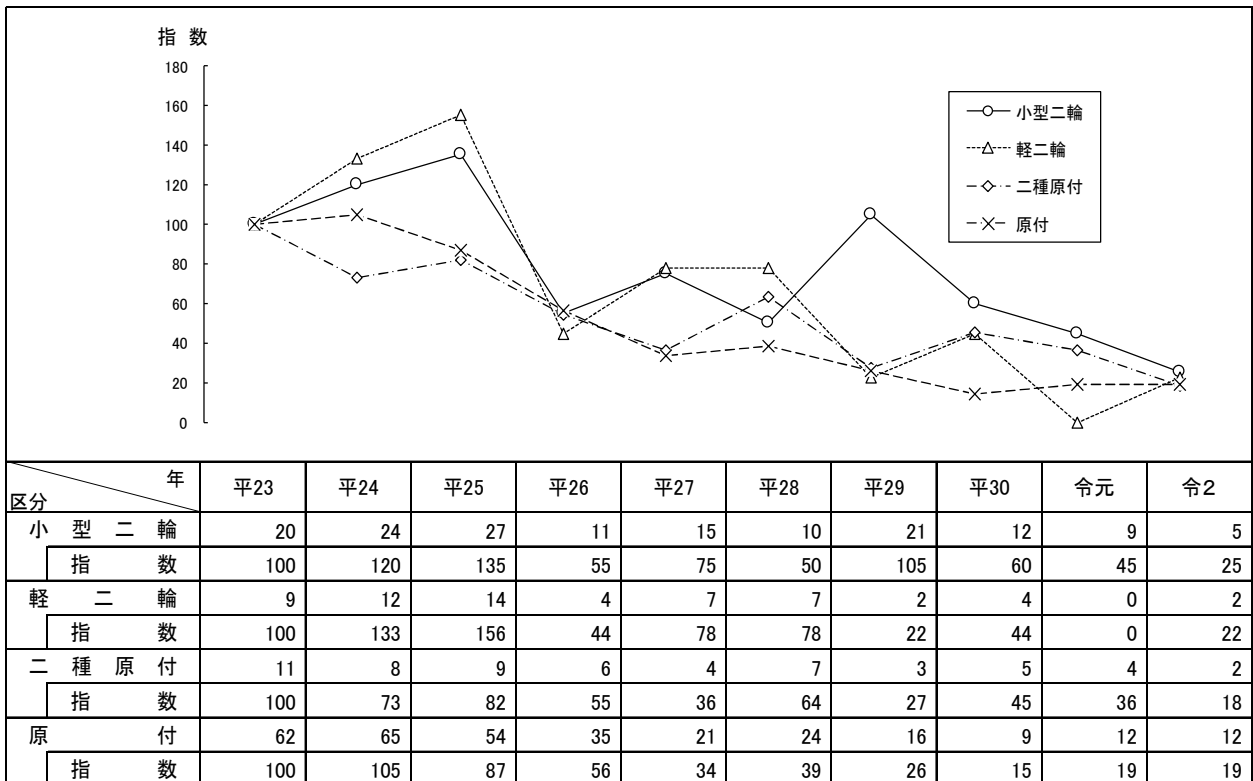
(単位：件・人)



(1) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向であるが、軽二輪が増加している。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、40歳代が5件（23.8%）と多く、次いで高齢者が4件となっている。

（単位：件・%）

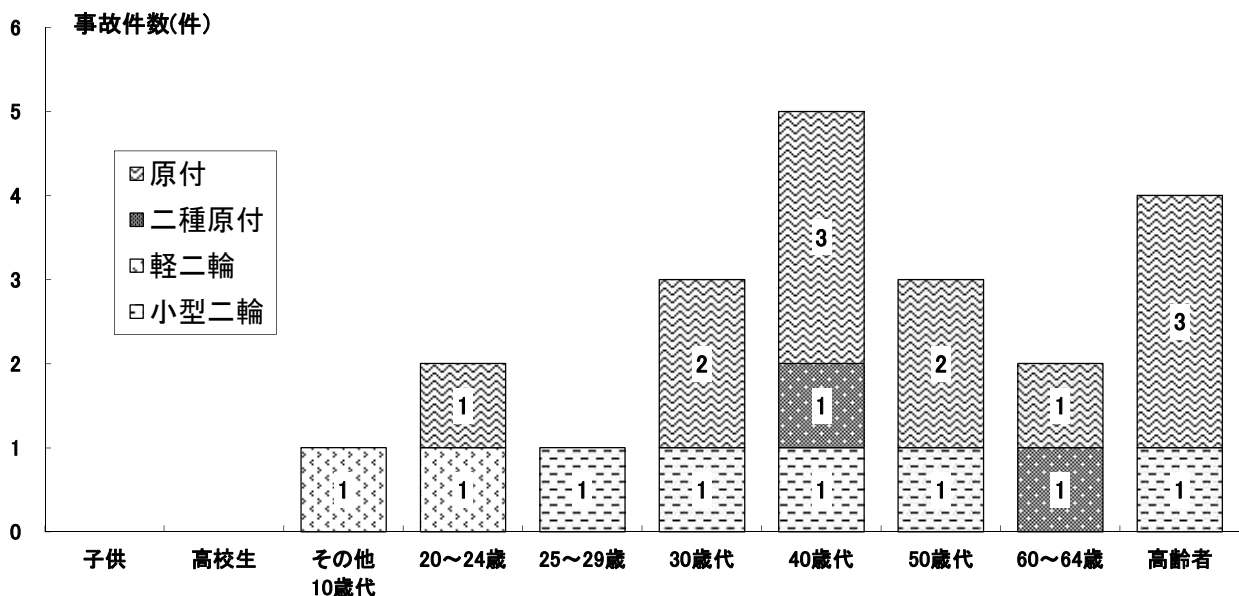
区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故		0	0	111	279	390	259	487	504	484	268	837	3,229
	構成率(%)	0.0	0.0	3.4	8.6	12.1	8.0	15.1	15.6	15.0	8.3	25.9	100.0
二輪車事故		0	0	1	2	3	1	3	5	3	2	4	21
	構成率(%)	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	4.8	14.3	23.8	14.3	9.5	19.0	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	0.9	0.7	0.8	0.4	0.6	1.0	0.6	0.7	0.5	0.7

\* 軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

原付の年齢別構成率が高いのは、高齢運転者及び40歳代で3件となっている。（単位：件）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪						0	1	1	1	1		1	5
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	100.0
軽二輪				1	1	2							2
	構成率(%)	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
二種原付						0		1		1			2
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
原付					1	1		2	3	2	1	3	12
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	25.0	16.7	8.3	25.0	100.0



オ 車種別・免許経験年数別

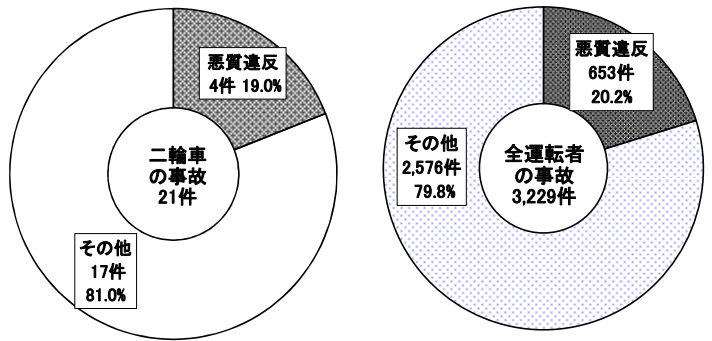
車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は71.4%を占めている。(単位：件)

経験年数	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)		
1年未満		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
1～2年		0.0	1	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8	
2～3年		0.0	1	50.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8		
3～4年		2	40.0	0.0	0.0	1	8.3	3	14.3		
4～5年		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
10年未満		1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8		
10年以上		2	40.0	0.0	2	100.0	11	91.7	15	71.4	
無免許		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
合計		5	100.0	2	100.0	2	100.0	12	100.0	21	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、19.0%となっており、全運転者の事故と比較して1.2%低くなっている。

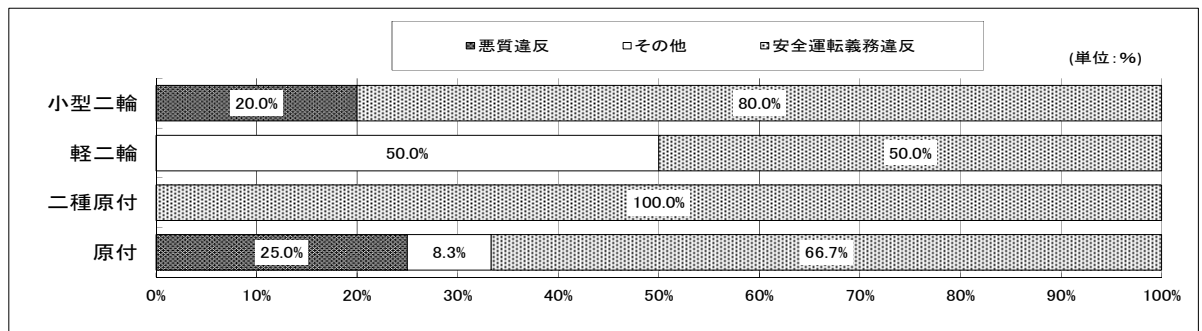
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、原付で25.0%となっている。



二輪車の車種別違反割合では、全ての車種において安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件)

違反	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)		
悪質違反	信号無視	0.0	0.0	0.0	0.0	1	8.3	1	4.8		
	最高速度	1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8		
	通区追越	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
	歩行者妨害等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
	一時不停止	0.0	0.0	0.0	0.0	2	16.7	2	9.5		
	酒酔い運転	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
計		1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	25.0	4	19.0
横断禁止等		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
右・左折違反		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
優先通行妨害等		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
交差点安全進行		0.0	1	50.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8		
徐行違反		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	4.8		
	前方不注意	1	20.0	1	50.0	0.0	5	41.7	7	33.3	
	動静不注意	0.0	0.0	0.0	0.0	1	8.3	1	4.8		
	安全不確認	0.0	0.0	2	100.0	2	16.7	4	19.0		
	安全速度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0		
その他		2	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	9.5		
計		4	80.0	1	50.0	2	100.0	8	66.7	15	71.4
その他		0.0	0.0	0.0	0.0	1	8.3	1	4.8		
合計		5	100.0	2	100.0	2	100.0	12	100.0	21	100.0





キ 車種別・事故類型別

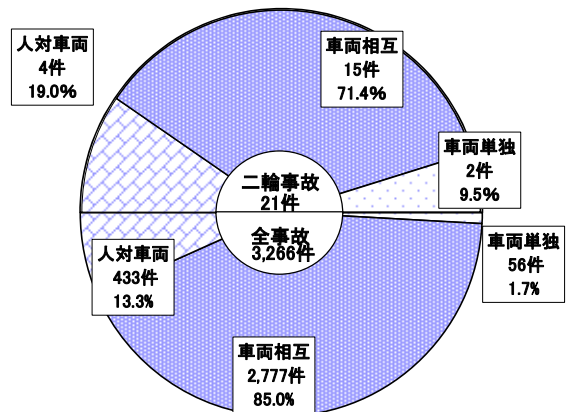
(単位：件・%)

類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)		
人対車両	横断中	263	8.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	対面・背面	67	2.1	2	9.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	16.7	
	その他	103	3.2	2	9.5	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	
	計	433	13.3	4	19.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	3	25.0	
車両相互	正面衝突	90	2.8	3	14.3	2	40.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	
	追突	進行中	138	4.2	1	4.8	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0
		駐・停止中	1,039	31.8	3	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	25.0
	出会い頭	872	26.7	6	28.6	0	0.0	1	50.0	2	100.0	3	25.0	
	追越・追抜	23	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	右折時	253	7.7	1	4.8	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	左折時	95	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
その他	267	8.2	1	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3		
	計	2,777	85.0	15	71.4	3	60.0	2	100.0	2	100.0	8	66.7	
車両単独	工作物衝突	31	0.9	1	4.8	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	路外逸脱	9	0.3	1	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	
	転倒	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	駐車車両衝突	7	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
その他	9	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	計	56	1.7	2	9.5	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	
踏切			0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計		3,266	100.0	21	100.0	5	100.0	2	100.0	2	100.0	12	100.0	

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、二輪合計の類型別の方で

- ・人対車両・・・ 5.7%高い
- ・車両相互・・・ 13.6%低い
- ・車両単独・・・ 7.8%高い

特に車両相互では、出会い頭の占める割合が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の80.1% (17件) が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が12件と最も多く58.8%を占める。

夜間の発生は市町村道で2件、県道で1件発生している。

(単位：件・%)

昼夜	国 道						県 道			市 町 道	高 速 道	其 他	合 計	
	4号	6号	13号	49号	三 析	計	主要	一 県	般 道					計
昼 間			1		2	3			3	3	10	1	17	
	構成率(%)	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6	17.6	58.8	0.0	5.9	100.0
夜 間						0		1		1	2	1	4	
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	100.0
薄暮(内数)						0			1	1	1		2	
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
合 計		0	0	1	0	2	3	1	3	4	12	0	21	
	構成率(%)	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5	14.3	4.8	14.3	19.0	57.1	0.0	9.5	100.0

ケ 道路線形別

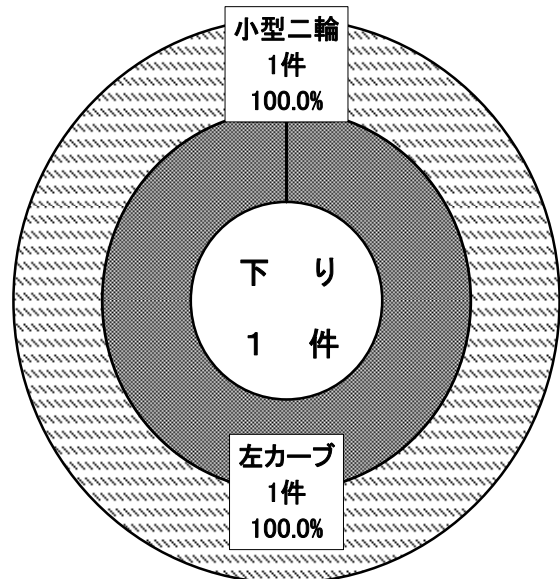
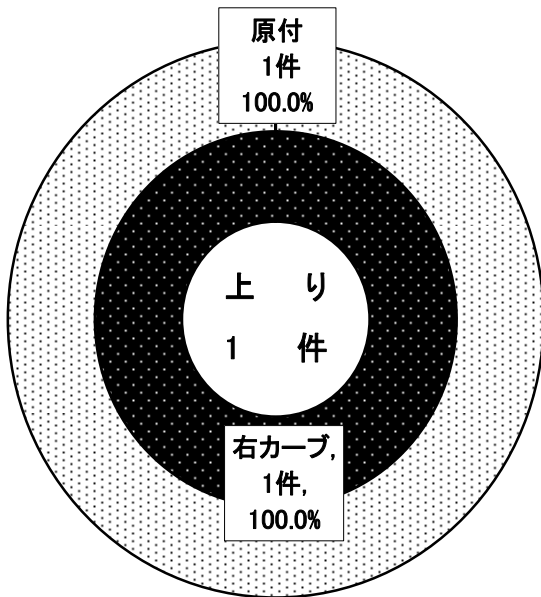
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが5.0%、左カーブが5.0%を占めている。  
(単位：件)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	12	0.4	1	5.0		0.0		0.0		0.0	1	8.3
	左カーブ	15	0.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	9	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	19	0.6	1	5.0	1	25.0		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	47	1.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	43	1.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
直線	上り	88	2.9	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	113	3.7	2	10.0		0.0		0.0	1	50.0	1	8.3
	平坦	2,670	88.5	16	80.0	3	75.0	2	100.0	1	50.0	10	83.3
合計	右カーブ	68	2.3	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
	左カーブ	77	2.6	1	5.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

\* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	3,016	100	20	100	4	100	2	100.0	2	100	12	100
-------	-------	-----	----	-----	---	-----	---	-------	---	-----	----	-----

\* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



※平坦の左右カーブにおける二輪車の事故の発生はなし。

(2) 二輪車の死傷者

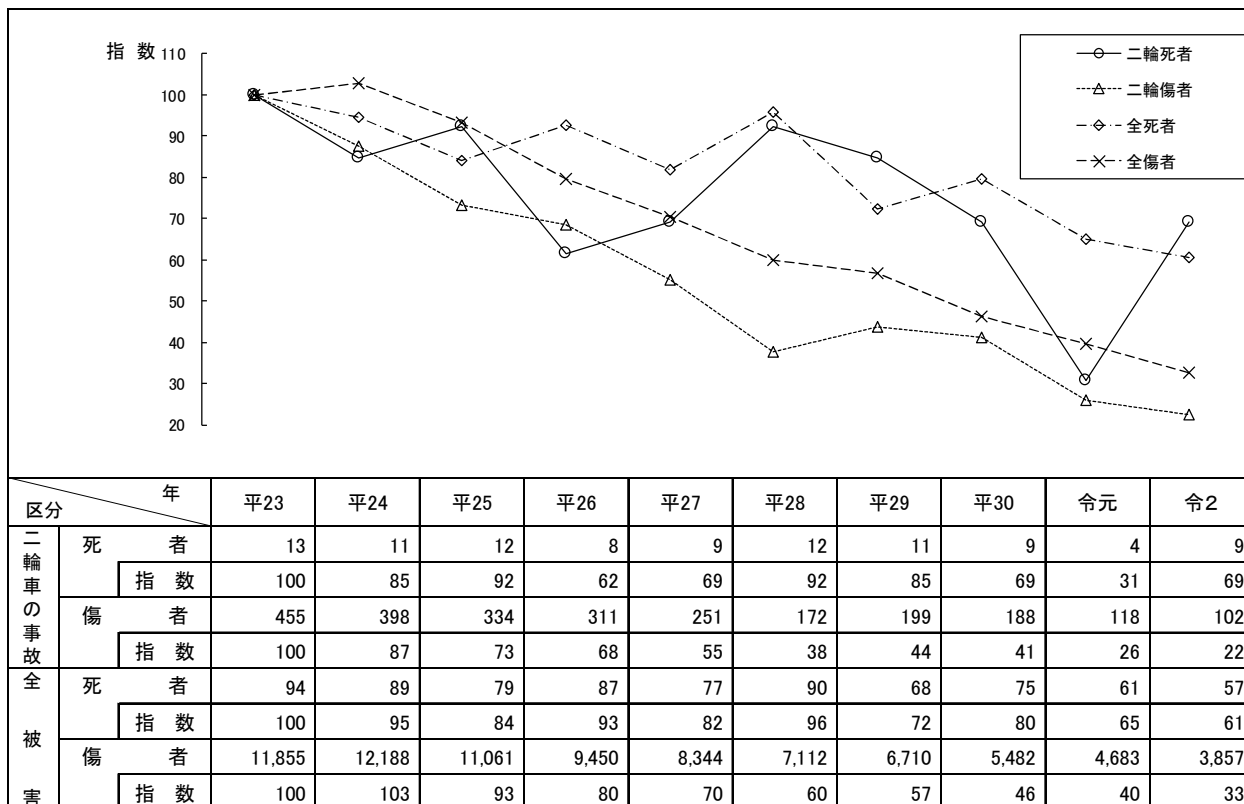
ア 概況

二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 9人（前年比 +5人 125.0%増）  
 傷者数 102人（前年比 -16人 13.6%減）

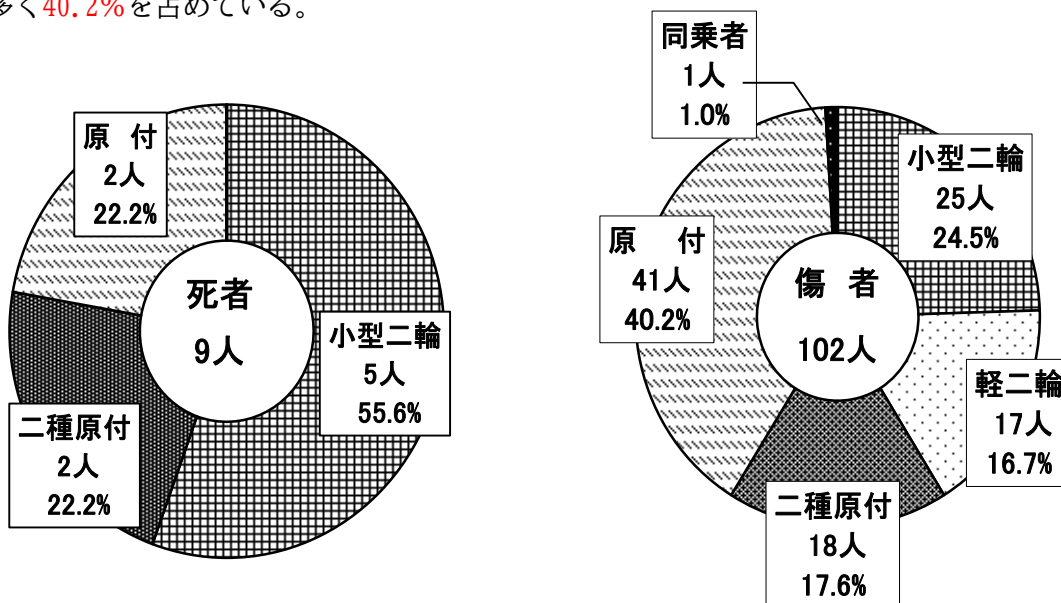
で、死者数は増加したが傷者数は減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が5名、二種原付、原付がそれぞれ2人で、傷者は原付が多く40.2%を占めている。



ウ 年齢別

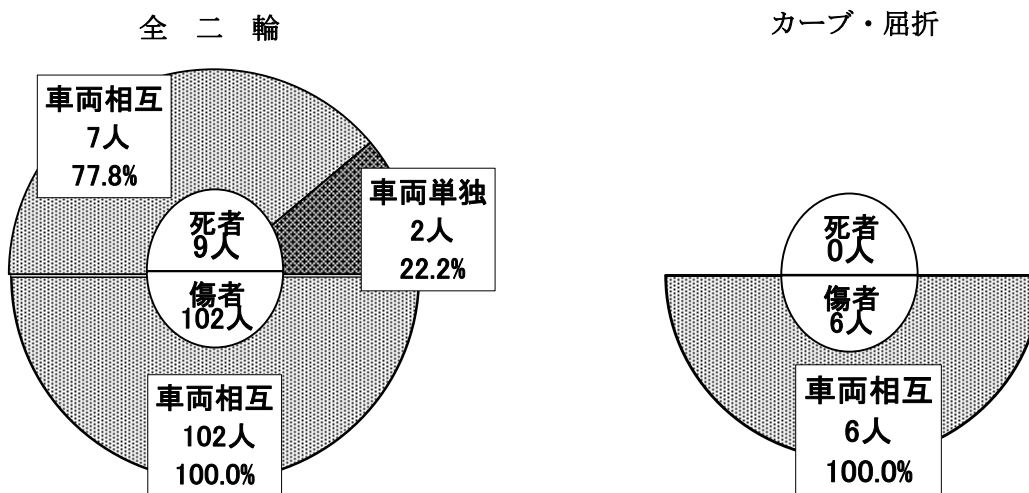
年齢別にみると、死者は50歳代が3人で33.3%を占め、傷者は40歳代と60歳代が20人でそれぞれ19.6%を占めている。 (単位：人)

車種	年齢	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		二輪車	死者	0	0	1	2	2	3	0
	構成率(%)	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	33.3	0.0	11.1	100
計	傷者	4	10	4	15	20	16	14	19	102
	構成率(%)	3.9	9.8	3.9	14.7	19.6	15.7	13.7	18.6	100.0
小型二輪	死者			1	2	1			1	5
	傷者	1	3	2	4	7	3	5		25
軽二輪	死者									0
	傷者	1	1		5	5	2	3		17
二種原	死者						2			2
	傷者	1	2		3	4	5	1	2	18
原付	死者					1	1			2
	傷者		4	2	3	4	6	5	17	41
同乗者	死者									0
	傷者	1								1

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両相互7人で77.8%を占め、傷者は全て車両相互となっている。

カーブ・屈折では、死者はなく、傷者は全て車両相互である。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪では100%で原付では約97.7%となっている。

(単位：人)

区分	死	者		傷	者		合	計	
		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪	7	7	100.0	61	61	100.0	68	68	100.0
原付	2	2	100.0	41	40	97.6	43	42	97.7
合計	9	9	100.0	102	101	99.0	111	110	99.1

### 13 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 28件 (前年比 -22人 44.0%減)

死者数 0人 (前年比 -1人)

傷者数 32人 (前年比 -21人 39.6%減)

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

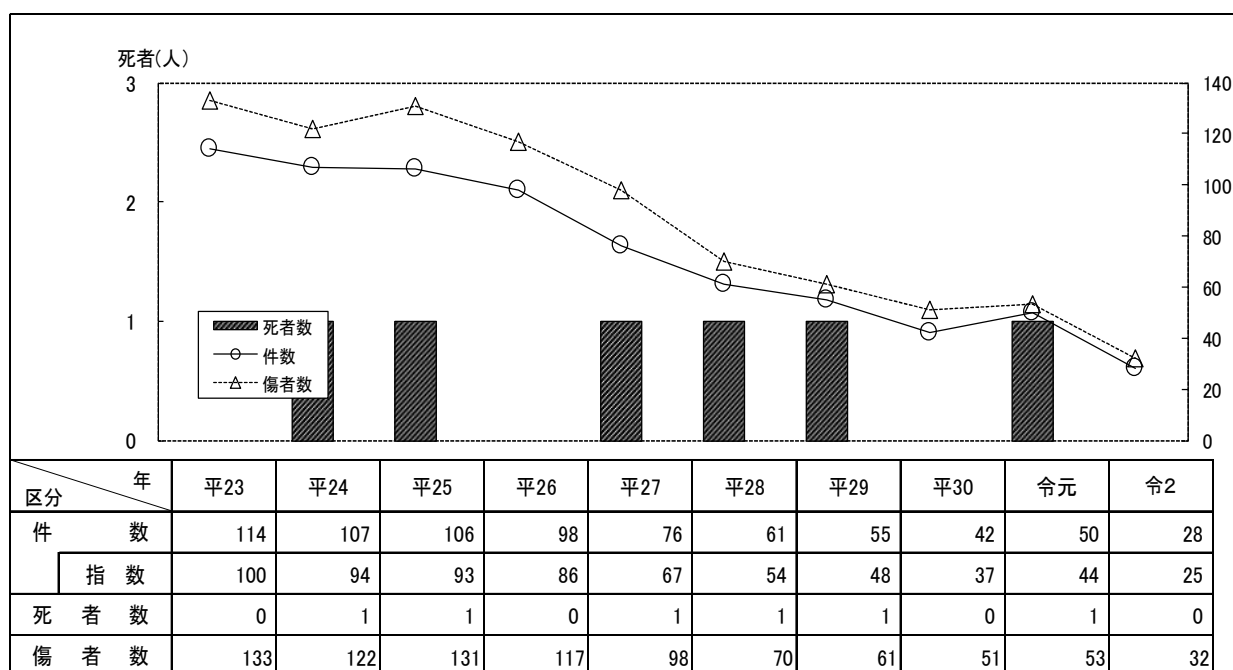
発生件数 13件 (前年比 -4件 30.8%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 13人 (前年比 -4人 30.8%減)

で、死者数は同数で発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人)



#### (2) 月別

1、6、11月が4件と多くなっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	4	3	1	1		4	3	1	1	3	4	3	28
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	7	3	1	1		4	3	2	1	3	4	3	32

(3) 年齢別

高齢者が17件で最も多く、タクシー事故の60.7%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢							高齢者 (65歳以上)	合計
	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳			
件数					4	7	17	28	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	25.0	60.7	100.0	

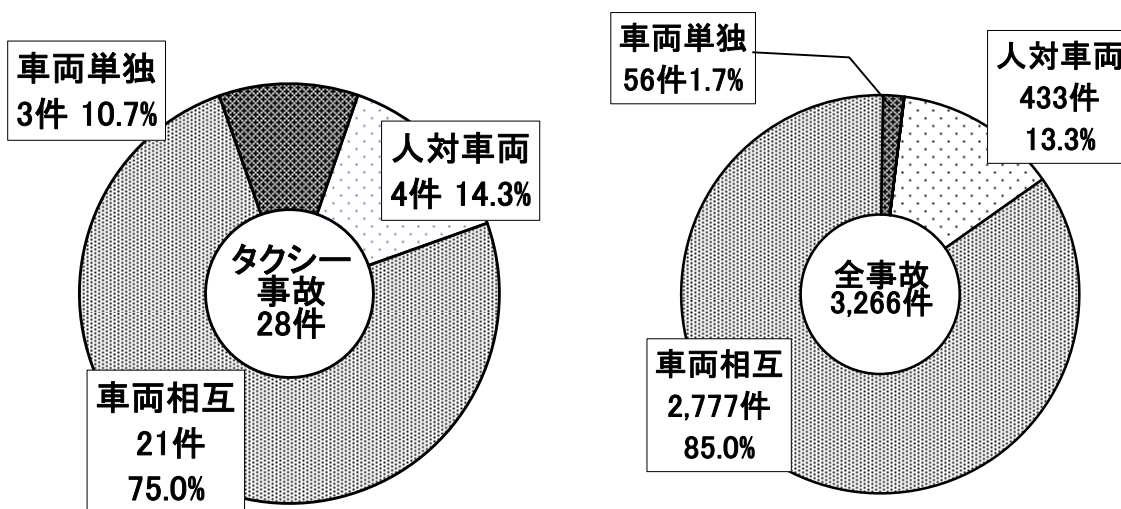
(4) 事故類型別

車両相互の事故が21件 (75.0%) と最も多く、うち追突が32.1%と高い。

全事故と比較すると、人対車両と車両相互事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	人対車両			計	車両相互						計	車両単独	計	合計		
	通行中	横断中	その他		正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他					工作物衝突	路外逸脱
件数		3	1	4	1	9	5	4	2		21	1	2		3	28
構成率(%)	0.0	10.7	3.6	14.3	3.6	32.1	17.9	14.3	7.1	0.0	75.0	3.6	7.1	0.0	10.7	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が21件と多く、75.0%を占めている。

悪質違反は4件で14.3%を占めている。

(単位：件)

違反	悪質違反						計	横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計	
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転							ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他			
件数				3	1		4	1	1	1			3	7	1	10		21	28	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	10.7	3.6	0.0	14.3	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	10.7	25.0	3.6	35.7	0.0	75.0	0.0	100

## 14 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 7件（前年比 +2件 40.0%増）

死者数 0人（前年比 -1人 100.0%減）

傷者数 7人（前年比 +3人 75.0%増）

で、死者数は減少したものの、発生件数、傷者数は増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

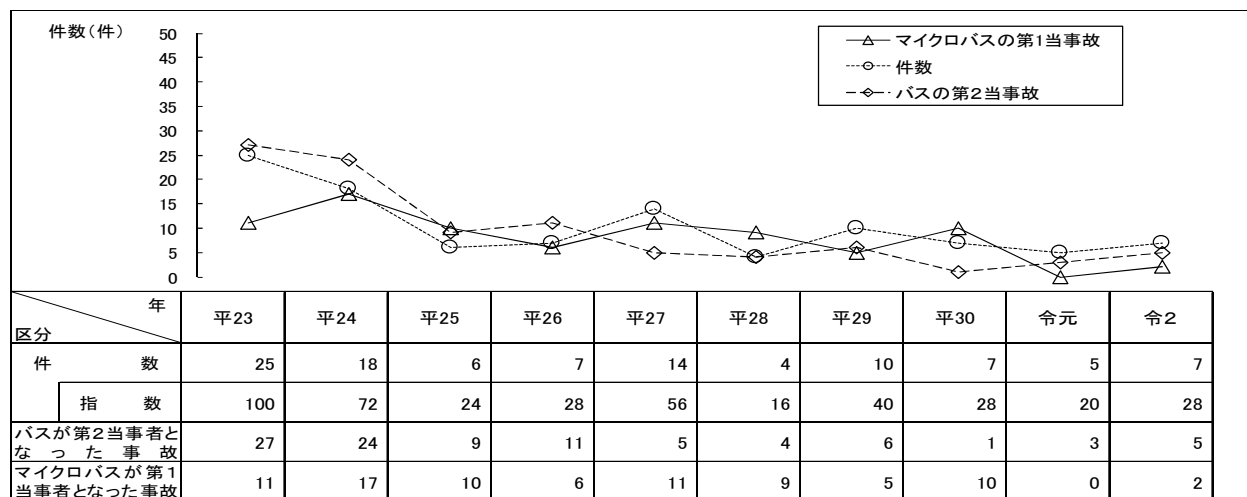
発生件数 5件（前年比 +2件 66.7%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 6人（前年比 ±0人）

で、発生件数は増加したが、死者数、傷者数は同数であった。

（単位：件）



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

### 〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 2件（前年比 +2件）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 2人（前年比 +2件）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 1件（前年比 -2件 66.7%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 1人（前年比 -4人 80.0%減）

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、3月の3件が最も多かった。

第2当事者になった事故は1～3月、5月、6月にそれぞれ1件発生した。(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数			3		1			1	1			1	7
	死者数													0
	傷者数			3		1			1	1			1	7
第2当事者	件数	1	1	1		1		1						5
	死者数													0
	傷者数	2	1	1		1		1						6

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが2件、貸切バスが4件、自家用バスが1件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスが4件、貸切バスが2件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		2	4	1	7	4	1		5
死者					0				0
傷者		2	4	1	7	4	2		6

(4) 年齢別

50歳代、60～64歳、65歳以上（高齢者）が第1当事者となった事故がそれぞれ2件となっている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上（高齢者）	合計
		第1当事者				1	2	2	
第2当事者				3	1			1	5

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、県道が3件で最も多く42.9パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者			1				1	1	2	3	1	1	1	7
第2当事者			1			2	3		0	0	1	1		5

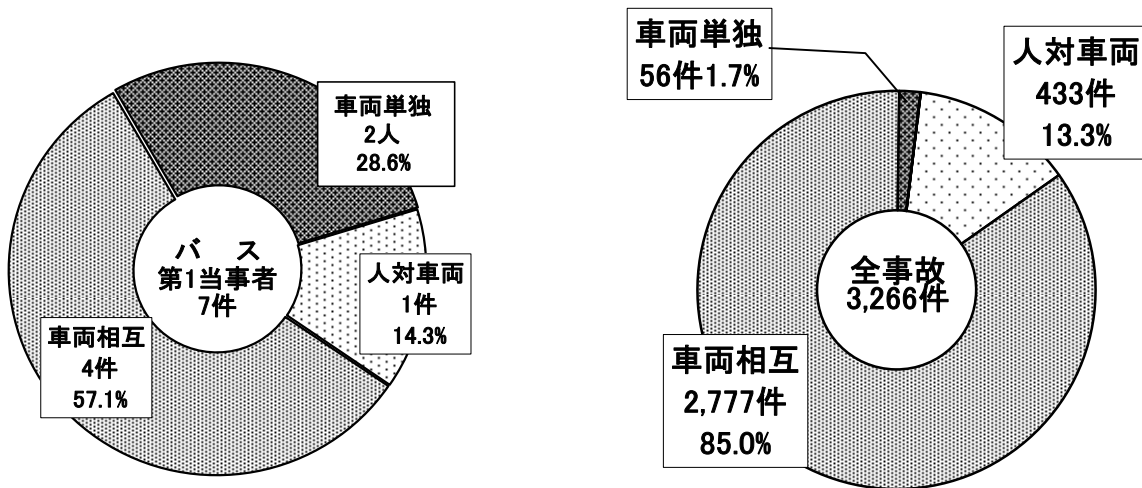


(6) 事故類型別

全事故と比較すると、**車両相互**事故の割合が高い。

(単位：件)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互						車 両 単 独			合 計		
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱		そ の 他	計
件 数	1			1			1		1	2	4			2	2	7
構成率(%)	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	28.6	28.6	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が**6件**で**85.7%**を占めている。

(単位：件)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
		件 数	構成率(%)			件 数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	14.3	安 全 運 転 義 務 違 反	交 差 点 安 全 進 行		0.0
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転		0.0
	通 区 ・ 追 越		0.0		ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	1	14.3
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意		0.0
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	2	28.6
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	2	28.6
計		1	14.3	安 全 速 度		0.0	
横 断 禁 止 等			0.0	そ の 他	1	14.3	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	反 計	6	85.7	
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0	
右 ・ 左 折			0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0	
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	合 計	7	100	

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	31件	(前年比 +10件)	47.6%増)
死者数	0人	(前年比 -1人)	100.0%減)
傷者数	37人	(前年比 +8人)	27.6%増)

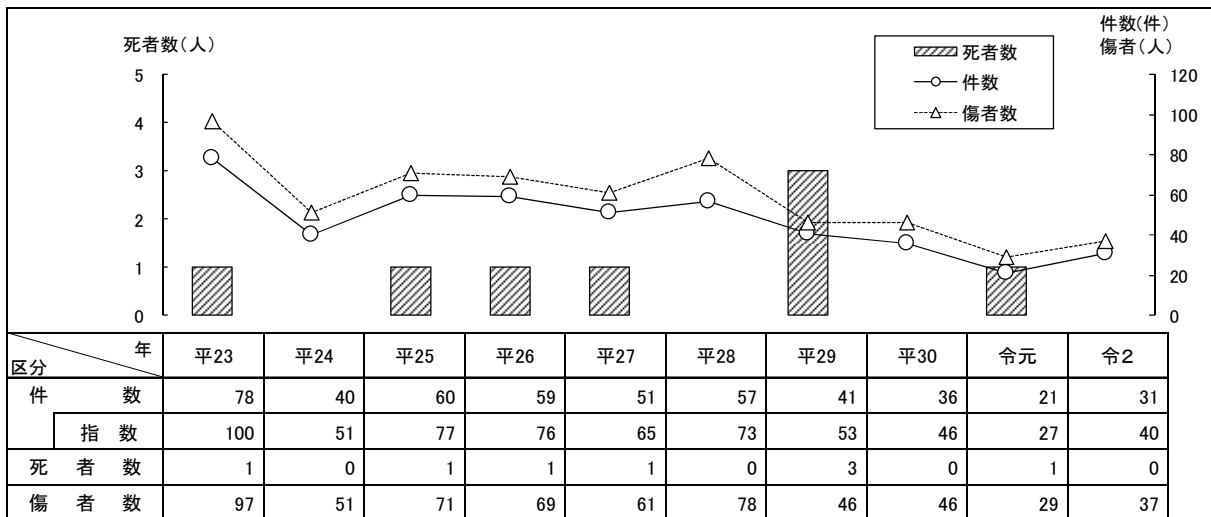
で、発生件数、傷者数は増加したが死者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	12件	(前年比 -1件)	7.7%減)
死者数	3人	(前年比 +3人)	
傷者数	13人	(前年比 -5人)	27.8%減)

で、死者数は増加したが発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

12月が5件で最も多く、次いで10月の4件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	3	2	2	1	3	3	3	2	4	1	5	31
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	2	3	2	2	1	3	4	3	3	8	1	5	37

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、50歳代が11件で最も多く、全体の35.5%を占めている。また、免許経過年数では10年以上が28件でダンプ事故の90.3%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満									0
1～2年									0
2～3年									0
3～4年									0
4～5年									0
10年未満			1			2			3
10年以上				5	1	9	4	9	28
無免許									0
合計		0	1	5	1	11	4	9	31

(4) 違反別

動静不注視が9件、安全不確認が8件でダンプ事故の54.8%を占めている。

悪質違反は3件で、最も多いのは歩行者妨害の2件である。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	安全運転義務違反	交差点安全進行	2	6.5
	最高速度		0.0		徐行違反		0.0
	通区・追越	1	3.2		ハンドル・ブレーキ		0.0
	歩行者妨害等	2	6.5		前方不注意	5	16.1
	一時不停止		0.0		動静不注視	9	29.0
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	8	25.8
計	3	9.7	安全速度	1	3.2		
横断禁止等		0.0	その他		0.0		
車間距離不保持		0.0	計	23	74.2		
進路変更禁止		0.0	その他		0.0		
右・左折		0.0	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等	3	9.7	合計	31	100.0		

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では71.0%、第2当事者では66.7%を占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	9		14
	自家用	22		23
	合計	31	0	37

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用	4		4
	自家用	8	3	9
	合計	12	3	13

## 16 安全運転管理者選任事業所の事故

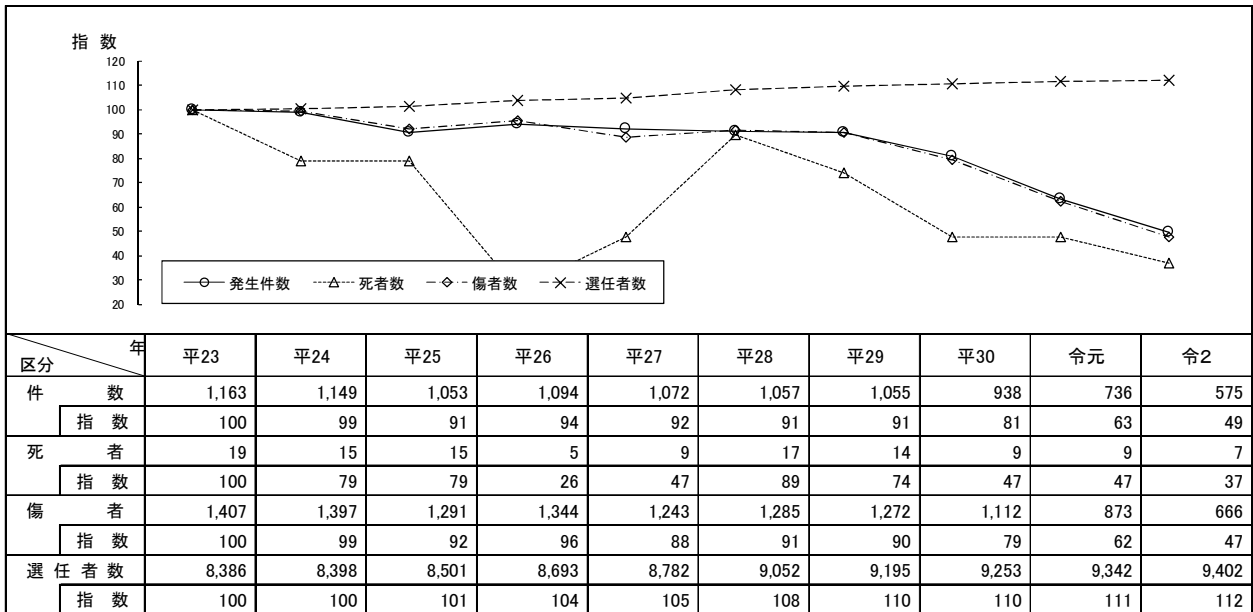
### (1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

発生件数 575件（前年比 -161件 21.9%減）  
 死者数 7人（前年比 -2人 22.2%減）  
 傷者数 666人（前年比 -207人 23.7%減）

で、発生件数、死者数、傷者数全てが減少した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年12月末の数値

（単位：件・人）

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	127	22.1	1	147
業務外	448	77.9	3	519
通勤	225	39.1	0	258
私用中	223	38.8	3	261
調査不能	0	0.0	0	0

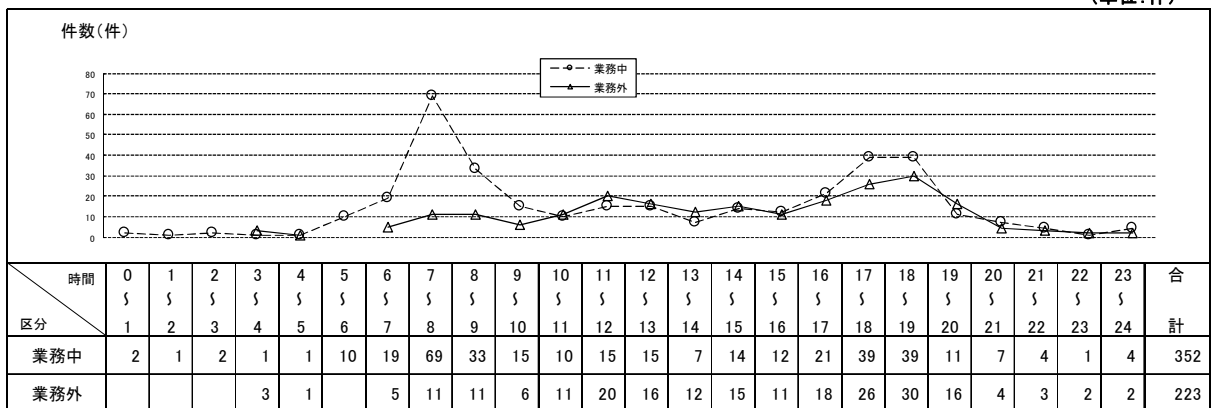
業務外の事故が安管事業所事故の77.9%を占めている。

### (2) 安管の事故特徴

#### ア 時間別

特に、朝夕の業務中（通勤退勤含む）における事故が多い。

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が175件で49.7%、次いで軽乗用車が88件で25.0%を占めている。

業務外では、普通乗用車が121件と最も多く54.3%を占めている。(単位：件)

区分	車種	乗 用 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車				合計	
		大 中	型 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通		軽	計	小 型	軽		二 種
業 務 中		5	175	88	268	25	32	24	81	2				1	1	352
	構成率(%)	1.4	49.7	25.0	76.1	7.1	9.1	6.8	23.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	100
業 務 外			121	85	206		3	10	13		2		1	1	4	223
	構成率(%)	0.0	54.3	38.1	92.4	0.0	1.3	4.5	5.8	0.0	0.9	0.0	0.4	0.4	1.8	100

(イ) 用途別

業務中、業務外ともに自家用・その他で最も多く、業務中事故では89.4%、業務外事故では99.1%を占めている。

(単位：件)

区分	車種	事業用	自 家 用					計	その他	合 計
			レンタカー	スクールバス	代 行	運 転	随 伴			
業 務 中		21	4	1	1	2	321	329	2	352
	構成率(%)	6.0	1.1	0.3	0.3	0.6	91.2	93.5	0.6	100
業 務 外			2				221	223		223
	構成率(%)	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	99.1	100.0	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で42.0%、業務外で34.5%を占めている。

(単位：件)

区分	類型	人 対 車 両			車 両 相 互						車 両 単 独			列 車	合 計	
		横 断	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱			そ の 他
業 務 中		33	17	50	11	148	91	4	31	13	298	1	2	1	4	352
	構成率(%)	9.4	4.8	14.2	3.1	42.0	25.9	1.1	8.8	3.7	84.7	0.3	0.6	0.3	1.1	100
業 務 外		16	16	32	7	77	66	7	20	12	189			2	2	223
	構成率(%)	7.2	7.2	14.3	3.1	34.5	29.6	3.1	9.0	5.4	84.8	0.0	0.0	0.9	0.9	100

エ 違反別

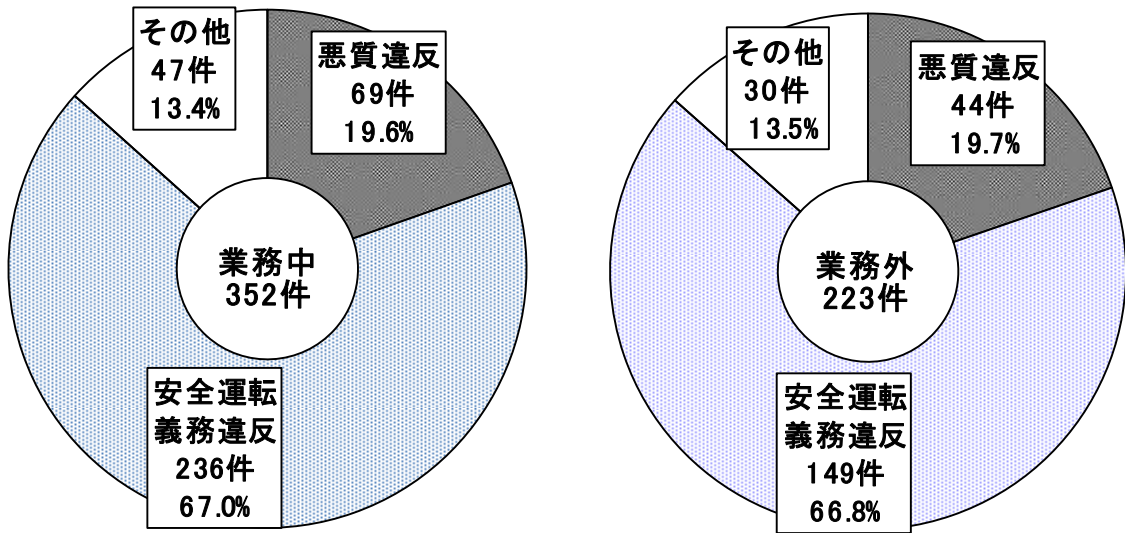
業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、どちらも **6割以上** を占めている。

悪質違反では、業務中が歩行者妨害等と一時不停止の占める割合が高く、業務外では、信号無視と一時不停止の占める割合が高い。

(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)				構成率 (%)		構成率 (%)	
悪質違反	信号無視	15	4.3	15	6.7	徐行違反		0.0	2	0.9	
	最高速度超過	1	0.3	1	0.4	過労運転		0.0	1	0.4	
	通区・追越	3	0.9	3	1.3	ハンドル・ブレーキ	20	5.7	7	3.1	
	歩行者妨害等	27	7.7	8	3.6	前方不注意	95	27.0	57	25.6	
	一時不停止	23	6.5	17	7.6	動静不注意	61	17.3	40	17.9	
	酒酔い運転		0.0		0.0	安全不確認	54	15.3	43	19.3	
計		69	19.6	44	19.7	安全速度	5	1.4	2	0.9	
横断禁止等		1	0.3	3	1.3	予測不適		0.0		0.0	
車間距離不保持			0.0		0.0	その他	1	0.3		0.0	
進路変更禁止			0.0	2	0.9	計	236	67.0	149	66.8	
右・左折	1	0.3		0.0	安全不確認ドア開放		0.0		0.0		
優先通行妨害等	25	7.1	17	7.6	その他		0.0	1	0.4		
交差点安全進行	20	5.7	4	1.8	合計	352	100.0	223	100.0		

(単位：件)



オ 原因別

業務中、業務外とも、**発見の遅れ** が高い割合を占めている。

(単位：件)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)	
発見の遅れ		253	71.9	164	73.5
判断の誤り等		76	21.6	50	22.4
操作上の誤り		23	6.5	7	3.1
調査不能			0.0	2	0.9
合計		352	100	223	100

## 17 県外居住者の事故

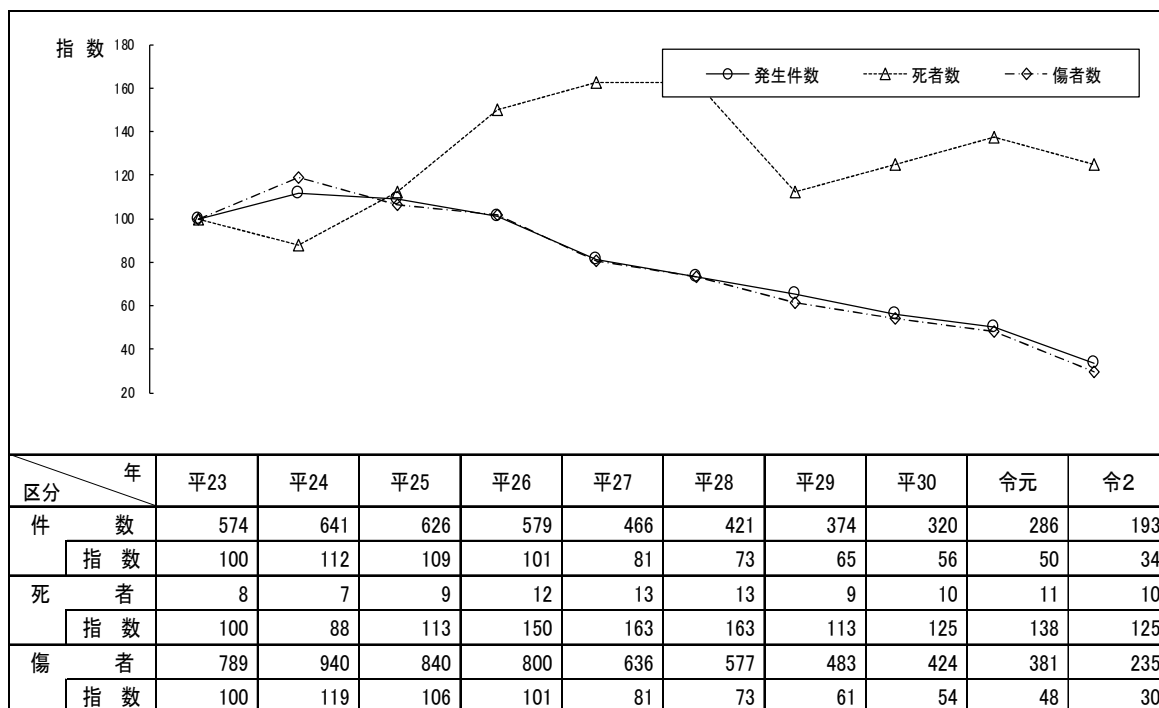
### (1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数 193件（前年比 -93件 32.5%減）  
 死者数 10人（前年比 -1人 9.1%減）  
 傷者数 235人（前年比 -146人 38.3%減）

で、発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

（単位：件・人）



### (2) 月別

3月が26件で最も多く、次いで4月の20件となっている。

全事故に占める割合で見ると、3月が7.8%で最も高く、最も低い6月（3.2%）と比較すると4.6ポイントの差となっている。

（単位：件・人・%）

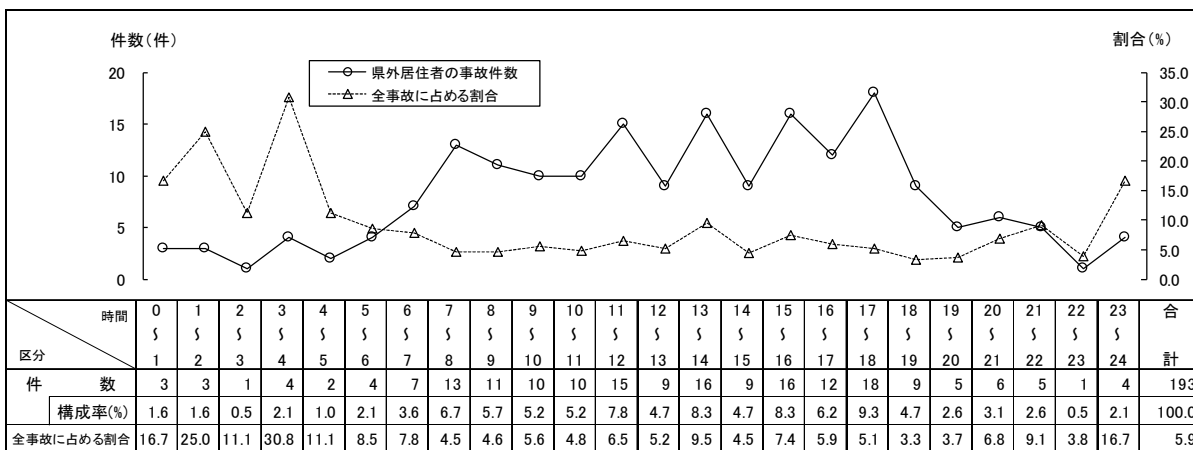
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全事故		296	294	333	266	199	251	261	264	236	285	278	303	3,266
県外居住者	件数	15	15	26	20	12	8	13	18	15	19	17	15	193
	全事故に占める割合	5.1	5.1	7.8	7.5	6.0	3.2	5.0	6.8	6.4	6.7	6.1	5.0	5.9
	死者			1	3	1		1			3		1	10
	傷者	18	16	35	27	14	10	12	24	18	18	23	20	235

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、17～18時の18件、次いで13～14時、15～16時の16件の順となっている。

また、全事故に占める割合で見ると、3～4時の30.8%が最も高く、次いで1～2時の25.0%となっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が83件で、県外居住者事故の43.0%を占めている。特に、国道4号は35件、国道6号は15件で、合計すると国道事故の60.2%を占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が71.4%と最も高く、次いで国道4号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 桁 国 道											
		4 号	6 号	13 号	49 号	計												
件 数		35	15	4	8	62	21	83	46	33	20	11	193					
構成率(%)		18.1	7.8	2.1	4.1	32.1	10.9	43.0	23.8	17.1	10.4	5.7	100.0					
全事故に占める割合		15.2	10.3	7.8	6.7	11.3	6.4	9.5	5.3	2.6	71.4	4.9	5.9					

(5) 当事者別

普通乗用車が115件で最も多く、県外居住者事故の59.6%を占めている。

全事故に占める割合で見ると、大型貨物車が50.8%と高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車					計	貨 物 車					計	二 輪 車			特殊車	自 転 車	歩 行 者
		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽		自 動 車	原 付				
																計			
件 数				79	36	115	33	10	9	16	9	77	1		1		0	0	
構成率(%)		0.0	0.0	40.9	18.7	59.6	17.1	5.2	4.7	8.3	4.7	39.9	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	
全事故に占める割合		0.0	0.0	-	5.0	3.5	4.4	50.8	22.7	13.8	10.3	3.6	13.3	11.1	0.0	4.8	0.0	0.0	



(6) 年齢別

高齢者が39件で最も多く、次いで35～39歳が23件となっている。

全事故に占める割合については、35～39歳の9.9%が最も高くなっている。(単位：件・%)

区分	年齢														高齢者	合計
	子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳				
件数	0	0	5	16	15	16	23	17	22	14	14	12	39	193		
構成率(%)	0.0	0.0	2.6	8.3	7.8	8.3	11.9	8.8	11.4	7.3	7.3	6.2	20.2	100.0		
全体に占める割合	0.0	0.0	4.6	5.7	5.8	6.3	9.9	6.9	8.5	6.1	5.4	4.5	4.6	5.9		

(7) 通行目的別

私用中が92件で県外居住者事故の47.7%を占めており、特に、観光が28件で最も多い。

業務中の事故は73件発生し、37.8%を占め死者数は5人となっている。

(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が76.7%と高く、うち前方不注意が68件と最も多い。

また、悪質違反のうち信号無視が11件と最も多い。

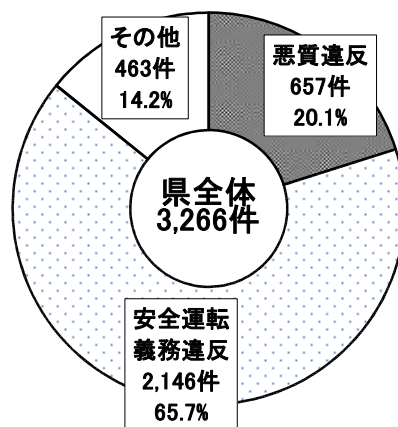
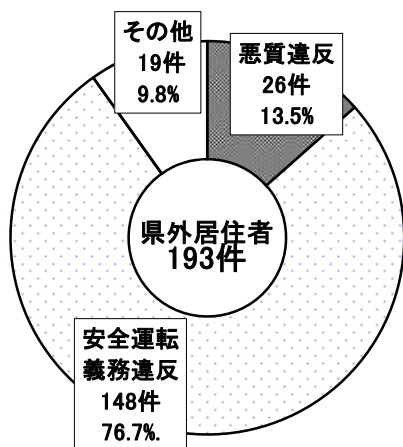
全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、11.0ポイント高くなっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者傷者	
			死	傷
通行目的				
業務	73	37.8	5	83
通勤	26	13.5		28
通学	1	0.5		1
私用	観光	28	14.5	3
	ドライブ	5	2.6	9
	散歩		0.0	
	飲食	3	1.6	4
	買物	22	11.4	29
	訪問	9	4.7	1
	帰省	13	6.7	17
その他	12	6.2	15	
計	92	47.7	4	123
不明	1	0.5	1	
合計	193	100.0	10	235

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	11	5.7	安全運転義務違反	交差点安全進行	5	2.6	
	最高速度	1	0.5		徐行違反			0.0
	通区・追越	2	1.0		ハンドル・ブレーキ	14	7.3	
	歩行者妨害等	3	1.6		前方不注意	68	35.2	
	一時不停止	9	4.7		動静不注視	34	17.6	
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	20	10.4	
計		26	13.5	安全速度	5	2.6		
過労運転		1	0.5	その他	7	3.6		
横断禁止		1	0.5	計	148	76.7		
進路変更禁止			0.0	その他		0.0		
右・左折			0.0	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等		12	6.2	合計	193	100.0		



## (9) 市町村別

(単位:件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	40	827	4.8	31	新地町	1	6	16.7
2	福島市	28	560	5.0	32	天栄村	1	6	16.7
3	郡山市	26	679	3.8	33	北塩原村	1	6	16.7
4	本宮市	9	70	12.9	34	三春町	0	20	0.0
5	会津若松市	8	202	4.0	35	鏡石町	0	19	0.0
6	南相馬市	8	86	9.3	36	矢吹町	0	16	0.0
7	相馬市	8	47	17.0	37	会津坂下町	0	15	0.0
8	須賀川市	7	81	8.6	38	石川町	0	9	0.0
9	白河市	6	87	6.9	39	浅川町	0	8	0.0
10	国見町	6	17	35.3	40	平田村	0	7	0.0
11	西郷村	4	23	17.4	41	玉川村	0	5	0.0
12	大玉村	4	21	19.0	41	塙町	0	5	0.0
13	二本松市	3	65	4.6	41	浪江町	0	5	0.0
14	喜多方市	3	33	9.1	44	双葉町	0	4	0.0
15	桑折町	3	15	20.0	44	中島村	0	4	0.0
16	猪苗代町	2	22	9.1	44	磐梯町	0	4	0.0
17	広野町	2	20	10.0	44	柳津町	0	4	0.0
17	富岡町	2	11	18.2	48	下郷町	0	3	0.0
19	小野町	2	10	20.0	48	三島町	0	3	0.0
20	西会津町	2	5	40.0	48	湯川村	0	3	0.0
21	南会津町	2	5	40.0	48	飯館村	0	3	0.0
22	矢祭町	2	4	50.0	52	鮫川村	0	2	0.0
23	伊達市	1	48	2.1	52	川内村	0	2	0.0
23	田村市	1	40	2.5	54	葛尾村	0	1	0.0
23	川俣町	1	25	4.0	54	古殿町	0	1	0.0
26	会津美里町	1	24	4.2	56	只見町	0	0	-
27	泉崎村	1	17	5.9	56	金山町	0	0	-
28	棚倉町	1	15	6.7	56	昭和村	0	0	-
29	檜葉町	1	10	10.0	56	檜枝岐村	0	0	-
30	大熊町	1	8	12.5					

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

## (10) 居住県別

(単位:件・人)

区分	本年				前年			
	件	構成率(%)	死者	傷者	件	構成率(%)	死者	傷者
北海道	1	0.5		1	1	0.3		2
青森	4	2.1		5	3	1.0	1	2
岩手	6	3.1	2	7	8	2.8	1	9
宮城	51	26.4	1	57	88	30.8	2	111
秋田	5	2.6		5	4	1.4	1	4
山形	15	7.8	1	17	12	4.2		14
東京	11	5.7		18	24	8.4		29
茨城	41	21.2	2	47	46	16.1	4	64
栃木	21	10.9	4	22	23	8.0		39
群馬	4	2.1		8	4	1.4		5
埼玉	8	4.1		13	17	5.9	1	18
千葉	10	5.2		12	20	7.0		31
神奈川県	3	1.6		4	10	3.5	1	18
新潟	5	2.6		8	10	3.5		13
山梨		0.0			1	0.3		1
長野	3	1.6		3	2	0.7		4
静岡		0.0			2	0.7		3
富山	1	0.5		1	1	0.3		1
石川		0.0				0.0		
福井		0.0				0.0		
岐阜		0.0				0.0		
愛知		0.0			1	0.3		1
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0				0.0		
京都		0.0				0.0		
大阪	2	1.0		4		0.0		
兵庫	1	0.5		1	2	0.7		2
奈良		0.0			3	1.0		4
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0			1	0.3		1
広島		0.0			1	0.3		1
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0			1	0.3		1
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本	1	0.5		2		0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0			1	0.3		3
沖縄		0.0				0.0		
合計	193	100	10	235	286	100	11	381

## 18 道路環境等

### (1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、1,876件で全事故の57.4%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が818件で最も多く、交差点事故の43.6%を占め、第1進入路「小」が301件となっている。

(単位：件・人)

道路形状	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
交差点	大	239	7.3	3	271
	中	818	25.0	8	958
	小	301	9.2	4	327
	付近	518	15.9	9	642
	計	1,876	57.4	24	2,198
単路	トンネル	8	0.2	1	10
	橋	45	1.4	1	58
	カーブ・屈折	101	3.1	8	125
	その他	1,021	31.3	21	1,225
	計	1,175	36.0	31	1,418
踏切		1	0.0		2
一般交通の場所		214	6.6	2	239
合計		3,266	100	57	3,857

(単位：件・人)

交差点第1進入路	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	24	1.8		27
	交差路 中	111	8.2	1	122
	交差路 大	104	7.7	2	122
	計	239	17.6	3	271
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	87	6.4	4	99
	交差路 中	645	47.5	4	762
	交差路 大	86	6.3		97
	計	818	60.2	8	958
小 (5.5m未満)	交差路 小	101	7.4	1	114
	交差路 中	180	13.3	3	192
	交差路 大	20	1.5		21
	計	301	22.2	4	327
合計		1,358	100	15	1,556

### (2) 道路線形別

直線での事故は2,905件で全事故の88.9%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は147件で全事故の4.5%となっている。

勾配で見ると、上り坂は115件（全事故の3.5%）、下り坂は146件（全事故の4.5%）、平坦は2,791件（全事故の85.5%）となっている。

(単位：件・人)

道路線形	区分	件数		死者	
		件数	構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	12	0.4	2
		下り	11	0.3	
		平坦	47	1.4	4
	左	上り	15	0.5	
		下り	19	0.6	3
		平坦	43	1.3	3
計		147	4.5	12	
直線	上り	88	2.7	2	
	下り	116	3.6	4	
	平坦	2,701	82.7	37	
	計	2,905	88.9	43	
一般交通の場所		214	6.6	2	
合計		3,266	100.0	57	

## (3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が2,134件で、  
全事故の65.3%を占めている。  
死亡事故は非市街地での事故が  
多い。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者
	その他	1,064	32.6	10	1,262
	計	2,134	65.3	18	2,493
	非市街地	1,132	34.7	39	1,364
	合計	3,266	100	57	3,857

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

## (4) 道路幅員別

交差点「中」の道路での事故が818件で最も多く、全事故の25.0%を占めている。

(単位：件・人)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
								小	中	大		
件数		48	124	749	365	339	69	301	818	239	214	3,266
構成率(%)		1.5	3.8	22.9	11.2	10.4	2.1	9.2	25.0	7.3	6.6	100
死者		1	6	21	6	6		4	8	3	2	57
傷者		50	146	892	453	432	89	327	958	271	239	3,857

## (5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が2,658件で最も多く、全事故の81.4%を占めている。(単位：件・人)

地形	路面状態	舗 装				計	非舗装	合計
		乾 燥	湿 潤	凍 結	積 雪			
件数		2,658	551	28	16	3,253	13	3,266
構成率(%)		81.4	16.9	0.9	0.5	99.6	0.4	100.0
死者		43	13	1		57		57
傷者		3,134	652	38	20	3,844	13	3,857

## (6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,623件で最も多く、全事故の49.7%を占めている。

(単位：件・人)

地形	施設	中 央 線	中 央 線				計	中 央 線	その他	合計
			中 央 線	中 央 線	中 央 線	中 央 線				
件数		464	4	42	18	1,623	1,687	901	214	3,266
構成率(%)		14.2	0.1	1.3	0.6	49.7	51.7	27.6	6.6	100.0
死者		5			2	29	31	19	2	57
傷者		553	4	53	17	1,950	2,024	1,041	239	3,857

## 19 その他

(単位：件・人)

### (1) 特殊事故

特殊事故は493件で、全事故の15.1パーセントを占め、約7件に1件の割合で発生している。件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突360件  
全事故の 9.1件に1件
- ・ひき逃げ72件  
全事故の 45.4件に1件
- ・スリップ28件  
全事故の 116.6件に1件
- ・無申告13件  
全事故の 251.2件に1件
- ・左折巻き込み4件  
全事故の 816.5件に1件
- ・自然発車2件  
全事故の1,633.0件に1件の割合で発生している。

区分	件数		死者	傷者		
	件数	構成率(%)				
特殊事故						
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	72	2.2		76	
	無申告	13	0.4		15	
	多重衝突	360	11.0	7	564	
	左折巻き込み	4	0.1		4	
	荷崩れ		0.0			
	自然発車	2	0.1	1	3	
	ドア開閉	1	0.0		1	
	車両火災	1	0.0	1		
当事者内容	スリップ事故	28	0.9	1	33	
	薬物影響	1	0.0		1	
	発作・急病	てんかん	2	0.1		2
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管	2	0.1		2
		その他	6	0.2	1	6
	身障者	1	0.0		1	
	緊急用務自動車		0.0			
	合計	493	15.1	11	708	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合  
2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

### (2) 天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が、1,732件で全事故の53.0%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が1,078件となっており、合わせると全事故の86.0%を占めている。

(単位：件・人)

区分	天候						合計
	晴	曇	雨	霧	雪		
件数	1,732	1,078	390	6	60	3,266	
構成率(%)	53.0	33.0	11.9	0.2	1.8	100.0	
死者	27	21	8		1	57	
傷者	2,041	1,263	470	11	72	3,857	

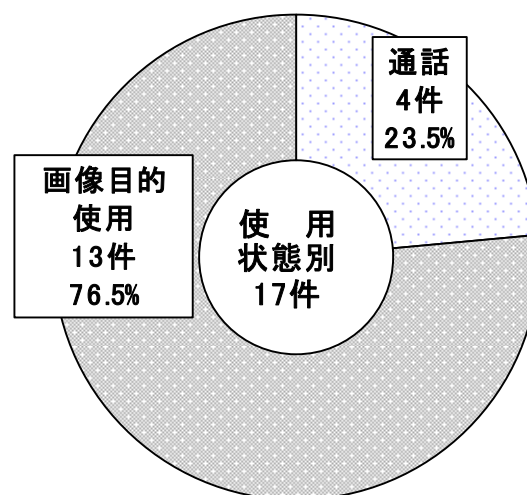
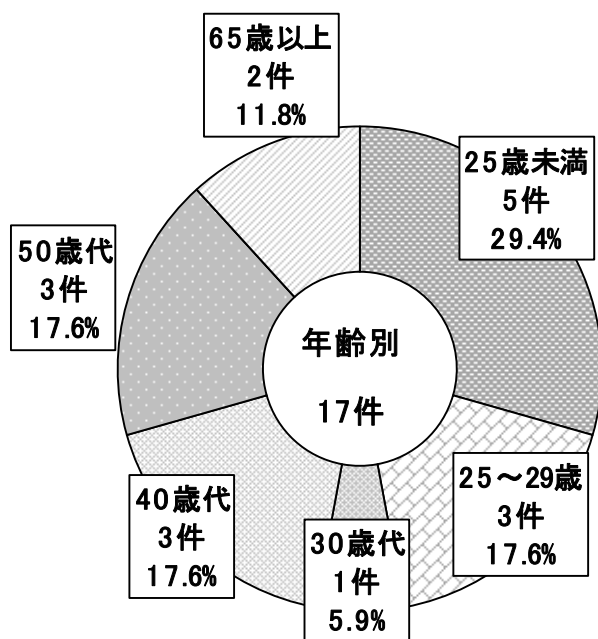
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は17件発生し、死者は0人、傷者は24人となっている。

事故類型別にみると、追突が12件で最も多く、70.6%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.8倍となっている。

(単位：件)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		2	11.8	433	13.3
車両相互	追突	12	70.6	1,177	36.0
	出会い頭	1	5.9	872	26.7
	正面衝突	1	5.9	90	2.8
	その他	1	5.9	638	19.5
車両単独			0.0	56	1.7
列車			0.0		0.0
合計		17	100.0	3,266	100.0



年齢別にみると、25歳未満が5件で最も多く29.4%、次いで25~29歳、40歳代、50歳代が3件でそれぞれ17.6%となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用13件、通話が4件となっている。